2023年度

専門学校 東京国際ビジネスカレッジ

シラバス　（講義概要）

国際言語コミニュケーション学科

１年生

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	実用外国語Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	鈴木　麻里		
実務経験 教員紹介	国内大手航空会社勤務（17 年）　国際線チーフキャビンアテンダント　安全教育訓練・新入社員教育の企画・運営業務および講師を担当（５年）　接遇マナー・ビジネスマナー講師		

講義概要
「印象の良いコミュニケーション」の要素を、実践演習やスピーチを通じて、自分らしく適切に表現できることを目指す。「業界・職種研究」や「仕事理解」を通して将来の進路に向けた意識を高め、計画的な設計ができるよう促す。
達成目標
印象の要素を実践演習で活用し、表現できることを目指す。演習と振り返り、課題の把握を繰り返し、向上の手応えが感じられる。実生活でも実践できる。
学修成果
「印象の要素」の知識を実際の行動に落とし込み、課題を把握しながら向上に努めることができる。「働く意識」や「自分の将来の役割」についても徐々に認識を深めることができる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツの着用	9	事前学習	指定課題の実施
	授業計画	集中講義ガイダンス 目標設定		授業計画	演習 1 グループでの役割を知る
	事後学習	スーツの適切な手入れと管理		事後学習	集中講義の復習
2	事前学習	指定課題の準備	10	事前学習	指定課題の提出
	授業計画	業界・職種研究 2　グループディスカッションで職業視野を広げる		授業計画	職場で使う用語を知る 3 ビジネス文書の基本用語
	事後学習	講義内容を踏まえた指定課題の実施		事後学習	指定課題の提出
3	事前学習	指定課題の実施および報告	11	事前学習	スーツに適した身だしなみの再確認
	授業計画	印象の良いコミュニケーション 6 言葉遣い ②		授業計画	接遇シーンにおける対応力ワーク 基礎編
	事後学習	小テストに向けた講義内容の復習		事後学習	小テストに向けた講義内容の復習
4	事前学習	１分間スピーチの準備	12	事前学習	１分間スピーチの準備
	授業計画	自己表現 2　指定のテーマで１分間のスピーチを行う 小テスト		授業計画	自己表現 3　指定のテーマで１分間のスピーチを行う 小テスト
	事後学習	小テストの復習		事後学習	小テストの復習
5	事前学習	指定課題の実施	13	事前学習	講義予習
	授業計画	自己分析２　過去・現在・未来の切り口で自己理解を深める		授業計画	グループディスカッション演習 2 「ディスカッション」と「ワーク」
	事後学習	指定課題の実施		事後学習	指定課題の実施および報告
6	事前学習	指定課題の実施	14	事前学習	演習に向けた自己分析ノートの整備
	授業計画	企業研究 興味のある企業を調べ、理解を深める		授業計画	面接演習 3 面接でのさまざまな質問に備える
	事後学習	指定課題の実施および報告		事後学習	集中講義の復習
7	事前学習	講義予習	15	事前学習	１年間の講義内容総括および報告
	授業計画	聞き方の基本　聞き方のポイント 非言語コミュニケーションの役割		授業計画	１年間のまとめ　目標の達成状況を振り返り、来年度の抱負を考える
	事後学習	講義内容の実践および報告		事後学習	ノートの整備
8	事前学習	講義予習			
	授業計画	電話対応の基本 2　携帯電話のマナー　伝言メモの残し方			
	事後学習	指定課題の提出			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（　小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　配布資料を使用
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	実用外国語 I	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
高度な日本語の理解力と運用力を身につけることを目的とする。単なる語彙・文法の学習にとどまらず、活きた日本語表現力の向上を目指す。併せて、JLPT 日本語能力試験 N1（語彙・文法）、日本留学試験（日本語）等、各種日本語試験への対策も行う。
達成目標
①高度な日本語表現を理解し、また運用できる能力の育成。②論理的思考力の養成。③各種日本語試験に合格または高得点を獲得できる能力の育成。
学修成果
文字・音声による高度な日本語表現を理解し、また自らも運用できる力がつく。各種日本語試験においても、高得点を獲得できるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義の予習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	Lesson 2 Ⅰ．文字・語彙・コロケーション
	事後学習	講義復習		事後学習	講義の復習
2	事前学習	前回講義の復習	10	事前学習	講義の予習
	授業計画	Lesson 1 Ⅰ．文字・語彙・コロケーション		授業計画	Lesson 2 Ⅰ．文字・語彙・コロケーション
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
3	事前学習	講義の予習	11	事前学習	講義の予習
	授業計画	Lesson 1 Ⅰ．文字・語彙・コロケーション		授業計画	Lesson 2 Ⅰ．文字・語彙・コロケーション
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
4	事前学習	講義の予習	12	事前学習	講義の予習
	授業計画	Lesson 1 Ⅰ．文字・語彙・コロケーション		授業計画	Lesson 2 Ⅱ．文系・文法
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
5	事前学習	講義の予習	13	事前学習	講義の予習
	授業計画	Lesson 1 Ⅱ．文系・文法		授業計画	Lesson 2 Ⅱ．文系・文法
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
6	事前学習	講義の予習	14	事前学習	講義の予習
	授業計画	Lesson 1 Ⅱ．文系・文法		授業計画	Lesson 2 Ⅲ．類義表現
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
7	事前学習	講義の予習	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	Lesson 1 Ⅲ．類義表現		授業計画	定期試験
	事後学習	講義の復習		事後学習	定期試験振返り
8	事前学習	Lesson1 総復習			
	授業計画	中間試験			
	事後学習	講義の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜課題・小テスト＞：20%

教科書　著者名　　田中　祐輔（編著）
　　タイトル　　『書き込み式　表現するための語彙文法練習ノート＜上＞』
　　出版社　　凡人社

参考書　著者名
　　タイトル　　講義の中で適宜提示
　　出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	実用外国語 I	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	Richard		
実務経験 教員紹介	English teaching experience in a variety of business and educational organizations		

講義概要
This class focuses on reading and writing and develops critical thinking skills essential for communication in English.
達成目標
Students can acquire not only linguistic skills but also non-cognitive skills.
学修成果
Students can use the expressions and language they learn in real work situations.

授業計画

1	事前学習	None	9	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit1: 1		授業計画	Unit3: 3
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Preparation	10	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit1: 2		授業計画	Unit4: 1
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Preparation	11	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit1: 3		授業計画	Unit4: 2
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Preparation	12	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit2: 1		授業計画	Unit4: 3
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Preparation	13	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit2: 2		授業計画	Review: Unit1-Unit2
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Preparation	14	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit2: 3		授業計画	Review: Unit3-Unit4
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Preparation	15	事前学習	Test Preparation
	授業計画	Unit3: 1		授業計画	Term-end Test
	事後学習	Review		事後学習	None
8	事前学習	Preparation			
	授業計画	Unit3: 2			
	事後学習	Review			

評価方法　出席状況：0%　定期試験：80%　＜（Attitude and performance）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル　Q Skills for Success: Reading and Writing - Intro
　　出版社　Oxford University Press

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	実用外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	向田　和弘		
実務経験教員紹介	コンテンツ（映画・音楽・TV・ラジオ・出版）、医療、IT、畜産などの分野での通訳翻訳等実務経験 33 年。		

講義概要
これまでの学習内容を基礎とし、主として正確な【日→中】翻訳について考えていく。中国人だから中国語ができて当たり前という考えを捨て、如何に正確に中国語を読み解き、限りなく原義に近い意味内容の日本語への訳出法を模索する作業、そして逆方向でも同作業を続ける。
達成目標
中国の特徴的な語彙について中国語・日本語で説明ができるようにし、それをさらに日本式の表現でリプロダクションする方法について調査・実践できることを目指す。
学修成果
自国の文化や社会について、日本人が受け入れやすい日本語で解説できる能力・日本を中国語で説明できるを持ち、両国の言語や文化について、より深い理解を持った通訳翻訳者となる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	課題を基に調査結果をまとめておく
	授業計画	リプロダクション A01 中国の日常を日本語で説明する		授業計画	リプロダクション A09 中国の日常を日本語で説明する
	事後学習	復習と課題		事後学習	復習と課題
2	事前学習	課題を基に調査結果をまとめておく	10	事前学習	課題を基に調査結果をまとめておく
	授業計画	リプロダクション A02 中国の日常を日本語で説明する		授業計画	リプロダクション A10 中国の日常を日本語で説明する
	事後学習	復習と課題		事後学習	復習と課題
3	事前学習	課題を基に調査結果をまとめておく	11	事前学習	課題を基に調査結果をまとめておく
	授業計画	リプロダクション A03 日本の日常を中国語で説明する		授業計画	リプロダクション A11 中国の日常を日本語で説明する
	事後学習	復習と課題		事後学習	復習と課題
4	事前学習	課題を基に調査結果をまとめておく	12	事前学習	課題を基に調査結果をまとめておく
	授業計画	リプロダクション A04 日本の日常を中国語で説明する		授業計画	リプロダクション A12 日本の日常を中国語で説明する
	事後学習	復習と課題		事後学習	復習と課題
5	事前学習	課題を基に調査結果をまとめておく	13	事前学習	課題を基に調査結果をまとめておく
	授業計画	リプロダクション A05 中国の日常を日本語で説明する		授業計画	リプロダクション A13 日本の日常を中国語で説明する
	事後学習	復習と課題		事後学習	復習と課題
6	事前学習	課題を基に調査結果をまとめておく	14	事前学習	今学期の講義について復習しておく
	授業計画	リプロダクション A06 中国の日常を日本語で説明する		授業計画	まとめ　Q&A 文化のリプロダクションについて考える
	事後学習	復習と課題		事後学習	総復習
7	事前学習	課題を基に調査結果をまとめておく	15	事前学習	試験準備
	授業計画	リプロダクション A07 日本の日常を中国語で説明する		授業計画	期末試験
	事後学習	復習と課題		事後学習	参考回答を見て復習する
8	事前学習	課題を基に調査結果をまとめておく			
	授業計画	リプロダクション A08 日本の日常を中国語で説明する			
	事後学習	復習と課題			

評価方法　　出席状況：15%　定期試験：15%　＜（　課題　）＞：70%

教科書　著者名
　　タイトル　授業中に指定する
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル　授業中に指定する
　　出版社

年度	2023年度	学期	後期
科目名	実用外国語Ⅱ	単位	2単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本のサブカルチャーをテーマに、映像作品や評論・ニュース記事等の文字資料等を取り上げる。映像作品の鑑賞・分析、文字資料の考察を通して、日本の昔と今、社会の変遷を知り、現代日本文化および現代日本社会の構造についての理解を深める。
達成目標
①主要な日本の映像作品と、その社会的意義・社会への影響についての知識を深める。②現代日本文化への理解を深める。③日本の現代社会の構造や抱える問題について理解する。
学修成果
日本人の思想および日本の文化や歴史に関する知識と理解を深め、日本社会で日本人とともに生きる上で必要な教養を身につけることができる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自習課題学習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	日本の映像文化の変遷（８）　実写映画作品
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
2	事前学習	自習課題学習	10	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	日本の映像文化の変遷（１）　TV ドラマ作品		授業計画	プレゼン準備（１） ①グループ割り　②テーマ決め
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
3	事前学習	自習課題学習	11	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	日本の映像文化の変遷（２）　TV ドラマ作品		授業計画	プレゼン準備（２）①レジュメ・PPT 作成　②スピーチ原稿作成
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
4	事前学習	自習課題学習	12	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	日本の映像文化の変遷（３）　TV ドラマ作品		授業計画	プレゼン準備（３）①レジュメ・PPT 作成　②スピーチ原稿作成
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
5	事前学習	自習課題学習	13	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	日本の映像文化の変遷（４）　実写映画作品		授業計画	プレゼン発表（１）①グループ発表 ②ディスカッション
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
6	事前学習	自習課題学習	14	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	日本の映像文化の変遷（５）　実写映画作品		授業計画	プレゼン発表（２）①グループ発表 ②ディスカッション
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
7	事前学習	自習課題学習	15	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	日本の映像文化の変遷（６）　実写映画作品		授業計画	プレゼン発表（３）①グループ発表 ②ディスカッション
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
8	事前学習	自習課題学習			
	授業計画	日本の映像文化の変遷（７）　実写映画作品			
	事後学習	講義復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜資料配布
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜紹介
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	実用外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	Richard		
実務経験 教員紹介	English teaching experience in a variety of business and educational organizations		

講義概要
This class focuses on reading and writing and develops critical thinking skills essential for communication in English.
達成目標
Students can acquire not only linguistic skills but also non- cognitive skills.
学修成果
Students can use the expressions and language they learn in real work situations.

授業計画

1	事前学習	None	9	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit5: 1		授業計画	Unit7: 3
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Preparation	10	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit5: 2		授業計画	Unit8: 1
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Preparation	11	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit5: 3		授業計画	Unit8: 2
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Preparation	12	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit6: 1		授業計画	Unit8: 3
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Preparation	13	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit6: 2		授業計画	Review: Unit5-Unit6
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Preparation	14	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit6: 3		授業計画	Review: Unit7-Unit8
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Preparation	15	事前学習	Test Preparation
	授業計画	Unit7: 1		授業計画	Term-end Test
	事後学習	Review		事後学習	None
8	事前学習	Preparation			
	授業計画	Unit7: 2			
	事後学習	Review			

評価方法　出席状況：0%　定期試験：80%　＜（Attitude and performance）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル　Q Skills for Success: Reading and Writing - Intro
　　出版社　Oxford University Press

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	ビジネス外国語 I	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	工藤　麻紀子		
実務経験教員紹介	一部上場企業や自治体のコンサルティング業務（IT、マーケティング、PR)、ベンチャー企業やの広報部門の立ち上げに従事。		

講義概要
プレゼンテーションの基本的な構成や資料作成を学び、グループワークを通じてプレゼンテーションを実施。実際にグループでプレゼンテーションの実施を通して、プレゼンテーションの目的を明確にし、情報収集の方法や論理的なストーリーの組み立て方を学ぶ。
達成目標
数回に渡るグループプレゼンテーションの機会の提供によって、基本的なプレゼンの構成方法、資料作成、チームワーク、発表を経験し、プレゼンテーションを体系的に理解する。
学修成果
受講学生全員がプレゼンテーションの目的を理解し、目的を達成するために情報収集や論理的な説明をする必要があることを理解していること。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	課題の準備
	授業計画	オリエンテーション 過去のプレゼンを振り返り		授業計画	GW②自社サービスの紹介 ブレスト
	事後学習	良いプレゼンの再確認		事後学習	課題の準備
2	事前学習	プレゼンテーションの経験・定義	10	事前学習	課題の準備
	授業計画	ビジネスの場で、プレゼンテーションとはどんな目的で行われるか。		授業計画	GW②自社サービスの紹介 主張したい点、その理由
	事後学習	プレゼンの場面と目的		事後学習	課題の準備
3	事前学習	プレゼンの場面と目的	11	事前学習	課題の準備
	授業計画	プレゼンテーションの基本の流れについて　資料作成の留意点		授業計画	GW②自社サービスの紹介 主張したい点、その理由
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
4	事前学習	課題の準備	12	事前学習	課題の準備
	授業計画	GW①外国人観光客に対するサービスの提案　目的の再確認		授業計画	GW②自社サービスの紹介 情報収集
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
5	事前学習	課題の準備	13	事前学習	課題の準備
	授業計画	GW①外国人観光客に対するサービスの提案　主張したい点		授業計画	GW②自社サービスの紹介 ストーリーラインの確認
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
6	事前学習	課題の準備	14	事前学習	課題の準備
	授業計画	GW①外国人観光客に対するサービスの提案ストーリーライン		授業計画	GW②自社サービスの紹介 ストーリーラインの確認
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
7	事前学習	課題の準備	15	事前学習	課題の準備
	授業計画	発表①外国人観光客に対するサービスの提案　全グループ発表＋評価		授業計画	GW②自社サービスの紹介 発表
	事後学習	課題の準備		事後学習	なし
8	事前学習	課題の準備			
	授業計画	GW②自社サービスの紹介 目的再確認			
	事後学習	課題の準備			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：40%　＜（ 平常点 ）＞：10%
教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	ビジネス外国語Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	工藤　麻紀子		
実務経験 教員紹介	一部上場企業や自治体のコンサルティング業務（IT、マーケティング、PR)、ベンチャー企業やの広報部門の立ち上げに従事。		

講義概要
プレゼンテーションの基本的な構成や資料作成を学び、グループワークを通じてプレゼンテーションを実施。実際にグループでプレゼンテーションの実施を通して、プレゼンテーションの目的を明確にし、情報収集の方法や論理的なストーリーの組み立て方を学ぶ。
達成目標
数回に渡るグループプレゼンテーションの機会の提供によって、基本的なプレゼンの構成方法、資料作成、チームワーク、発表を経験し、プレゼンテーションを体系的に理解する。
学修成果
受講学生全員がプレゼンテーションの目的を理解し、目的を達成するために情報収集や論理的な説明をする必要があることを理解していること。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	課題の準備
	授業計画	オリエンテーション 過去のプレゼンを振り返り		授業計画	GW②自社サービスの紹介 ブレスト
	事後学習	良いプレゼンの再確認		事後学習	課題の準備
2	事前学習	プレゼンテーションの経験・定義	10	事前学習	課題の準備
	授業計画	ビジネスの場で、プレゼンテーションとはどんな目的で行われるか。		授業計画	GW②自社サービスの紹介 主張したい点、その理由
	事後学習	プレゼンの場面と目的		事後学習	課題の準備
3	事前学習	プレゼンの場面と目的	11	事前学習	課題の準備
	授業計画	プレゼンテーションの基本の流れについて　資料作成の留意点		授業計画	GW②自社サービスの紹介 主張したい点、その理由
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
4	事前学習	課題の準備	12	事前学習	課題の準備
	授業計画	GW①外国人観光客に対するサービスの提案　目的の再確認		授業計画	GW②自社サービスの紹介 情報収集
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
5	事前学習	課題の準備	13	事前学習	課題の準備
	授業計画	GW①外国人観光客に対するサービスの提案　主張したい点		授業計画	GW②自社サービスの紹介 ストーリーラインの確認
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
6	事前学習	課題の準備	14	事前学習	課題の準備
	授業計画	GW①外国人観光客に対するサービスの提案　ストーリーライン		授業計画	GW②自社サービスの紹介 ストーリーラインの確認
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
7	事前学習	課題の準備	15	事前学習	課題の準備
	授業計画	発表①外国人観光客に対するサービスの提案　全グループ発表＋評価		授業計画	GW②自社サービスの紹介 発表
	事後学習	課題の準備		事後学習	なし
8	事前学習	課題の準備			
	授業計画	GW②自社サービスの紹介 目的の再確認			
	事後学習	課題の準備			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：40%　＜（ 平常点 ）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	ビジネス外国語 I	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	Joseph		
実務経験 教員紹介	English teaching experience in a variety of business and educational organizations		

講義概要
This class offers communication and language practice based on business settings, and helping students develop relevant communiation skills.
達成目標
Students can ba familiar with language that is relevant to their work context.
学修成果
Students can use the expressions and language they learn in real work situations.

授業計画

1	事前学習	None
	授業計画	Unit1: 1
	事後学習	Review
2	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit1: 2
	事後学習	Review
3	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit1: 3
	事後学習	Review
4	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit1: 4
	事後学習	Review
5	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit2: 1
	事後学習	Review
6	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit2: 2
	事後学習	Review
7	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit2: 3
	事後学習	Review
8	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit2: 4
	事後学習	Review
9	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit3: 1
	事後学習	Review
10	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit3: 2
	事後学習	Review
11	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit3: 3
	事後学習	Review
12	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit3: 4
	事後学習	Review
13	事前学習	Preparation
	授業計画	Review: Unit1-Unit3
	事後学習	Review
14	事前学習	Preparation
	授業計画	Review: Unit1-Unit3
	事後学習	Review
15	事前学習	Test Preparation
	授業計画	Term-end Test
	事後学習	None

評価方法　出席状況：0%　定期試験：80%　＜（Attitude and performance）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル　Business Result - Elementary
　　出版社　Oxford University Press

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	ビジネス外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	工藤　麻紀子		
実務経験 教員紹介	一部上場企業や自治体のコンサルティング業務（IT、マーケティング、PR)、ベンチャー企業やの広報部門の立ち上げに従事。		

講義概要
前期の応用。グループワークを通じてプレゼンテーションを実施。実際にグループでプレゼンテーションの実施を通して、プレゼンテーションの目的を明確にし、プレゼンテーションⅠよりさらに深い情報の収集方法や論理的なストーリーの組み立て方を学ぶ。
達成目標
グループプレゼンテーションの実施を通じて、プレゼンの目的を明らかにし、聞き手が、話し手の意図した行動をしたくなるような説得力のあるプレゼンテーションを確実に実現。
学修成果
全講義のあとのフィードバックにおいて、学生全員がプレゼンテーションの目的を理解し、目的を達成するための情報収集や論理的な説明ができるようになった、と回答。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	プレゼンテーションの目的
	授業計画	オリエンテーション プレゼンテーションの目的のおさらい		授業計画	グループワーク①お客様に最適な部屋をみつけよう 発表
	事後学習	復習		事後学習	課題の準備
2	事前学習	配布資料の予習	10	事前学習	課題の準備
	授業計画	プレゼンテーションの構成のおさらい 検索手法のおさらい		授業計画	グループワーク②学校の改善点 目的・主張したい点・その理由
	事後学習	復習		事後学習	課題の準備
3	事前学習	プレゼンテーションの目的	11	事前学習	課題の準備
	授業計画	グループワーク①お客様に最適な部屋をみつけよう 目的の再確認		授業計画	グループワーク②学校の改善点 情報収集
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
4	事前学習	課題の準備	12	事前学習	課題の準備
	授業計画	グループワーク①お客様に最適な部屋をみつけよう ブレスト		授業計画	グループワーク②学校の改善点 情報収集
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
5	事前学習	課題の準備	13	事前学習	課題の準備
	授業計画	グループワーク①お客様に最適な部屋をみつけよう 主張したい点		授業計画	グループワーク②学校の改善点 ストーリーラインの確認・資料作成
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
6	事前学習	課題の準備	14	事前学習	課題の準備
	授業計画	グループワーク①お客様に最適な部屋をみつけよう 情報収集		授業計画	グループワーク②学校の改善点 発表
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
7	事前学習	課題の準備	15	事前学習	課題の準備
	授業計画	グループワーク①お客様に最適な部屋をみつけよう		授業計画	グループワーク②学校の改善点 発表
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
8	事前学習	課題の準備			
	授業計画	グループワーク①お客様に最適な部屋をみつけよう			
	事後学習	課題の準備			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：40%　＜（平常点）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023年度	学期	後期
科目名	ビジネス外国語Ⅱ	単位	2単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	工藤　麻紀子		
実務経験教員紹介	一部上場企業や自治体のコンサルティング業務（IT、マーケティング、PR)、ベンチャー企業やの広報部門の立ち上げに従事。		

講義概要
前期の応用。グループワークを通じてプレゼンテーションを実施。実際にグループでプレゼンテーションの実施を通して、プレゼンテーションの目的を明確にし、プレゼンテーションⅠよりさらに深い情報の収集方法や論理的なストーリーの組み立て方を学ぶ。
達成目標
グループプレゼンテーションの実施を通じて、プレゼンの目的を明らかにし、聞き手が、話し手の意図した行動をしたくなるような説得力のあるプレゼンテーションを確実に実現。
学修成果
全講義のあとのフィードバックにおいて、学生全員がプレゼンテーションの目的を理解し、目的を達成するための情報収集や論理的な説明ができるようになった、と回答。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	プレゼンテーションの目的
	授業計画	オリエンテーション　プレゼンテーションの目的のおさらい		授業計画	グループワーク①お客様に最適な部屋をみつけよう　発表
	事後学習	復習		事後学習	課題の準備
2	事前学習	配布資料の予習	10	事前学習	課題の準備
	授業計画	プレゼンテーションの構成のおさらい　検索手法のおさらい		授業計画	グループワーク②学校の改善点 目的・主張したい点・その理由
	事後学習	復習		事後学習	課題の準備
3	事前学習	プレゼンテーションの目的	11	事前学習	課題の準備
	授業計画	グループワーク①お客様に最適な部屋をみつけよう　目的の再確認		授業計画	グループワーク②学校の改善点 情報収集
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
4	事前学習	課題の準備	12	事前学習	課題の準備
	授業計画	グループワーク①お客様に最適な部屋をみつけよう　ブレスト		授業計画	グループワーク②学校の改善点 情報収集
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
5	事前学習	課題の準備	13	事前学習	課題の準備
	授業計画	グループワーク①お客様に最適な部屋をみつけよう　主張したい点		授業計画	グループワーク②学校の改善点 ストーリーラインの確認・資料作成
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
6	事前学習	課題の準備	14	事前学習	課題の準備
	授業計画	グループワーク①お客様に最適な部屋をみつけよう　情報収集		授業計画	グループワーク②学校の改善点 発表
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
7	事前学習	課題の準備	15	事前学習	課題の準備
	授業計画	グループワーク①お客様に最適な部屋をみつけよう		授業計画	グループワーク②学校の改善点 発表
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
8	事前学習	課題の準備			
	授業計画	グループワーク①お客様に最適な部屋をみつけよう			
	事後学習	課題の準備			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：4 0%　＜（平常点）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	ビジネス外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	Joseph		
実務経験 教員紹介	English teaching experience in a variety of business and educational organizations		

講義概要
This class offers communication and language practice based on business settings, and helping students develop relevant communiation skills.
達成目標
Students can ba familiar with language that is relevant to their work context.
学修成果
Students can use the expressions and language they learn in real work situations.

授業計画

1	事前学習	None	9	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit4: 1		授業計画	Unit7: 3 Unit8: 1
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Preparation	10	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit4: 2		授業計画	Unit8: 2
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Preparation	11	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit4: 3 Unit5: 1		授業計画	Unit8: 3
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Preparation	12	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit5: 2		授業計画	Review: Unit4-Unit5
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Preparation	13	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit5: 3 Unit6: 1		授業計画	Review: Unit6-Unit7
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Preparation	14	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit6: 2		授業計画	Review: Unit8
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Preparation	15	事前学習	Test Preparation
	授業計画	unit6: 3 Unit7: 1		授業計画	Term-end Test
	事後学習	Review		事後学習	None
8	事前学習	Preparation			
	授業計画	Unit7: 2			
	事後学習	Review			

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：80%　＜（Attitude and performance）＞：20%
教科書　著者名
　　タイトル　Business Result - Elementary
　　出版社　Oxford University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	接遇外国語Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	鈴木　麻里		
実務経験 教員紹介	国内大手航空会社勤務（17 年）　国際線チーフキャビンアテンダント　安全教育訓練・新入社員教育の企画・運営業務および講師を担当（５年）　接遇マナー・ビジネスマナー講師		

講義概要
日本の社会常識を理解し、社会人としてスムーズな一歩を踏み出すために必要な知識やマナーを学ぶ。相手を思いやる気持ちを大切に、社会で接する様々な人と良好な関係を築くことができるよう、基礎的なコミュニケーションスキルを習得する。
達成目標
社会で接する様々な人に対し、印象の良い挨拶や表情でコミュニケーションが取れることを目指す。言葉遣いや公共マナー等、学んだことを実生活で積極的に実践できる。
学修成果
基礎的な社会常識やビジネスマナーの役割を理解し、挨拶・表情から始まるコミュニケーション構築に主体的に取り組むことができる。就職活動に向けた準備を始めることができる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツの着用	9	事前学習	指定課題の準備
	授業計画	前期講義ガイダンス前期の学習計画と達成目標を確認する		授業計画	印象の良いコミュニケーション　4 言葉遣い ①
	事後学習	スーツの適切な手入れと管理		事後学習	敬語ワークシートの復習
2	事前学習	指定課題について考えをまとめる	10	事前学習	指定課題の実施
	授業計画	なビジネスマナーが必要なのか 学生と社会人の違いについて考える		授業計画	自己分析　1　自分が大切にしていることから将来へのつながりを考える
	事後学習	講義アンケートの実施		事後学習	指定課題の実施
3	事前学習	指定課題について調べる	11	事前学習	印象の要素５項目の実践
	授業計画	近年の日本の社会動向と就職活動 「１年間の取り組み計画」の作成		授業計画	印象の良いコミュニケーション　5 実践演習
	事後学習	指定課題の作成および提出		事後学習	指定課題の提出
4	事前学習	指定課題の共有準備	12	事前学習	講義予習
	授業計画	印象の良いコミュニケーション　1 挨拶・表情		授業計画	ビジネスシーンにおける「 報・連・相」とは
	事後学習	指定課題の実践および報告		事後学習	指定課題の報告
5	事前学習	指定課題の実施および報告	13	事前学習	指定課題の実施および報告
	授業計画	印象の良いコミュニケーション　2 身だしなみ		授業計画	業界・職種研究　1　身近な職業から「業界」や「職種」を考える
	事後学習	指定課題の実施および報告		事後学習	指定課題の実施
6	事前学習	スーツの身だしなみを美しく整える	14	事前学習	指定課題の実施
	授業計画	印象の良いコミュニケーション　3 立ち居振る舞い		授業計画	電話対応の基本　1 電話のかけ方・受け方の基本
	事後学習	指定課題の実践および報告		事後学習	前期の復習
7	事前学習	指定課題の実施	15	事前学習	定期試験の準備
	授業計画	日本の会社組織の成り立ちと職場の基本マナー　コンプライアンスとは		授業計画	定期試験
	事後学習	指定課題の実施および報告		事後学習	定期試験の復習
8	事前学習	スピーチ内容の準備			
	授業計画	１分間スピーチ　他者に伝わる表現			
	事後学習	指定課題の実施			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　配布資料を使用
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	接遇外国語Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	鈴木　麻里		
実務経験 教員紹介	国内大手航空会社勤務（17 年）　国際線チーフキャビンアテンダント　安全教育訓練・新入社員教育の企画・運営業務および講師を担当（５年）　接遇マナー・ビジネスマナー講師		

講義概要
日本の社会常識を理解し、社会人としてスムーズな一歩を踏み出すために必要な知識やマナーを学ぶ。相手を思いやる気持ちを大切に、社会で接する様々な人と良好な関係を築くことができるよう、基礎的なコミュニケーションスキルを習得する。
達成目標
社会で接する様々な人に対し、印象の良い挨拶や表情でコミュニケーションが取れることを目指す。言葉遣いや公共マナー等、学んだことを実生活で積極的に実践できる。
学修成果
基礎的な社会常識やビジネスマナーの役割を理解し、挨拶・表情から始まるコミュニケーション構築に主体的に取り組むことができる。就職活動に向けた準備を始めることができる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツの着用	9	事前学習	指定課題の準備
	授業計画	前期講義ガイダンス　前期の学習計画と達成目標を確認する		授業計画	印象の良いコミュニケーション　4 言葉遣い ①
	事後学習	スーツの適切な手入れと管理		事後学習	敬語ワークシートの復習
2	事前学習	指定課題について考えをまとめる	10	事前学習	指定課題の実施
	授業計画	なビジネスマナーが必要なのか 学生と社会人の違いについて考える		授業計画	自己分析　1　自分が大切にしていることから将来へのつながりを考える
	事後学習	講義アンケートの実施		事後学習	指定課題の実施
3	事前学習	指定課題について調べる	11	事前学習	印象の要素５項目の実践
	授業計画	近年の日本の社会動向と就職活動 「１年間の取り組み計画」の作成		授業計画	印象の良いコミュニケーション　5 実践演習
	事後学習	指定課題の作成および提出		事後学習	指定課題の提出
4	事前学習	指定課題の共有準備	12	事前学習	講義予習
	授業計画	印象の良いコミュニケーション　1 挨拶・表情		授業計画	ビジネスシーンにおける「 報・連・相」とは
	事後学習	指定課題の実践および報告		事後学習	指定課題の報告
5	事前学習	指定課題の実施および報告	13	事前学習	指定課題の実施および報告
	授業計画	印象の良いコミュニケーション　2 身だしなみ		授業計画	業界・職種研究　1　　身近な職業から「業界」や「職種」を考える
	事後学習	指定課題の実施および報告		事後学習	指定課題の実施
6	事前学習	スーツの身だしなみを美しく整える	14	事前学習	指定課題の実施
	授業計画	印象の良いコミュニケーション　3 立ち居振る舞い		授業計画	電話対応の基本　1 電話のかけ方・受け方の基本
	事後学習	指定課題の実践および報告		事後学習	前期の復習
7	事前学習	指定課題の実施	15	事前学習	定期試験の準備
	授業計画	日本の会社組織の成り立ちと職場の基本マナー　コンプライアンスとは		授業計画	定期試験
	事後学習	指定課題の実施および報告		事後学習	定期試験の復習
8	事前学習	スピーチ内容の準備			
	授業計画	自己表現　1　１分間スピーチを通して他者に伝わる表現を考える			
	事後学習	指定課題の実施			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　配布資料を使用
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023年度	学期	前期
科目名	接遇外国語Ⅰ	単位	2単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	竹内　文		
実務経験 教員紹介			

講義概要
英語を「話す」「聞く」際に大きく影響する発音を基礎から学ぶ。音節の理解や母音・子音の正しい英語発音のための口の形や息の使い方、ストレス、リズムやイントネーションなど、さまざまなアクティビティを通して相手にとって理解しやすい発音の仕方を習得する。
達成目標
・英語の正しい音とその種類を学ぶ ・正しい音の作り方を学ぶ ・リズム、イントネーション、音の連結などを学び聞きやすい英語を習得する
学修成果
ペア・グループでのコミュニカティブな実践練習を通して相手が理解しやすいクリアな発音ができるようになることで英語を話すことに自信を持てるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	自己紹介、Initial Diagnostic		授業計画	Stress in Words with Suffixes (Chapter 6)
	事後学習	学期目標を確認する		事後学習	授業内容の復習
2	事前学習	目標の確認	10	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Syllables, Stress, and Sounds (Chapter 2)		授業計画	Rhythm in Phrases and Sentences (Chapter 7)
	事後学習	授業内容の復習		事後学習	授業内容の復習
3	事前学習	授業内容の復習	11	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Consononts		授業計画	Classroom Testing (Presentation)
	事後学習	授業内容の復習		事後学習	テストの振り返り
4	事前学習	授業内容の復習	12	事前学習	テストの振り返り
	授業計画	Vowels		授業計画	Thought Groups (Chapter 8)
	事後学習	授業内容の復習		事後学習	授業内容の復習
5	事前学習	授業内容の復習	13	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Voicless and Voiced Sounds (Chapter 3)		授業計画	Focus Words & Final Intonation (Chapter 9, 10)
	事後学習	授業内容の復習		事後学習	授業内容の復習
6	事前学習	授業内容の復習	14	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Grammatical Endings: -s/-es and -ed (Chapter 4)		授業計画	期末試験準備
	事後学習	授業内容の復習		事後学習	期末試験準備
7	事前学習	授業内容の復習	15	事前学習	期末試験準備
	授業計画	Classroom Testing (Role play)		授業計画	期末試験
	事後学習	テストの振り返り		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	テストの振り返り			
	授業計画	Word Stress in Nouns, Verbs, and Numbers (Chapter 5)			
	事後学習	授業内容の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（小テスト）＞：30%

教科書　著者名　Linda Grant
　　タイトル　WELL SAID Fourth Edition Pronunciation for Clear Communication
　　出版社　Cengage Learning

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	接遇外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	鈴木　麻里		
実務経験 教員紹介	国内大手航空会社勤務（17 年）　国際線チーフキャビンアテンダント　安全教育訓練・新入社員教育の企画・運営業務および講師を担当（５年）　接遇マナー・ビジネスマナー講師		

講義概要
「印象の良いコミュニケーション」の定着を図るとともに、職場のビジネスマナーや接遇用語の基礎を学び、社会人に向けた就労意識を高める。将来の進路に向け「自己理解」を深め、主体的なキャリアプランニングに活かす。グループディスカッション演習を通して他者と協調・協働する意識を醸成する。
達成目標
「相手の立場に立った」マナーを意識し、幅広い世代の人とコミュニケーションが取りやすくなる。「自己理解」を深め、将来の進路に向け、必要な行動が計画的に取れることを目指す。
学修成果
職場のマナーや接遇用語の基礎を学ぶことで、社会生活での円滑なコミュニケーションや倫理観が実感できる。進路に関し主体的に考え、取組計画を踏まえた行動を目指すことができる。

授業計画

1	事前学習	「年間取組計画」の進捗状況確認	9	事前学習	指定課題の実施
	授業計画	後期目標設定　年間計画の進捗状況を確認し、後期の目標を設定する。		授業計画	職場で使う用語を知る　1 社会常識の基本用語
	事後学習	「下期取り組みシート」の提出		事後学習	「自己 PR」発表の準備
2	事前学習	指定課題の準備	10	事前学習	講義予習
	授業計画	自己分析　3 自分の「強み」と「弱み」を洗い出す		授業計画	ビジネス文書・ビジネスメールの基本 就職活動で正しく使う
	事後学習	講義内容を踏まえ、指定課題を実施		事後学習	指定課題の提出
3	事前学習	講義に向けた指定課題の実施	11	事前学習	講義に向けた指定課題の実施
	授業計画	オンライン面接の準備と心得 「伝わる」コミュニケーションの実践		授業計画	さまざまな人が働きやすい職場とは グループディスカッション
	事後学習	指定課題の実施および報告		事後学習	振り返りワークシートの提出
4	事前学習	身だしなみチェックリストの提出	12	事前学習	面接演習の準備
	授業計画	面接の形式と目的を理解する 面接における振る舞いの確認		授業計画	面接演習　2　「自己 PR」の発表と振り返り
	事後学習	指定課題の実施および報告		事後学習	面接演習の課題振り返りおよび報告
5	事前学習	スーツの身だしなみを美しく整える	13	事前学習	指定課題の準備
	授業計画	面接演習１　面接の入室から退室までの所作を一連の流れで実践する		授業計画	職場で使う用語を知る２ 公共経済・ビジネス領域の基礎用語
	事後学習	指定課題の実践		事後学習	後期の総復習
6	事前学習	講義予習	14	事前学習	履歴書に記入する内容をまとめておく
	授業計画	ホスピタリティ産業とは　求められるコミュニケーションの基本		授業計画	履歴書を作成する
	事後学習	指定課題の実施および報告		事後学習	履歴書を一度完成させる
7	事前学習	指定課題の復習と実践	15	事前学習	定期試験の準備
	授業計画	接遇用語の基本 お客様とのコミュニケーション		授業計画	定期試験
	事後学習	指定課題の提出		事後学習	定期試験の復習
8	事前学習	講義予習			
	授業計画	訪問のマナー 席次の基本を確認する			
	事後学習	指定課題の実施			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　配布資料を使用
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	接遇外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	鈴木　麻里		
実務経験 教員紹介	国内大手航空会社勤務（17 年）　国際線チーフキャビンアテンダント　安全教育訓練・新入社員教育の企画・運営業務および講師を担当（５年）　接遇マナー・ビジネスマナー講師		

講義概要
「印象の良いコミュニケーション」の定着を図るとともに、職場のビジネスマナーや接遇用語の基礎を学び、社会人に向けた就労意識を高める。将来の進路に向け「自己理解」を深め、主体的なキャリアプランニングに活かす。グループディスカッション演習を通して他者と協調・協働する意識を醸成する。
達成目標
「相手の立場に立った」マナーを意識し、幅広い世代の人とコミュニケーションが取りやすくなる。「自己理解」を深め、将来の進路に向け、必要な行動が計画的に取れることを目指す。
学修成果
職場のマナーや接遇用語の基礎を学ぶことで、社会生活での円滑なコミュニケーションや倫理観が実感できる。進路に関し主体的に考え、取組計画を踏まえた行動を目指すことができる。

授業計画

1	事前学習	「年間取組計画」の進捗状況確認	9	事前学習	指定課題の実施
	授業計画	後期目標設定　年間計画の進捗状況を確認し、後期の目標を設定する。		授業計画	職場で使う用語を知る　1 社会常識の基本用語
	事後学習	「下期取り組みシート」の提出		事後学習	「自己 PR」発表の準備
2	事前学習	指定課題の準備	10	事前学習	講義予習
	授業計画	自己分析　3 自分の「強み」と「弱み」を洗い出す		授業計画	ビジネス文書・ビジネスメールの基本 就職活動で正しく使う
	事後学習	講義内容を踏まえ、指定課題を実施		事後学習	指定課題の提出
3	事前学習	講義に向けた指定課題の実施	11	事前学習	講義に向けた指定課題の実施
	授業計画	オンライン面接の準備と心得 「伝わる」コミュニケーションの実践		授業計画	さまざまな人が働きやすい職場とは グループディスカッション
	事後学習	指定課題の実施および報告		事後学習	振り返りワークシートの提出
4	事前学習	身だしなみチェックリストの提出	12	事前学習	面接演習の準備
	授業計画	面接の形式と目的を理解する 面接における振る舞いの確認		授業計画	面接演習　2　「自己 PR」の発表と振り返り
	事後学習	指定課題の実施および報告		事後学習	面接演習の課題振り返りおよび報告
5	事前学習	スーツの身だしなみを美しく整える	13	事前学習	指定課題の準備
	授業計画	面接演習１　　面接の入室から退室までの所作を一連の流れで実践する		授業計画	職場で使う用語を知る２ 公共経済・ビジネス領域の基礎用語
	事後学習	指定課題の実践		事後学習	後期の総復習
6	事前学習	講義予習	14	事前学習	履歴書に記入する内容をまとめておく
	授業計画	ホスピタリティ産業とは　求められるコミュニケーションの基本		授業計画	履歴書を作成する
	事後学習	指定課題の実施および報告		事後学習	履歴書を一度完成させる
7	事前学習	指定課題の復習と実践	15	事前学習	定期試験の準備
	授業計画	接遇用語の基本 お客様とのコミュニケーション		授業計画	定期試験
	事後学習	指定課題の提出		事後学習	定期試験の復習
8	事前学習	講義予習			
	授業計画	訪問のマナー 席次の基本を確認する			
	事後学習	指定課題の実施			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　配布資料を使用
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023年度	学期	後期
科目名	接遇外国語Ⅱ	単位	2単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	山北麻美		
実務経験教員紹介	企業研修、キャリアカウンセリング、外国人支援、語学・留学カウンセリング、日本語テキスト・児童英語指導マニュアル作成、通訳、翻訳など		

講義概要
本講義では、外国語とその文化・風習・行事に触れることで理解を促進し、語学を使ってコミュニケーションをとる楽しさを体感・習得する。四技能をバランスよく学び、毎回文法を確認し理解した上で、コミュニケーションとしての英語を実践を踏まえながら練習し習得する。
達成目標
・ナチュラルスピードの英語を理解する。 ・自分の意見をしっかり伝えられるような英語力を養う。 ・限られた時間で英文の内容を理解し、自分の言葉で伝えることができる。
学修成果
・自然な英語を聞いて理解し、反応することができる。 ・英文を読み理解することができる。 ・学んだ文法を使って自分の考えを英語で伝えることができる。

授業計画

1	事前学習	復習
	授業計画	Unit16　電話
	事後学習	ポイントの見直し
2	事前学習	復習
	授業計画	Unit17　自由時間について・趣味について
	事後学習	ポイントの見直し
3	事前学習	復習
	授業計画	Unit18　丁寧な誘い方
	事後学習	ポイントの見直し
4	事前学習	復習
	授業計画	Unit19　丁寧な断り方
	事後学習	ポイントの見直し
5	事前学習	復習
	授業計画	Unit20　いろいろな謝り方
	事後学習	ポイントの見直し
6	事前学習	復習
	授業計画	Unit21　過去の出来事について詳しく説明・質問する
	事後学習	ポイントの見直し
7	事前学習	復習
	授業計画	Unit22　比較して説明・質問する
	事後学習	ポイントの見直し
8	事前学習	復習
	授業計画	Unit23　義務や禁止されていることを伝える
	事後学習	ポイントの見直し
9	事前学習	復習
	授業計画	Unit24　乗り物について予定や価格を尋ねる
	事後学習	ポイントの見直し
10	事前学習	復習
	授業計画	Unit25　普段の習慣についてたずねる・伝える
	事後学習	ポイントの見直し
11	事前学習	復習
	授業計画	Unit26　アイデアを尋ねたり伝えたりする
	事後学習	ポイントの見直し
12	事前学習	復習
	授業計画	プレゼンテーション準備
	事後学習	プレゼンテーションの準備
13	事前学習	プレゼンテーションの準備
	授業計画	プレゼンテーション
	事後学習	振り返り
14	事前学習	復習
	授業計画	後期のまとめ
	事後学習	期末試験の準備
15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	期末試験
	事後学習	期末試験の振り返り

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：30%　＜（授業態度・発表 ）＞：20%

教科書　著者名　　Jack C. Richards / David Bohlke
　　タイトル　Speak NOW２
　　出版社　　OXFORD

参考書　著者名
　　タイトル　新聞・website などを適宜使用
　　出版社

年度	2023年度	学期	前期
科目名	外国語会話Ⅰ	単位	2単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	工藤　麻紀子		
実務経験 教員紹介	一部上場企業や自治体のコンサルティング業務（IT、マーケティング、PR)、ベンチャー企業やの広報部門の立ち上げに従事。		

講義概要
プレゼンテーションの聞き手に、自らのプレゼンテーションによって”納得”をしてもらうためのプレゼンテーションを実施するために、個人で作業を行い、分析を含めた論理的思考の元、ストーリー性のあるプレゼンテーションを実施できる様になることを目指す。
達成目標
数回に渡る個人プレゼンテーションの機会によって、自らの意見を述べる”発表”ではなく、プレゼンの目的を明らかにし、その目的を達成できるプレゼンテーションの実現
学修成果
聞き手であるクラスメートの評価フィードバックによって、目的が達成できたプレゼンテーションであるかを明確にし、すべてのグループが80%以上が達成のフィードバックを得る。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	課題の準備
	授業計画	オリエン 過去のプレゼン振り返り		授業計画	ワーク②リラックス方法 情報収集
	事後学習	良いプレゼンの再確認		事後学習	課題の準備
2	事前学習	プレゼンとは？	10	事前学習	課題の準備
	授業計画	ビジネスの場で、プレゼンテーションとはどんな目的で行われるか。		授業計画	ワーク②リラックス方法 ストーリーラインの確認
	事後学習	プレゼンの目的の再確認		事後学習	課題の準備
3	事前学習	課題の準備	11	事前学習	課題の準備
	授業計画	ワーク①BESＴコンビニはどれだ？ 聞き手を納得させる		授業計画	ワーク②リラックス方法 発表
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
4	事前学習	課題の準備	12	事前学習	課題の準備
	授業計画	ワーク①BESＴコンビニはどれだ？ 分析		授業計画	ワーク③日本の社会課題 社会情勢、聞き手の関心を得る
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
5	事前学習	課題の準備	13	事前学習	課題の準備
	授業計画	ワーク①BESＴコンビニはどれだ？ ストーリーラインの確認		授業計画	ワーク③日本の社会課題 主張したい点・その理由
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
6	事前学習	課題の準備	14	事前学習	課題の準備
	授業計画	ワーク①BESＴコンビニはどれだ？ 発表		授業計画	ワーク③日本の社会課題 ストーリーラインの確認
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
7	事前学習	課題の準備	15	事前学習	課題の準備
	授業計画	ワーク②リラックス方法 聞き手の興味をひく		授業計画	ワーク③日本の社会課題 発表
	事後学習	課題の準備		事後学習	復習
8	事前学習	課題の準備			
	授業計画	ワーク②リラックス方法 情報収集			
	事後学習	課題の準備			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：40%　＜（平常点）＞：10%
教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	外国語会話 I	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	河村　有理		
実務経験 教員紹介	国内の日本語学校で 10 年間直接法にて日本語科目の講師を務める。中国で現地スタッフにオフィス系ソフトおよびグラフィック・ドロー・編集系ソフトの技術指導を約 1 年ほど行う		

講義概要
現代社会の内包する問題、世界的な社会常識、日本社会での物事のとらえ方等、時事的な問題をテーマに講義を行う。毎回異なるトピックスを選び、理解を深め、自分としての意見を持ち、発話、発表できるようにします。要点のまとめ、意見表明、説明などの課題を与えます。
達成目標
様々な時事問題に対して、各問題を理解し、説明できるだけの知識を身につけた上で、自身の考えを述べられるようになる。また、文章でも説明できるようになる。
学修成果
一般的な社会常識は世界でも国でも異なり、時代によっても変化しています。この学習を通して知識を得るとともに、自身の考えを持ち、表現できるようになります。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	トピックの予習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	講義のまとめ　次回トピックを予習		事後学習	次回トピックの予習
2	事前学習	トピックの予習	10	事前学習	トピックの予習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	時事問題を取り上げ講義。質疑応答 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	次回トピックの予習
3	事前学習	トピックの予習	11	事前学習	トピックの予習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	次回トピックの予習
4	事前学習	トピックの予習	12	事前学習	トピックの予習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	次回トピックの予習
5	事前学習	トピックの予習	13	事前学習	トピックの予習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	次回トピックの予習
6	事前学習	トピックの予習	14	事前学習	トピックの予習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	次回トピックの予習
7	事前学習	トピックの予習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	定期試験
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	試験のポイント解説
8	事前学習	トピックの予習			
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出			
	事後学習	次回トピックの予習			

評価方法　　出席状況：15%　定期試験：40%　＜（ 提出物・平常点）＞：45%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023年度	学期	前期
科目名	外国語会話Ⅰ	単位	2単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	Kyle		
実務経験 教員紹介	English teaching experience in a variety of business and educational organizations		

講義概要
This class focuses on speaking and listening and develops critical thinking skills essential for communication in English.
達成目標
Students can acquire not only linguistic skills but also non-cognitive skills.
学修成果
Students can use the expressions and language they learn in real work situations.

授業計画

1	事前学習	None	9	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit1: 1		授業計画	Unit3: 3
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Preparation	10	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit1: 2		授業計画	Unit4: 1
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Preparation	11	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit1: 3		授業計画	Unit4: 2
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Preparation	12	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit2: 1		授業計画	Unit4: 3
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Preparation	13	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit2: 2		授業計画	Review: Unit1-Unit2
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Preparation	14	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit2: 3		授業計画	Review: Unit3-Unit4
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Preparation	15	事前学習	Test Preparation
	授業計画	Unit3: 1		授業計画	Term-end Test
	事後学習	Review		事後学習	None
8	事前学習	Preparation			
	授業計画	Unit3: 2			
	事後学習	Review			

評価方法　出席状況：0%　定期試験：80%　＜（Attitude and performance）＞：20%
教科書　著者名
　　タイトル　Q Skills for Success: Listening and Speaking - Intro
　　出版社　Oxford University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	外国語会話Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	工藤　麻紀子		
実務経験 教員紹介	一部上場企業や自治体のコンサルティング業務（IT、マーケティング、PR）、ベンチャー企業やの広報部門の立ち上げに従事。		

講義概要
一年間の学習の総復習。プレゼンテーションの実施を通して、プレゼンテーションの目的を明確にし、ビジネスシーンにおけるプレゼンテーションを理解し、論理的思考の元、情報を収集し、ストーリー性のあるプレゼンテーションを実施できる様になることを目指す。
達成目標
数回に渡るプレゼンテーションの機会の提供によって、プレゼンの構成方法、資料作成、発表を経験し、プレゼンテーションを体系的に理解する。
学修成果
全講義のあとのフィードバックにおいて、学生全員がプレゼンテーションの目的を理解し、目的を達成するための情報収集や論理的な説明ができるようになった、と回答。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	プレゼンテーションの目的
	授業計画	オリエンテーション プレゼンテーションの目的のおさらい		授業計画	ワーク②面接にむけた自己紹介 目的の再確認
	事後学習	復習		事後学習	課題の準備
2	事前学習	配布資料の予習	10	事前学習	課題の準備
	授業計画	プレゼンテーションの構成のおさらい 検索手法のおさらい		授業計画	ワーク②面接にむけた自己紹介 自己分析
	事後学習	復習		事後学習	課題の準備
3	事前学習	プレゼンテーションの目的	11	事前学習	課題の準備
	授業計画	ワーク①企業・大学分析 目的の再確認		授業計画	ワーク②面接にむけた自己紹介 主張したい点・その理由の確認
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
4	事前学習	課題の準備	12	事前学習	課題の準備
	授業計画	ワーク①企業・大学分析 情報収集		授業計画	ワーク②面接にむけた自己紹介 ストーリーラインの確認
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
5	事前学習	課題の準備	13	事前学習	課題の準備
	授業計画	ワーク①企業・大学分析 主張したい点・その理由		授業計画	ワーク②面接にむけた自己紹介 発表
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
6	事前学習	課題の準備	14	事前学習	課題の準備
	授業計画	ワーク①企業・大学分析 情報収集		授業計画	ワーク②面接にむけた自己紹介 発表
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
7	事前学習	課題の準備	15	事前学習	課題の準備
	授業計画	ワーク①企業・大学分析 ストーリーラインの確認		授業計画	一年の復習
	事後学習	課題の準備		事後学習	課題の準備
8	事前学習	課題の準備			
	授業計画	ワーク①企業・大学分析 発表			
	事後学習	課題の準備			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：40%　＜（平常点）＞：10%
教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	外国語会話Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	河村　有理		
実務経験 教員紹介	国内の日本語学校で 10 年間直接法にて日本語科目の講師を務める。中国で現地スタッフにオフィス系ソフトおよびグラフィック・ドロー・編集系ソフトの技術指導を約 1 年ほど行う		

講義概要
現代社会の内包する問題、世界的な社会常識、日本社会での物事のとらえ方等、時事的な問題をテーマに講義を行う。毎回異なるトピックスを選び、理解を深め、自分としての意見を持ち、発話、発表できるようにします。要点のまとめ、意見表明、説明などの課題を与えます。
達成目標
様々な時事問題に対して、各問題を理解し、説明できるだけの知識を身につけた上で、自身の考えを述べられるようになる。また、文章でも説明できるようになる。
学修成果
一般的な社会常識は世界でも国でも異なり、時代によっても変化しています。この学習を通して知識を得るとともに、自身の考えを持ち、表現できるようになります。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	トピックの予習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	講義復習		事後学習	次回トピックの予習
2	事前学習	トピックの予習	10	事前学習	トピックの予習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	時事問題を取り上げ講義。質疑応答 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	次回トピックの予習
3	事前学習	トピックの予習	11	事前学習	トピックの予習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	次回トピックの予習
4	事前学習	トピックの予習	12	事前学習	トピックの予習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	次回トピックの予習
5	事前学習	トピックの予習	13	事前学習	トピックの予習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	次回トピックの予習
6	事前学習	トピックの予習	14	事前学習	トピックの予習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	次回トピックの予習
7	事前学習	トピックの予習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	定期試験
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	試験のポイント解説
8	事前学習	トピックの予習			
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出			
	事後学習	次回トピックの予習			

評価方法　　出席状況：15%　定期試験：40%　＜（ 提出物・平常点）＞：45%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	外国語会話Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	Kyle		
実務経験 教員紹介	English teaching experience in a variety of business and educational organizations		

講義概要
This class focuses on speaking and listening and develops critical thinking skills essential for communication in English.
達成目標
Students can acquire not only linguistic skills but also non- cognitive skills.
学修成果
Students can use the expressions and language they learn in real work situations.

授業計画

1	事前学習	None	9	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit5: 1		授業計画	Unit7: 3
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Preparation	10	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit5: 2		授業計画	Unit8: 1
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Preparation	11	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit5: 3		授業計画	Unit8: 2
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Preparation	12	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit6: 1		授業計画	Unit8: 3
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Preparation	13	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit6: 2		授業計画	Review: Unit5-Unit6
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Preparation	14	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit6: 3		授業計画	Review: Unit7-Unit8
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Preparation	15	事前学習	Test Preparation
	授業計画	Unit7: 1		授業計画	Term-end Test
	事後学習	Review		事後学習	None
8	事前学習	Preparation			
	授業計画	Unit7: 2			
	事後学習	Review			

評価方法　出席状況：0%　定期試験：80%　＜（Attitude and performance）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル　Q Skills for Success: Listening and Speaking - Intro
　　出版社　Oxford University Press

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	外国語表現Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
多様な日本語文章に対応できる読解能力を鍛えるための講義を行う。多様な分野から多くの文章に触れる機会を提供、総合的な読み込む力を養っていく。また、併せて、JLPT 日本語能力試験 N1（読解）、日本留学試験（日本語・読解）等、各種日本語読解試験への対策も行う。
達成目標
①多様な日本語文章に対応できる能力の育成・総合的な読解力の向上。②論理的思考力の養成。③各種日本語試験に合格または高得点を獲得できる能力の育成。
学修成果
日本語で書かれたさまざまな文章を、速く、そして精確に読み込む力がつき、各種日本語読解試験においても、高得点を獲得できるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	本文②予習
	授業計画	オリエンテーション 講義目的・進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	第３課　言葉の意味（２） 本文②　精読および問題演習
	事後学習	講義復習		事後学習	講義の復習
2	事前学習	前回講義の復習	10	事前学習	本文①予習
	授業計画	読解の基礎（１）①マーカー・指示語・接続語　②問題演習		授業計画	第４課　IT 社会（１） 本文①　精読および問題演習
	事後学習	課題解答		事後学習	講義の復習
3	事前学習	前回講義の復習	11	事前学習	本文②予習
	授業計画	読解の基礎（２）①様々な文章の型とマーカー　②問題演習		授業計画	第４課　IT 社会（２） 本文②　精読および問題演習
	事後学習	課題解答		事後学習	講義の復習
4	事前学習	本文①予習	12	事前学習	本文①予習
	授業計画	第１課　働かない働きアリ？（１） 本文①　精読および問題演習		授業計画	第５課　喫煙（１） 本文①　精読および問題演習
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
5	事前学習	本文②予習	13	事前学習	本文②予習
	授業計画	第１課　働かない働きアリ？（２） 本文②　精読および問題演習		授業計画	第５課　喫煙（２） 本文②　精読および問題演習
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
6	事前学習	本文①予習	14	事前学習	課題学習
	授業計画	第２課　血液型（１） 本文①　精読および問題演習		授業計画	読解の解法　実用的な文章 ①問題演習　②解答と解説
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
7	事前学習	本文②予習	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	第２課　血液型（２） 本文②　精読および問題演習		授業計画	定期試験
	事後学習	講義の復習		事後学習	定期試験振返り
8	事前学習	本文①予習			
	授業計画	第３課　言葉の意味（１） 本文①　精読および問題演習			
	事後学習	講義の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜課題・小テスト＞：20%

教科書　著者名　　清水正幸／奥山貴之
　　タイトル　　『日本語学習者のための読解厳選テーマ 10［中上級］』
　　出版社　　凡人社

参考書　著者名
　　タイトル　　講義の中で適宜提示
　　出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	外国語表現Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験教員紹介			

講義概要
多様な日本語文章に対応できる読解能力を鍛えるための講義を行う。多様な分野から多くの文章に触れる機会を提供、総合的な読み込む力を養っていく。また、併せて、JLPT 日本語能力試験 N1（読解）、日本留学試験（日本語・読解）等、各種日本語読解試験への対策も行う。
達成目標
①多様な日本語文章に対応できる能力の育成・総合的な読解力の向上。②論理的思考力の養成。③各種日本語試験に合格または高得点を獲得できる能力の育成。
学修成果
日本語で書かれたさまざまな文章を、速く、そして精確に読み込む力がつき、各種日本語読解試験においても、高得点を獲得できるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	本文②予習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	第３課　言葉の意味（２） 本文②　精読および問題演習
	事後学習	講義復習		事後学習	講義の復習
2	事前学習	前回講義の復習	10	事前学習	本文①予習
	授業計画	読解の基礎（１）　①マーカー・指示語・接続語　②問題演習		授業計画	第４課　IT 社会（１） 本文①　精読および問題演習
	事後学習	課題解答		事後学習	講義の復習
3	事前学習	前回講義の復習	11	事前学習	本文②予習
	授業計画	読解の基礎（２）①様々な文章の型とマーカー　②問題演習		授業計画	第４課　IT 社会（２） 本文②　精読および問題演習
	事後学習	課題解答		事後学習	講義の復習
4	事前学習	本文①予習	12	事前学習	本文①予習
	授業計画	第１課　働かない働きアリ？（１） 本文①　精読および問題演習		授業計画	第５課　喫煙（１） 本文①　精読および問題演習
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
5	事前学習	本文②予習	13	事前学習	本文②予習
	授業計画	第１課　働かない働きアリ？（２） 本文②　精読および問題演習		授業計画	第５課　喫煙（２） 本文②　精読および問題演習
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
6	事前学習	本文①予習	14	事前学習	課題学習
	授業計画	第２課　血液型（１） 本文①　精読および問題演習		授業計画	読解の解法　実用的な文章 ①問題演習　②解答と解説
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
7	事前学習	本文②予習	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	第２課　血液型（２） 本文②　精読および問題演習		授業計画	定期試験
	事後学習	講義の復習		事後学習	定期試験振返り
8	事前学習	本文①予習			
	授業計画	第３課　言葉の意味（１） 本文①　精読および問題演習			
	事後学習	講義の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜課題・小テスト＞：20%

教科書　著者名　　清水正幸／奥山貴之
　　タイトル　　『日本語学習者のための読解厳選テーマ 10［中上級］』
　　出版社　　凡人社

参考書　著者名
　　タイトル　　講義の中で適宜提示
　　出版社

年度	2023年度	学期	前期
科目名	外国語表現Ⅰ	単位	2単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	竹内　文		
実務経験 教員紹介			

講義概要
英語を「話す」「聞く」際に大きく影響する発音を基礎から学ぶ。音節の理解や母音・子音の正しい英語発音のための口の形や息の使い方、ストレス、リズムやイントネーションなど、さまざまなアクティビティを通して相手にとって理解しやすい発音の仕方を習得する。
達成目標
・英語の正しい音とその種類を学ぶ ・正しい音の作り方を学ぶ ・リズム、イントネーション、音の連結などを学び聞きやすい英語を習得する
学修成果
ペア・グループでのコミュニカティブな実践練習を通して相手が理解しやすいクリアな発音ができるようになることで英語を話すことに自信を持てるようになる。

授業計画

1	事前学習	これまでの授業内容の復習	9	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Spelling and pronunciation		授業計画	Consonants (3)
	事後学習	授業内容の復習		事後学習	授業内容の復習
2	事前学習	授業内容の復習	10	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Vowels (1)		授業計画	Consonants (4)
	事後学習	授業内容の復習		事後学習	授業内容の復習
3	事前学習	授業内容の復習	11	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Vowels (2)		授業計画	Consonants (5)
	事後学習	授業内容の復習		事後学習	授業内容の復習
4	事前学習	授業内容の復習	12	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Vowels (3)		授業計画	Medial clusters
	事後学習	授業内容の復習		事後学習	授業内容の復習
5	事前学習	授業内容の復習	13	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Diphthongs (1)		授業計画	Initial clusters
	事後学習	授業内容の復習		事後学習	授業内容の復習
6	事前学習	授業内容の復習	14	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Diphthongs (2)		授業計画	Final clusters
	事後学習	授業内容の復習		事後学習	これまでの授業内容の復習
7	事前学習	授業内容の復習	15	事前学習	期末試験準備
	授業計画	Consonants (1)		授業計画	期末試験
	事後学習	授業内容の復習		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	授業内容の復習			
	授業計画	Consonants (2)			
	事後学習	授業内容の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：30%　＜（参加態度）＞：40%

教科書　著者名　Linda Grant
　　タイトル　WELL SAID Fourth Edition Pronunciation for Clear Communication
　　出版社　Cengage Learning

参考書　著者名　Jonathan Marks
　　タイトル　English Pronunciation in Use
　　出版社　Cambridge University Press

年度	2023年度	学期	後期
科目名	外国語表現Ⅱ	単位	2単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
前期に続き、多様な日本語文章に対応できる読解能力を鍛えるための講義を行う。多様な分野から多くの文章に触れる機会を提供、総合的な読み込む力を養っていく。また、併せて、JLPT 日本語能力試験 N1（読解）、日本留学試験（日本語・読解）等、各種日本語読解試験への対策も行う。
達成目標
①資料の分析・調査・考察能力を育成する。②総合的読解力および論理的思考力を養成する。 ③日本の思想・文化・社会への理解を深める。
学修成果
日本語で書かれたさまざまな文章を、速く、そして精確に読み込む力がつき、各種日本語読解試験においても、高得点を獲得できるようになる。

授業計画

1	事前学習	本文①予習	9	事前学習	本文①予習
	授業計画	実践演習（1）　日本語実力試験　テスト演習		授業計画	第９課　子どもの名前（1） 本文①　精読および問題演習
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
2	事前学習	演習問題の解き直し	10	事前学習	本文②予習
	授業計画	実践演習（2）　日本語実力試験　解答解説		授業計画	第９課　子どもの名前（2） 本文②　精読および問題演習
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
3	事前学習	本文①予習	11	事前学習	本文①予習
	授業計画	第６課　Kawaii（1） 本文①　精読および問題演習		授業計画	第 10 課　高齢化のなかで（1） 本文①　精読および問題演習
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
4	事前学習	本文②予習	12	事前学習	本文②予習
	授業計画	第６課　Kawaii（2） 本文②　精読および問題演習		授業計画	第 10 課　高齢化のなかで（2） 本文②　精読および問題演習
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
5	事前学習	本文①予習	13	事前学習	課題学習
	授業計画	第７課　若者（1） 本文①　精読および問題演習		授業計画	読解の解法（1）　実用的な文章 ①問題演習　②解答と解説
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
6	事前学習	本文②予習	14	事前学習	課題学習
	授業計画	第７課　若者（2） 本文②　精読および問題演習		授業計画	読解の解法（2）　実用的な文章 ①問題演習　②解答と解説
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
7	事前学習	本文①予習	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	第８課　いじめ（1） 本文①　精読および問題演習		授業計画	定期試験
	事後学習	講義の復習		事後学習	定期試験振り返り
8	事前学習	本文②予習			
	授業計画	第８課　いじめ（2） 本文②　精読および問題演習			
	事後学習	講義の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜課題・小テスト＞：20%

教科書　著者名　　清水正幸／奥山貴之
　　タイトル　『日本語学習者のための読解厳選テーマ 10［中上級］』
　　出版社　　凡人社

参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜提示
　　出版社

年度	2023年度	学期	後期
科目名	外国語表現Ⅱ	単位	2単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
前期に続き、多様な日本語文章に対応できる読解能力を鍛えるための講義を行う。多様な分野から多くの文章に触れる機会を提供、総合的な読み込む力を養っていく。また、併せて、JLPT 日本語能力試験 N1（読解）、日本留学試験（日本語・読解）等、各種日本語読解試験への対策も行う。
達成目標
①資料の分析・調査・考察能力を育成する。②総合的読解力および論理的思考力を養成する。 ③日本の思想・文化・社会への理解を深める。
学修成果
日本語で書かれたさまざまな文章を、速く、そして精確に読み込む力がつき、各種日本語読解試験においても、高得点を獲得できるようになる。

授業計画

1	事前学習	本文①予習	9	事前学習	本文①予習
	授業計画	実践演習（1）　日本語実力試験　テスト演習		授業計画	第９課　子どもの名前（1） 本文①　精読および問題演習
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
2	事前学習	演習問題の解き直し	10	事前学習	本文②予習
	授業計画	実践演習（2）　日本語実力試験　解答解説		授業計画	第９課　子どもの名前（2） 本文②　精読および問題演習
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
3	事前学習	本文①予習	11	事前学習	本文①予習
	授業計画	第６課　Kawaii（1） 本文①　精読および問題演習		授業計画	第 10 課　高齢化のなかで（1） 本文①　精読および問題演習
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
4	事前学習	本文②予習	12	事前学習	本文②予習
	授業計画	第６課　Kawaii（2） 本文②　精読および問題演習		授業計画	第 10 課　高齢化のなかで（2） 本文②　精読および問題演習
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
5	事前学習	本文①予習	13	事前学習	課題学習
	授業計画	第７課　若者（1） 本文①　精読および問題演習		授業計画	読解の解法（1）　実用的な文章 ①問題演習　②解答と解説
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
6	事前学習	本文②予習	14	事前学習	課題学習
	授業計画	第７課　若者（2） 本文②　精読および問題演習		授業計画	読解の解法（2）　実用的な文章 ①問題演習　②解答と解説
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
7	事前学習	本文①予習	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	第８課　いじめ（1） 本文①　精読および問題演習		授業計画	定期試験
	事後学習	講義の復習		事後学習	定期試験振り返り
8	事前学習	本文②予習			
	授業計画	第８課　いじめ（2） 本文②　精読および問題演習			
	事後学習	講義の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜課題・小テスト＞：20%

教科書　著者名　　清水正幸／奥山貴之
　　タイトル　『日本語学習者のための読解厳選テーマ 10［中上級］』
　　出版社　　凡人社

参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜提示
　　出版社

年度	2023年度	学期	後期
科目名	外国語表現Ⅱ	単位	2単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	竹内　文		
実務経験 教員紹介			

講義概要
英語を「話す」「聞く」際に大きく影響する発音を基礎から学ぶ。音節の理解や母音・子音の正しい英語発音のための口の形や息の使い方、ストレス、リズムやイントネーションなど、さまざまなアクティビティを通して相手にとって理解しやすい発音の仕方を習得する。
達成目標
・英語の正しい音とその種類を学ぶ ・正しい音の作り方を学ぶ ・リズム、イントネーション、音の連結などを学び聞きやすい英語を習得する
学修成果
ペア・グループでのコミュニカティブな実践練習を通して相手が理解しやすいクリアな発音ができるようになることで英語を話すことに自信を持てるようになる。

授業計画

1	事前学習	これまでの授業内容の復習	9	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Strong and weak forms: pronouns		授業計画	Intonation: active listening
	事後学習	語彙の復習		事後学習	授業内容の復習
2	事前学習	授業内容の復習	10	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Strong and weak forms: conjunctions		授業計画	Intonation: contrastive stress
	事後学習	授業内容の復習		事後学習	授業内容の復習
3	事前学習	授業内容の復習	11	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Strong and weak forms: prepositions		授業計画	Intonation: emphatic stress
	事後学習	授業内容の復習		事後学習	授業内容の復習
4	事前学習	授業内容の復習	12	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Strong and weak forms: articles, comparatives		授業計画	Intonation: functional language 1
	事後学習	授業内容の復習		事後学習	授業内容の復習
5	事前学習	授業内容の復習	13	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Strong and weak forms: auxiliary verbs		授業計画	Intonation: functional language 2
	事後学習	授業内容の復習		事後学習	授業内容の復習
6	事前学習	授業内容の復習	14	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Classroom Testing (Presentation)		授業計画	期末試験準備
	事後学習	テストの振り返り		事後学習	期末試験準備
7	事前学習	テストの振り返り	15	事前学習	期末試験準備
	授業計画	Intonation: fall-rise and fall for old and new information		授業計画	期末試験
	事後学習	授業内容の復習		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	授業内容の復習			
	授業計画	Intonation: storytelling			
	事後学習	授業内容の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：30%　＜（参加態度）＞：40%

教科書　著者名　Linda Grant
　　タイトル　WELL SAID Fourth Edition Pronunciation for Clear Communication
　　出版社　Cengage Learning

参考書　著者名　Jonathan Marks
　　タイトル　English Pronunciation in Use
　　出版社　Cambridge University Press

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	総合外国語Ⅰ（文法）	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	河村　有理		
実務経験教員紹介	国内の日本語学校で 10 年間直接法にて日本語科目の講師を務める。中国で現地スタッフにオフィス系ソフトおよびグラフィック・ドロー・編集系ソフトの技術指導を約 1 年ほど行う		

講義概要
テキストを利用し、N1 レベルに対応した文字・語彙・文法を中心に学習します。語彙は表面的な意味だけではなく、日本独自のコロケーションや使い方を理解し、文法についても JLPT の枠にとらわれず、より実践的な文章を読みこなす力を身に付けることに焦点を当てます。
達成目標
N1 レベルの文字・語彙・文法のそれぞれの分野を学習し、身に付けることで、日本語の難度の高い文章を読みこなし、十分理解できるようになる。
学修成果
高いレベルの文字・語彙・文法といった基礎知識を身に付けることで、ベストセラーとなった書評エッセイを読めるだけの知識と理解力身につけることができる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	文法の事前学習
	授業計画	オリエンテーション 講義目的・進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	3 課の語彙、練習問題の FB 3 課の文法の講義
	事後学習	講義のまとめ		事後学習	練習問題を行う
2	事前学習	語彙の事前学習	10	事前学習	文法の事前学習
	授業計画	1 課の語彙 意味・使い方・類語などを講義する		授業計画	3 課の文法続き、練習問題の FB 3 課で読めるエッセイの読解
	事後学習	練習問題を行う		事後学習	読解問題を行う
3	事前学習	文法の事前学習	11	事前学習	今までの文字・語彙・文法の復習
	授業計画	1 課の語彙、練習問題の FB 1 課の文法の講義		授業計画	小テストを行う ４課語彙
	事後学習	練習問題を行う		事後学習	語彙の復習
4	事前学習	文法の事前学習	12	事前学習	語彙の事前学習
	授業計画	1 課の文法続き、練習問題の FB 1 課で読めるエッセイの読解		授業計画	４課の語彙 意味・使い方・類語などを講義する
	事後学習	読解問題を行う		事後学習	練習問題を行う
5	事前学習	語彙の事前学習	13	事前学習	文法の事前学習
	授業計画	2 課の語彙 意味・使い方・類語などを講義する		授業計画	練習問題の FB ４課の文法の講義
	事後学習	練習問題を行う		事後学習	練習問題を行う
6	事前学習	文法の事前学習	14	事前学習	文法の事前学習
	授業計画	2 課の語彙、練習問題の FB 2 課の文法の講義		授業計画	練習問題の FB ４課で読めるエッセイの読解
	事後学習	練習問題を行う		事後学習	読解問題を行う
7	事前学習	文法の事前学習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	2 課の文法続き、練習問題の FB 2 課で読めるエッセイの読解		授業計画	定期試験
	事後学習	読解問題を行う		事後学習	試験のポイント解説
8	事前学習	語彙の事前学習			
	授業計画	3 課の語彙 意味・使い方・類語などを講義する			
	事後学習	練習問題を行う			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：40%　＜（平常点・小テスト）＞：40%

教科書　著者名　　田中祐輔
　　タイトル　『日本がわかる、日本語がわかる』準拠文字・語彙・文法を学ぶための実践練習ノート
　　出版社　　凡人社

参考書　著者名　　田中祐輔
　　タイトル　日本がわかる、日本語がわかる　ベストセラーの書評エッセイ２４
　　出版社　　凡人社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	総合外国語Ⅰ（文法）	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	河村　有理		
実務経験教員紹介	国内の日本語学校で 10 年間直接法にて日本語科目の講師を務める。中国で現地スタッフにオフィス系ソフトおよびグラフィック・ドロー・編集系ソフトの技術指導を約 1 年ほど行う		

講義概要
テキストを利用し、N1 レベルに対応した文字・語彙・文法を中心に学習します。語彙は表面的な意味だけではなく、日本独自のコロケーションや使い方を理解し、文法についても JLPT の枠にとらわれず、より実践的な文章を読みこなす力を身に付けることに焦点を当てます。
達成目標
N1 レベルの文字・語彙・文法のそれぞれの分野を学習し、身に付けることで、日本語の難度の高い文章を読みこなし、十分理解できるようになる。
学修成果
高いレベルの文字・語彙・文法といった基礎知識を身に付けることで、ベストセラーとなった書評エッセイを読めるだけの知識と理解力身につけることができる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	文法の事前学習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	3 課の語彙、練習問題の FB 3 課の文法の講義
	事後学習	講義のまとめ		事後学習	練習問題を行う
2	事前学習	語彙の事前学習	10	事前学習	文法の事前学習
	授業計画	1 課の語彙 意味・使い方・類語などを講義する		授業計画	3 課の文法続き、練習問題の FB 3 課で読めるエッセイの読解
	事後学習	練習問題を行う		事後学習	読解問題を行う
3	事前学習	文法の事前学習	11	事前学習	今までの文字・語彙・文法の復習
	授業計画	1 課の語彙、練習問題の FB 1 課の文法の講義		授業計画	小テストを行う ４課語彙
	事後学習	練習問題を行う		事後学習	語彙の復習
4	事前学習	文法の事前学習	12	事前学習	語彙の事前学習
	授業計画	1 課の文法続き、練習問題の FB 1 課で読めるエッセイの読解		授業計画	４課の語彙 意味・使い方・類語などを講義する
	事後学習	読解問題を行う		事後学習	練習問題を行う
5	事前学習	語彙の事前学習	13	事前学習	文法の事前学習
	授業計画	2 課の語彙 意味・使い方・類語などを講義する		授業計画	練習問題の FB ４課の文法の講義
	事後学習	練習問題を行う		事後学習	練習問題を行う
6	事前学習	文法の事前学習	14	事前学習	文法の事前学習
	授業計画	2 課の語彙、練習問題の FB 2 課の文法の講義		授業計画	練習問題の FB ４課で読めるエッセイの読解
	事後学習	練習問題を行う		事後学習	読解問題を行う
7	事前学習	文法の事前学習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	2 課の文法続き、練習問題の FB 2 課で読めるエッセイの読解		授業計画	定期試験
	事後学習	読解問題を行う		事後学習	試験のポイント解説
8	事前学習	語彙の事前学習			
	授業計画	3 課の語彙 意味・使い方・類語などを講義する			
	事後学習	練習問題を行う			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：40%　＜（平常点・小テスト）＞：40%

教科書　著者名　　田中祐輔
　　タイトル　『日本がわかる、日本語がわかる』準拠文字・語彙・文法を学ぶための実践練習ノート
　　出版社　　凡人社

参考書　著者名　　田中祐輔
　　タイトル　日本がわかる、日本語がわかる　ベストセラーの書評エッセイ２４
　　出版社　　凡人社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	総合外国語 I （文法）	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日経メガバンクにおける勘定系システム導入支援及び海外支店での研修 英会話学校：学校における教務全般管理・カリキュラム作成・外国人教師の管理及び指導担当		

講義概要
この授業では、Form（型）、Meaning（意味）、Use（機能）の言語習得の三要素に着目し英文法を学習する事で、「見聞きした事があるが使えない。」と言う、多くの学習者が直面するジレンマから脱却する事を目標とする。
達成目標
基本の三時制である「現在形」、「過去形」、「未来形」のニュアンスについて理解すると共に、「形容詞」、「副詞」等の初級文法についても、会話の中で使用出来る様になる。
学修成果
単語ではなく、文章での英語でのコミュニケーションが可能になる。「自分自身や家族の事」、また「趣味」等の日常的なトピックについて、自信を持って発話出来るようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	am/ is/ are（be 動詞の肯定文・否定文）		授業計画	be 動詞の過去形
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
2	事前学習	前回の授業内容について見直し	10	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	am/ is/ are（be 動詞の疑問文）		授業計画	単純過去形
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
3	事前学習	前回の授業内容について見直し	11	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	現在進行形		授業計画	単純過去形の否定文と疑問文
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
4	事前学習	前回の授業内容について見直し	12	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形		授業計画	I'm going to + 動詞の原形
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
5	事前学習	前回の授業内容について見直し	13	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形の否定文		授業計画	未来を表す be + ing
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
6	事前学習	前回の授業内容について見直し	14	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形の疑問文		授業計画	これまでの講義内容について復習
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
7	事前学習	前回の授業内容について見直し	15	事前学習	これまでの講義内容について見直し
	授業計画	形容詞		授業計画	期末試験
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	なし
8	事前学習	前回の授業内容について見直し			
	授業計画	副詞			
	事後学習	授業内容について復習			

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：90%　＜（授業態度）＞：10%
教科書　著者名　　Raymond Murphy
　　タイトル　マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）
　　出版社　　ケンブリッジ大学出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023年度	学期	後期
科目名	総合外国語Ⅱ(文法)	単位	2単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
前期に続き、高度な日本語の理解力と運用力を身につけることを目的とする。単なる語彙・文法の学習にとどまらず、活きた日本語表現力の向上を目指す。併せて、JLPT 日本語能力試験 N1（語彙・文法)、日本留学試験（日本語）等、各種日本語試験への対策も行う。
達成目標
①高度な日本語表現を理解し、また運用できる能力の育成。②論理的思考力の養成。③各種日本語試験に合格または高得点を獲得できる能力の育成。
学修成果
文字・音声による高度な日本語表現を理解し、また自らも運用できる力がつく。各種日本語試験においても、高得点を獲得できるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義の予習
	授業計画	オリエンテーション 講義目的・進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	Lesson２ Ⅰ．文字・語彙・コロケーション
	事後学習	講義復習		事後学習	講義の復習
2	事前学習	前回講義の復習	10	事前学習	講義の予習
	授業計画	Lesson３ Ⅰ．文字・語彙・コロケーション		授業計画	Lesson４ Ⅰ．文字・語彙・コロケーション
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
3	事前学習	講義の予習	11	事前学習	講義の予習
	授業計画	Lesson３ Ⅰ．文字・語彙・コロケーション		授業計画	Lesson４ Ⅰ．文字・語彙・コロケーション
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
4	事前学習	講義の予習	12	事前学習	講義の予習
	授業計画	Lesson３ Ⅰ．文字・語彙・コロケーション		授業計画	Lesson４ Ⅱ．文系・文法
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
5	事前学習	講義の予習	13	事前学習	講義の予習
	授業計画	Lesson３ Ⅱ．文系・文法		授業計画	Lesson４ Ⅱ．文系・文法
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
6	事前学習	講義の予習	14	事前学習	講義の予習
	授業計画	Lesson３ Ⅱ．文系・文法		授業計画	Lesson４ Ⅲ．類義表現
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
7	事前学習	講義の予習	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	Lesson3 Ⅲ．類義表現		授業計画	定期試験
	事後学習	講義の復習		事後学習	定期試験振返り
8	事前学習	Lesson３総復習			
	授業計画	中間試験			
	事後学習	講義の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜課題・小テスト＞：20%
教科書　著者名　　田中　祐輔（編著）
　　タイトル　『書き込み式　表現するための語彙文法練習ノート＜上＞』
　　出版社　　凡人社
参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜提示
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	総合外国語Ⅱ(文法)	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
前期に続き、高度な日本語の理解力と運用力を身につけることを目的とする。単なる語彙・文法の学習にとどまらず、活きた日本語表現力の向上を目指す。併せて、JLPT 日本語能力試験 N1（語彙・文法)、日本留学試験（日本語）等、各種日本語試験への対策も行う。
達成目標
①高度な日本語表現を理解し、また運用できる能力の育成。②論理的思考力の養成。③各種日本語試験に合格または高得点を獲得できる能力の育成。
学修成果
文字・音声による高度な日本語表現を理解し、また自らも運用できる力がつく。各種日本語試験においても、高得点を獲得できるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義の予習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	Lesson２ Ⅰ．文字・語彙・コロケーション
	事後学習	講義復習		事後学習	講義の復習
2	事前学習	前回講義の復習	10	事前学習	講義の予習
	授業計画	Lesson３ Ⅰ．文字・語彙・コロケーション		授業計画	Lesson４ Ⅰ．文字・語彙・コロケーション
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
3	事前学習	講義の予習	11	事前学習	講義の予習
	授業計画	Lesson３ Ⅰ．文字・語彙・コロケーション		授業計画	Lesson４ Ⅰ．文字・語彙・コロケーション
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
4	事前学習	講義の予習	12	事前学習	講義の予習
	授業計画	Lesson３ Ⅰ．文字・語彙・コロケーション		授業計画	Lesson４ Ⅱ．文系・文法
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
5	事前学習	講義の予習	13	事前学習	講義の予習
	授業計画	Lesson３ Ⅱ．文系・文法		授業計画	Lesson４ Ⅱ．文系・文法
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
6	事前学習	講義の予習	14	事前学習	講義の予習
	授業計画	Lesson３ Ⅱ．文系・文法		授業計画	Lesson４ Ⅲ．類義表現
	事後学習	講義の復習		事後学習	講義の復習
7	事前学習	講義の予習	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	Lesson３ Ⅲ．類義表現		授業計画	定期試験
	事後学習	講義の復習		事後学習	定期試験振返り
8	事前学習	Lesson３総復習			
	授業計画	中間試験			
	事後学習	講義の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜課題・小テスト＞：20%

教科書　著者名　　田中　祐輔（編著）
　　タイトル　『書き込み式　表現するための語彙文法練習ノート＜上＞』
　　出版社　　凡人社

参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜提示
　　出版社

年度	2023年度	学期	後期
科目名	総合外国語Ⅱ（文法）	単位	2単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT企業勤務：日経メガバンクにおける勘定系システム導入支援及び海外支店での研修 英会話学校：学校における教務全般管理・カリキュラム作成・外国人教師の管理及び指導担当		

講義概要
この授業では、Form（型）、Meaning（意味）、Use（機能）の言語習得の三要素に着目し、環境・資源・科学・技術・自然・動植物・健康・医療・ビジネス・経済・社会・ニュース・歴史・文化と言った多岐に渡る英文やニュース等を利用し、文法や語彙のニュアンスについて学習する。
達成目標
多岐に渡るトピックに使用されている、文法や語彙、同義語等のニュアンスについて理解し、自分自身の言葉として使用出来るようになる事を目標とする。
学修成果
様々なトピックで使用されている文法や語彙について理解し、それらトピックに関する、自分自身の意見や立場を自分の言葉で発信出来るようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	環境・資源①		授業計画	自然・動植物②
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
2	事前学習	前回の授業内容について見直し	10	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	科学・技術①		授業計画	健康・医療②
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
3	事前学習	前回の授業内容について見直し	11	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	自然・動植物①		授業計画	ビジネス・経済②
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
4	事前学習	前回の授業内容について見直し	12	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	健康・医療①		授業計画	社会・ニュース②
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
5	事前学習	前回の授業内容について見直し	13	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	ビジネス・経済①		授業計画	環境・資源②
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
6	事前学習	前回の授業内容について見直し	14	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	社会・ニュース①		授業計画	これまでの講義内容について復習
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
7	事前学習	前回の授業内容について見直し	15	事前学習	これまでの講義内容について見直し
	授業計画	環境・資源②		授業計画	期末試験
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	なし
8	事前学習	前回の授業内容について見直し			
	授業計画	科学・技術②			
	事後学習	授業内容について復習			

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：90%　＜（授業態度）＞：10%
教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　英検準2級/2級　文で覚える単熟語
　　出版社　　旺文社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	通訳翻訳概論 I	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	向田　和弘		
実務経験 教員紹介	コンテンツ（映画・音楽・TV・ラジオ・出版）、医療、IT、畜産などの分野での通訳翻訳等実務経験 33 年。		

講義概要
通訳と翻訳という仕事と、関連業界についてのアウトラインを把握しつつ、ロールプレイ法による実践的練習を通して、通訳としての立ち振る舞いと、基本的な準備姿勢と実際の企業内通訳としての学習の仕方を学ぶ。
達成目標
通訳・翻訳業界について大まかな理解をし、練習を通してそれぞれの立場における立ち位置を体得するとともに、各科目を集約する形で日中両国語でアウトプットできるようにする。
学修成果
通訳や翻訳の業界のあらましについて理解し、適切な言葉で日中両国語を置き換えられるようになる。また、企業内通訳者として、日常業務の通訳翻訳作業ができるレベルに到達する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	配布資料を読む
	授業計画	講義ガイダンス どのように通訳技術を学び人生の中に生かしていくか		授業計画	ロールプレイ法による訓練　6 社内会議通訳
	事後学習	翻訳課題提出		事後学習	翻訳課題提出
2	事前学習	指定資料を読み、翻訳する	10	事前学習	配布資料を読み、グループ内で練習
	授業計画	通訳翻訳業概説・講義法説明 通訳翻訳の仕事の概要と、訓練方法		授業計画	翻訳入門　1　中国特有の語彙をどう説明するか　1　警察語彙
	事後学習	翻訳課題提出		事後学習	翻訳課題提出
3	事前学習	配布資料を読み、グループ内で練習	11	事前学習	配布資料を読み、グループ内で練習
	授業計画	ロールプレイ法による訓練　初級 1 店舗アテンドパターン A		授業計画	翻訳入門　2 中国特有の語彙をどう説明するか　2　政治語彙
	事後学習	翻訳課題提出		事後学習	翻訳課題提出
4	事前学習	配布資料を読み、グループ内で練習	12	事前学習	配布資料を読み、グループ内で練習
	授業計画	ロールプレイ法による訓練　初級 2 店舗アテンドパターン B		授業計画	翻訳入門　3　中国特有の語彙をどう説明するか　3　生活語彙
	事後学習	翻訳課題提出		事後学習	翻訳課題提出
5	事前学習	配布資料を読み、グループ内で練習	13	事前学習	配布資料を読み、グループ内で練習
	授業計画	ロールプレイ法による訓練　初級 3 店舗アテンドパターン C		授業計画	翻訳入門　4　中国特有の語彙をどう説明するか　4　文化語彙
	事後学習	翻訳課題提出		事後学習	翻訳課題提出
6	事前学習	配布資料を読み、グループ内で練習	14	事前学習	配布資料を基に知識を整理しておく
	授業計画	通訳業務実技概論　通訳業務の順序と準備としての調査の方法		授業計画	課題と演習で学んだ知識の整理とレポート作法について
	事後学習	翻訳課題提出		事後学習	試験準備
7	事前学習	配布資料を読み、グループ内で練習	15	事前学習	学期末レポートを提出する
	授業計画	ロールプレイ法による訓練　初級 4 インタビュー通訳		授業計画	期末試験 選択問題 30 題
	事後学習	翻訳課題提出		事後学習	今学期の資料を整理する
8	事前学習	配布資料を読み、グループ内で練習			
	授業計画	ロールプレイ法による訓練　初級 5 インタビュー通訳			
	事後学習	翻訳課題提出			

評価方法　　出席状況：15%　定期試験：15%　＜（　　課題　　）＞：70%

教科書　著者名
　　タイトル　選定中
　　出版社

参考書　著者名　　イカロス出版編集局
　　タイトル　通訳者・翻訳者になる本
　　出版社　　イカロス出版

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	通訳翻訳概論 I	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	Tran Thi Duy Ngoc		
実務経験 教員紹介	ベトナムで書籍の翻訳、通訳経験あり		

講義概要
本授業では、翻訳・通訳の活動を通じて、学生たちに就活や仕事、ビジネスの場面で必要な「改まった日本語」を学ぶ機会を積極的に提供します。また、会話のシミュレーションにも多くの時間を割きます。ベトナム語と日本語の違いを理解し、場面に合わせた表現が使えるようになります。
達成目標
この科目の目標は、学生が就職活動や職場などビジネスシーンの中で流暢な日本語表現ができるようになることです。ネイティブレベルの会話力を目指します。
学修成果
ビジネスの場面で正確かつ適切な日本語を効果的に使用できるようになる。社会人として通用するレベルの日本語力が身につく。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	「印象に残る自己紹介のポイント」を押さえ、自己紹介の話し方を練習する		授業計画	「長所」に関する表現と就活でのアピール方法を練習する①
	事後学習	会話の練習		事後学習	教材内容の確認、話し方の練習
2	事前学習	講義資料の見直し	10	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	新年度の目標設定と行動計画の立て方を理解し、実際に応用する		授業計画	「長所」に関する表現と就活でのアピール方法を練習する②
	事後学習	教材内容の確認、話し方の練習		事後学習	教材内容の確認、話し方の練習
3	事前学習	講義資料の見直し	11	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	「ベトナム人との働き方について①」日越の異文化を理解する１		授業計画	「長所」に関する表現と就活でのアピール方法を練習する③
	事後学習	教材内容の確認、話し方の練習		事後学習	教材内容の確認、話し方の練習
4	事前学習	講義資料の見直し	12	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	「ベトナム人との働き方について①」日越の異文化を理解する２		授業計画	「長所」に関する表現と就活でのアピール方法を練習する④
	事後学習	教材内容の確認、話し方の練習		事後学習	教材内容の確認、話し方の練習
5	事前学習	講義資料の見直し	13	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	「ベトナム人との働き方について②」日越の異文化を理解する１		授業計画	「短所」に関する表現と就活でのアピール方法を練習する①
	事後学習	教材内容の確認、話し方の練習		事後学習	教材内容の確認、話し方の練習
6	事前学習	講義資料の見直し	14	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	「ベトナム人との働き方について②」日越の異文化を理解する２		授業計画	「短所」に関する表現と就活でのアピール方法を練習する①
	事後学習	教材内容の確認、話し方の練習		事後学習	教材内容の確認、話し方の練習
7	事前学習	講義資料の見直し	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	「趣味」に関する表現と就活でのアピール方法を練習する①		授業計画	期末試験
	事後学習	教材内容の確認、話し方の練習		事後学習	復習
8	事前学習	講義資料の見直し			
	授業計画	「趣味」に関する表現と就活でのアピール方法を練習する②			
	事後学習	教材内容の確認、話し方の練習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　小テスト・課題　　）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	通訳翻訳概論 I	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験教員紹介	通訳案内士として外国人観光客を案内する立場から、日本の文化や社会、および国際社会の日本の在り方を研究してきた。		

講義概要
リスニングおよびリーディング、ライティング、スピーキングの基本 4 技能を総合的かつ効果的に学習する。また、ホスピタリティ産業や時事問題を扱った英文を読解し、自己の考えをまとめ、またそれに関するディスカッションを通して、実用的な英語の活用を積極的に行っていく。
達成目標
ボキャブラリーや基本イディオムを学習し、4 技能の総合的な向上を目指し、TOEIC スコア 550 点、実用英語検定試験 2 級または準 2 級、観光英検試験の２級または３級の資格取得を目指す。
学修成果
英語の基本 4 技能を総合的かつ効果的に学習し、英検準 2 級レベルの英文を理解し活用できるようにする。実生活でも英語を積極的に使用できるよう基本的な力を身に着ける。

授業計画

1	事前学習	教室の確認、備品の準備	9	事前学習	教科書の通読
	授業計画	オリエンテーション（講義の目標、進め方、評価基準、その他の詳しい内容の説明と確認）、自己紹介		授業計画	「Matsuri, Jinjya」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
2	事前学習	教科書の通読	10	事前学習	教科書の通読
	授業計画	ホテルで使われる英語を学習		授業計画	「Judo, Sumo」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
3	事前学習	教科書の通読	11	事前学習	教科書の通読
	授業計画	空港で使われる英語を学習		授業計画	「Tokonoma, Futon,Fusuma」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
4	事前学習	教科書の通読	12	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「Kabuki, Nou, Bunraku」を精読		授業計画	「Kotastu, Yukata, Sensu」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
5	事前学習	教科書の通読	13	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「Shamisen, Wadaiko, Kimono, Geisya」を精読		授業計画	「Kabuki, Nou, Bunraku」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
6	事前学習	教科書の通読	14	事前学習	期末試験のための重要事項のまとめ
	授業計画	「Chanoyu,Ikebana, Syodo」を精読		授業計画	前期の履修項目を再チェックし、重要事項を各自でノートにまとめる。
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	期末試験の準備のための重要事項の確認
7	事前学習	教科書の通読	15	事前学習	期末試験のための重要事項のまとめ
	授業計画	「Kendo, Kyudo, Karate」を精読		授業計画	期末試験
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	期末試験の見直し確認
8	事前学習	教科書の通読			
	授業計画	「Haiku, Shogi, Karuta」を精読			
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：40%　＜（ 課題提出 ）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル　英語でガイド!世界とくらべてわかる日本まるごと紹介事典
　　出版社　　Ｊリサーチ出版

参考書　著者名
　　タイトル　英語で語る日本事情２０２０
　　出版社　　ジャパンタイムズ

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	通訳翻訳概論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	向田　和弘		
実務経験 教員紹介	コンテンツ（映画・音楽・TV・ラジオ・出版）、医療、IT、畜産などの分野での通訳翻訳等実務経験 33 年。		

講義概要
前学期では主に中→日をベースとした学習を行ってきたことから、今学期は日→中の学習を中心として行うほか、これまでの学習内容を基に、より進んだ領域の学習を行う準備として、通訳の歴史、職業倫理などについて学び、理論面の強化を行うとともに、さまざまな文献の翻訳訓練を並行して行う。
達成目標
通訳翻訳者として、理論面での知識と実践面での知識をバランスよく習得し、2 年次での演習中心の学習に備え、基礎を習得する。また、基礎的な文献の翻訳能力・読解力を向上させる。
学修成果
通訳翻訳に関する基礎知識を掌握し、職業としての通訳翻訳者のあり方を理解し、更に 2 年時の各科目について自学自習を進めることのできるステージへと歩みを進める。

授業計画

1	事前学習	事前資料の読み込み	9	事前学習	教科書予習
	授業計画	翻訳とは･通訳とは　異文化コミュニケーションについて		授業計画	メディアと通訳翻訳 事実を伝えるとはどういうことか
	事後学習	使用構文・単語などの整理		事後学習	翻訳課題提出
2	事前学習	教科書予習	10	事前学習	教科書予習
	授業計画	日本の通訳翻訳史　日本で通訳という職業がどう発展してきたのか		授業計画	翻訳通訳教育 通訳者の適性と訓練
	事後学習	翻訳課題提出		事後学習	翻訳課題提出
3	事前学習	教科書予習	11	事前学習	教科書予習
	授業計画	世界の通訳史　世界において通訳という職業がどう発展してきたのか		授業計画	翻訳学 日中における翻訳論とその研究
	事後学習	翻訳課題提出		事後学習	翻訳課題提出
4	事前学習	教科書予習	12	事前学習	教科書予習
	授業計画	世界の翻訳史 西洋と中国における翻訳の発展		授業計画	通訳学　通訳者とは何者か・アイデンティティを考える
	事後学習	翻訳課題提出		事後学習	翻訳課題提出
5	事前学習	教科書予習	13	事前学習	教科書予習
	授業計画	翻訳通訳者の役割と立ち位置 翻訳者と通訳者はどうあるべきか		授業計画	隣接分野について 言語と文化を考える
	事後学習	翻訳課題提出		事後学習	翻訳課題提出
6	事前学習	教科書予習	14	事前学習	自己復習（テキストベース）
	授業計画	通訳の種類 さまざまな通訳の姿を考える		授業計画	知識ポイント総合復習
	事後学習	翻訳課題提出		事後学習	課題提出
7	事前学習	教科書予習	15	事前学習	試験の準備
	授業計画	翻訳とテクノロジー　職業翻訳者として利用するツールに関する知識		授業計画	期末試験
	事後学習	翻訳課題提出		事後学習	自己採点と見直し
8	事前学習	教科書予習			
	授業計画	職業としての翻訳　翻訳の仕事とその実例			
	事後学習	翻訳課題提出			

評価方法　　出席状況：15%　定期試験：15%　＜（　課題　　）＞：70%

教科書　著者名　　鳥飼玖美子編著
　　タイトル　よくわかる翻訳通訳学
　　出版社　　ミネルヴァ出版

参考書　著者名
　　タイトル　授業中に指定する
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	通訳翻訳概論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	Tran Thi Duy Ngoc		
実務経験 教員紹介	ベトナムで書籍の翻訳、通訳経験あり		

講義概要
本授業では、前期に引き継ぎ、翻訳・通訳の活動を通じて、学生たちに就活や仕事、ビジネスの場面で必要な「改まった日本語」を学ぶ機会を積極的に提供します。また、会話のシミュレーションにも多くの時間を割きます。ベトナム語と日本語の違いを理解し、場面に合わせた表現が使えるようになります。
達成目標
就職活動や職場など、ビジネスシーンの中で流暢な日本語表現ができるようになることです。ネイティブレベルの会話力を目指します。
学修成果
ビジネスの場面で正確かつ適切な日本語を効果的に使用できるようになる。社会人として通用するレベルの日本語力が身につく。

授業計画

1	事前学習	講義資料の見直し	9	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	通訳ガイドのニュース①ツアーガイドの通訳・翻訳の実践を行う		授業計画	サービス業に関連するニュース③ 通訳・翻訳の実践
	事後学習	会話の練習		事後学習	教材内容の確認、話し方の練習
2	事前学習	講義資料の見直し	10	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	通訳ガイドのニュース②ツアーガイドの通訳・翻訳の実践を行う		授業計画	不動産業に関連するニュース① 通訳・翻訳の実践
	事後学習	教材内容の確認、話し方の練習		事後学習	教材内容の確認、話し方の練習
3	事前学習	講義資料の見直し	11	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	通訳ガイドのニュース③ツアーガイドの通訳・翻訳の実践を行う		授業計画	不動産業に関連するニュース② 通訳・翻訳の実践
	事後学習	教材内容の確認、話し方の練習		事後学習	教材内容の確認、話し方の練習
4	事前学習	講義資料の見直し	12	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	技能実習に関連するニュース① 通訳・翻訳の実践		授業計画	不動産業に関連するニュース③ 通訳・翻訳の実践
	事後学習	教材内容の確認、話し方の練習		事後学習	教材内容の確認、話し方の練習
5	事前学習	講義資料の見直し	13	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	技能実習に関連するニュース② 通訳・翻訳の実践		授業計画	ホテル・宿泊施設関連職のニュース① 通訳・翻訳の実践
	事後学習	教材内容の確認、話し方の練習		事後学習	教材内容の確認、話し方の練習
6	事前学習	講義資料の見直し	14	事前学習	講義資料の見直し
	授業計画	技能実習に関連するニュース③ 通訳・翻訳の実践		授業計画	ホテル・宿泊施設関連職のニュース② 通訳・翻訳の実践
	事後学習	教材内容の確認、話し方の練習		事後学習	教材内容の確認、話し方の練習
7	事前学習	講義資料の見直し	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	サービス業に関連するニュース① 通訳・翻訳の実践		授業計画	期末試験
	事後学習	教材内容の確認、話し方の練習		事後学習	復習
8	事前学習	講義資料の見直し			
	授業計画	サービス業に関連するニュース② 通訳・翻訳の実践			
	事後学習	教材内容の確認、話し方の練習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（ 課題・テスト　 ）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	通訳翻訳概論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験教員紹介	通訳案内士として外国人観光客を案内する立場から、日本の文化や社会、および国際社会の日本の在り方を研究してきた。		

講義概要
ビジュアル教材やテキストを有効に活用し、日本の風土・歴史・文化・観光の理解を深めるだけでなく、日本の世界遺産についても、その知識の向上と理解をはかる。また、ホスピタリティ産業の分野での実際のシチュエーションを加味し、効果的かつ魅力的なアウトプットの仕方を学ぶ。
達成目標
前期履修の基礎知識をもとに、日本の風土や地理、歴史、貴重な文化遺産、産業についての理解を深め、英語と日本語の両方を用いてディスカッションができる段階にまで高める。
学修成果
TOEIC スコアの 50 点アップ、観光英語検定試験の２級の資格取得を目指す。ホスピタリティのプロとしての実践的なコミュニケーション力を確立する。

授業計画

1	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「Ryokucha, Izakaya, Onigiri」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
2	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「Nabemono, Shoyu」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
3	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「Okonomiyaki, Bento」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
4	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「Nomihodai, Tempura」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
5	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「Tsukemono, Wasabi」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
6	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「Shojinryori, Kaiseki」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
7	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「Chuhai, Dejiru, Sushi」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
8	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「Sushi, Yooshoku, Nihonsyu」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
9	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「Osechi, Ninjya」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
10	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「Jinrikisya, Kohun」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
11	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「Koshitsu, Katana」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
12	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「MeijiIshin, Shogun」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
13	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「Hinomaru, Kimigayo」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
14	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「Onsen, Teien」を精読
	事後学習	期末試験の準備のための重要事項の確認
15	事前学習	期末試験のための重要項目の確認
	授業計画	期末試験
	事後学習	期末試験の見直し確認

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：40%　＜（ 課題提出 ）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル　英語でガイド!世界とくらべてわかる日本まるごと紹介事典
　　出版社　　Ｊリサーチ出版

参考書　著者名
　　タイトル　英語で語る日本事情２０２０
　　出版社　　ジャパンタイムズ

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	外国語演習 I	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	河村　有理		
実務経験教員紹介	国内の日本語学校で 10 年間直接法にて日本語科目の講師を務める。中国で現地スタッフにオフィス系ソフトおよびグラフィック・ドロー・編集系ソフトの技術指導を約 1 年ほど行う		

講義概要
ビジネス日本語を会話練習やロールプレイを中心として話せて使える日本語を学習します。授業では、実用的な仕事の現場を想定したやり取りの他に BJT の演習も行います。中国語から日本語へのビジネスメールや文書の中日翻訳もおこないます。
達成目標
N1 レベルの文字・語彙・文法のそれぞれの分野を学習し、身に付けることで、日本語の難度の高い文章を読みこなし、十分理解できるようになる。
学修成果
日本語独自のビジネス語や慣用的な言い回しなどを身につけ、より実際の現場を意識した日本語が使えるようになります。また、中国語⇒日本語の自然な翻訳もできるようになります。

授業計画

1	事前学習	なし
	授業計画	オリエンテーション　講義目的・進め方、求められる学習姿勢について
	事後学習	講義のまとめ
2	事前学習	指示課題の予習
	授業計画	ロールプレイ『電話応対』①／BJT 演習
	事後学習	次回課題の予習
3	事前学習	指示課題の予習
	授業計画	ロールプレイ『電話応対』②／BJT 演習
	事後学習	次回課題の予習
4	事前学習	指示課題の予習
	授業計画	ロールプレイ『会社訪問』／BJT 演習
	事後学習	次回課題の予習
5	事前学習	指示課題の予習
	授業計画	ロールプレイ『社内・社外プレゼンテーション』／BJT 演習
	事後学習	次回課題の予習
6	事前学習	指示課題の予習
	授業計画	ビジネスメール翻訳①／BJT 演習
	事後学習	次回課題の予習
7	事前学習	指示課題の予習
	授業計画	ビジネスメール翻訳②／BJT 演習
	事後学習	次回課題の予習
8	事前学習	指示課題の予習
	授業計画	ビジネスメール翻訳③／BJT 演習
	事後学習	次回課題の予習
9	事前学習	指示課題の予習
	授業計画	ビジネスメール翻訳④／BJT 演習
	事後学習	次回課題の予習
10	事前学習	指示課題の予習
	授業計画	ビジネスメール翻訳⑤／BJT 演習
	事後学習	次回課題の予習
11	事前学習	指示課題の予習
	授業計画	論説体の文書の日本語訳①／BJT 演習
	事後学習	次回課題の予習
12	事前学習	指示課題の予習
	授業計画	論説体の文書の日本語訳②／BJT 演習
	事後学習	次回課題の予習
13	事前学習	指示課題の予習
	授業計画	論説体の文書の日本語訳③／BJT 演習
	事後学習	次回課題の予習
14	事前学習	指示課題の予習
	授業計画	論説体の文書の日本語訳④／BJT 演習
	事後学習	次回課題の予習
15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	定期試験
	事後学習	試験のポイント解説

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：40%　＜（平常点・課題提出）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　三潴正道
　　タイトル　論説体中国語読解力養成講座
　　出版社　　東方書店

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	外国語演習 I	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	Tran Thi Duy Ngoc		
実務経験 教員紹介	ベトナムで書籍の翻訳、通訳経験あり		

講義概要
この授業では、主に就職活動の面接の場面を想定し、それに対する対策を考えながら、ビジネスの場面で使われる専門用語や日本語表現を理解し、自然に使用できるようになることを目指していく。
達成目標
ベトナム語と日本語の表現の違い、カジュアルな場面と改まった場面での表現の違いを理解し、就職活動やビジネスの場面で効果的なコミュニケーションができるようになること。
学修成果
就職活動においては、面接官の質問を予測し、それに円滑に対応できるようになる。ビジネスの場面においては、社会人として通用するレベルのビジネス日本語が身につく。

授業計画

1	事前学習	特になし	9	事前学習	特になし
	授業計画	「就活面接の質問集・対策①」 専門用語確認・会話練習		授業計画	「仕事の進め方（PCDA)①」 専門用語確認・会話練習
	事後学習	会話の練習		事後学習	会話の練習
2	事前学習	特になし	10	事前学習	特になし
	授業計画	「就活面接の質問集・対策②」 専門用語確認・会話練習		授業計画	「仕事の進め方（PCDA)②」 専門用語確認・会話練習
	事後学習	会話の練習		事後学習	会話の練習
3	事前学習	特になし	11	事前学習	特になし
	授業計画	「就活面接の質問集・対策③」 専門用語確認・会話練習		授業計画	「仕事の進め方（タイムマネジメント)①」専門用語確認・会話練習
	事後学習	会話の練習		事後学習	会話の練習
4	事前学習	特になし	12	事前学習	特になし
	授業計画	「就活面接の質問集・対策④」 専門用語確認・会話練習		授業計画	「仕事の進め方（タイムマネジメント)②」専門用語確認・会話練習
	事後学習	会話の練習		事後学習	会話の練習
5	事前学習	特になし	13	事前学習	特になし
	授業計画	「就活面接の質問集・対策⑤」 専門用語確認・会話練習		授業計画	「仕事の進め方（指示の受け方)①」 専門用語確認・会話練習
	事後学習	会話の練習		事後学習	会話の練習
6	事前学習	特になし	14	事前学習	特になし
	授業計画	「就活面接の質問集・対策⑥」 専門用語確認・会話練習		授業計画	「仕事の進め方（指示の受け方)②」 専門用語確認・会話練習
	事後学習	会話の練習		事後学習	会話の練習
7	事前学習	特になし	15	事前学習	テスト勉強
	授業計画	「仕事の進め方（タスクマネジメント）①」専門用語確認・会話練習		授業計画	テスト
	事後学習	会話の練習		事後学習	なし
8	事前学習	特になし			
	授業計画	「仕事の進め方（タスクマネジメント）②」専門用語確認・会話練習			
	事後学習	会話の練習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（　課題・テスト　）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023年度	学期	前期
科目名	外国語演習Ⅰ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース　キャリアプラニング専攻		
講師名	山北麻美		
実務経験教員紹介	企業研修、キャリアカウンセリング、外国人支援、語学・留学カウンセリング、日本語テキスト・児童英語指導マニュアル作成、通訳、翻訳など		

講義概要
本講義では、外国語とその文化に触れ理解を促進し、語学を使ってコミュニケーションをとる楽しさを体感・習得する。文法を見直しながら基本的な挨拶や自己紹介、質問の仕方などをグループワークや場面設定を通して実践で練習する。
達成目標
・英語を使って挨拶や簡単な受け答えができるようになる。 ・英語圏の文化や行事を知り興味を持つことで日本文化にも目を向けるようになる。
学修成果
・あいさつや自己紹介、人や物の状況などを簡単な英語で表現することができる。 ・英語を使おうとする姿勢と意欲が見られる。 ・英語で話しかけられた時に英語で答えられる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	復習
	授業計画	オリエンテーション		授業計画	#REF!
	事後学習	自己紹介の準備		事後学習	ポイントの見直し
2	事前学習	自己紹介の準備	10	事前学習	復習
	授業計画	P8-9 自己紹介・基本的なあいさつ・フォニックス①		授業計画	一般動詞　まとめ　P34.35
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
3	事前学習	復習	11	事前学習	復習
	授業計画	P8-9 家族や自分のことを英語で表現する　フォニックス②		授業計画	P28-31 単数・複数・加算・不加算
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
4	事前学習	復習	12	事前学習	復習
	授業計画	P10-15 be動詞・所有格 フォニックス③		授業計画	グループ発表準備
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	グループ発表の準備
5	事前学習	復習	13	事前学習	グループ発表の準備
	授業計画	be動詞・所有格まとめ フォニックス④		授業計画	グループ発表
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
6	事前学習	復習	14	事前学習	復習
	授業計画	P24,25,26 一般動詞④(疑問文・否定文)		授業計画	前期のまとめ
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	復習	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	P22,23　一般動詞②(肯定文・三人称単数)		授業計画	期末試験
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	復習			
	授業計画	P24,25,26 一般動詞③(頻度・疑問文)			
	事後学習	ポイントの見直し			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：30%　＜（授業態度・発表 ）＞：20%

教科書　著者名　井口紀子
　　タイトル　1から出直し書き込み式英語book
　　出版社　成美堂出版

参考書　著者名
　　タイトル　Tokyo english channelを適宜使用
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	川出　深雪		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本のサブカルチャーをテーマに、映像作品や評論・ニュース記事等の文字資料等を取り上げる。映像作品の鑑賞・分析、文字資料の考察を通して、日本の昔と今、社会の変遷を知り、現代日本文化および現代日本社会の構造についての理解を深める。
達成目標
①主要な日本の映像作品と、その社会的意義・社会への影響についての知識を深める。②現代日本文化への理解を深める。③日本の現代社会の構造や抱える問題について理解する。
学修成果
日本人の思想および日本の文化や歴史に関する知識と理解を深め、日本社会で日本人とともに生きる上で必要な教養を身につけることができる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	自習課題学習
	授業計画	オリエンテーション　講義目的･進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	キャラクターと日本人（1） キャラクターの起源と変遷
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
2	事前学習	自習課題学習	10	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本のサブカルチャーの変遷（1） アニメ作品		授業計画	キャラクターと日本人（2） キャラクター文化論
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
3	事前学習	自習課題学習	11	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本のサブカルチャーの変遷（2） アニメ作品		授業計画	キャラクターと日本人（3） キャラクター産業論
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
4	事前学習	自習課題学習	12	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本のサブカルチャーの変遷（3） アニメ作品		授業計画	キャラクターと日本人（4） キャラクター産業論
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
5	事前学習	自習課題学習	13	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本のサブカルチャーの変遷（1） ドラマ作品		授業計画	メジャーカルチャーとサブカルチャー 日本の社会構造と文化の担い手（1）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
6	事前学習	自習課題学習	14	事前学習	自習課題学習
	授業計画	日本のサブカルチャーの変遷（2） ドラマ作品		授業計画	メジャーカルチャーとサブカルチャー 日本の社会構造と文化の担い手（2）
	事後学習	講義復習		事後学習	講義復習
7	事前学習	自習課題学習	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	日本のサブカルチャーの変遷（3） ドラマ作品		授業計画	定期試験
	事後学習	講義復習		事後学習	復習
8	事前学習	自習課題学習			
	授業計画	日本のサブカルチャーの変遷（4） ドラマ作品			
	事後学習	講義復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：50%　＜（課題・小テスト）＞：20%

教科書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜資料配布
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル　講義の中で適宜紹介
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	河村　有里		
実務経験 教員紹介	国内の日本語学校で 10 年間直接法にて日本語科目の講師を務める。中国で現地スタッフにオフィス系ソフトおよびグラフィック・ドロー・編集系ソフトの技術指導を約 1 年ほど行う		

講義概要
現代社会の内包する問題、世界的な社会常識、日本社会での物事のとらえ方等、時事的な問題をテーマに講義を行う。毎回異なるトピックスを選び、理解を深め、自分としての意見を持ち、発話、発表できるようにします。要点のまとめ、意見表明、説明などの課題を与えます。
達成目標
様々な時事問題に対して、各問題を理解し、説明できるだけの知識を身につけた上で、自身の考えを述べられるようになる。また、文章でも説明できるようになる。
学修成果
一般的な社会常識は世界でも国でも異なり、時代によっても変化しています。この学習を通して知識を得るとともに、自身の考えを持ち、表現できるようになります。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	トピックの予習
	授業計画	オリエンテーション 講義目的・進め方、求められる学習姿勢について		授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	講義のまとめ　次回トピックを予習		事後学習	次回トピックの予習
2	事前学習	トピックの予習	10	事前学習	トピックの予習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	時事問題を取り上げ講義。質疑応答 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	次回トピックの予習
3	事前学習	トピックの予習	11	事前学習	トピックの予習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	次回トピックの予習
4	事前学習	トピックの予習	12	事前学習	トピックの予習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	次回トピックの予習
5	事前学習	トピックの予習	13	事前学習	トピックの予習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	次回トピックの予習
6	事前学習	トピックの予習	14	事前学習	トピックの予習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	次回トピックの予習
7	事前学習	トピックの予習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出		授業計画	定期試験
	事後学習	次回トピックの予習		事後学習	試験のポイント解説
8	事前学習	トピックの予習			
	授業計画	時事問題を取り上げ講義。意見の発表 講義内容をプリントにまとめ提出			
	事後学習	次回トピックの予習			

評価方法　　出席状況：15%　定期試験：40%　＜（ 提出物・平常点）＞：45%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅱ	単位	2単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	竹内　文		
実務経験 教員紹介			

講義概要
英語を「話す」「聞く」際に大きく影響する発音を基礎から学ぶ。音節の理解や母音・子音の正しい英語発音のための口の形や息の使い方、ストレス、リズムやイントネーションなど、さまざまなアクティビティを通して相手にとって理解しやすい発音の仕方を習得する。
達成目標
・英語の正しい音とその種類を学ぶ ・正しい音の作り方を学ぶ ・リズム、イントネーション、音の連結などを学び聞きやすい英語を習得する
学修成果
ペア・グループでのコミュニカティブな実践練習を通して相手が理解しやすいクリアな発音ができるようになることで英語を話すことに自信を持てるようになる。

授業計画

1	事前学習	これまでの授業内容の復習
	授業計画	Linking and Sound Change (Chapter 8)
	事後学習	語彙の復習
2	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Consonant Clusters (Chapter 9)
	事後学習	授業内容の復習
3	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Vowel Overview (1)
	事後学習	授業内容の復習
4	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Vowel Overview (2)
	事後学習	授業内容の復習
5	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Consonant Overview (1)
	事後学習	授業内容の復習
6	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Consonant Overview (2)
	事後学習	授業内容の復習
7	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Consonant Overview (3)
	事後学習	授業内容の復習
8	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Classroom Testing (Preparation)
	事後学習	テストの準備
9	事前学習	テストの準備
	授業計画	Classroom Testing (Presentation)
	事後学習	テストの振り返り
10	事前学習	テストの振り返り
	授業計画	Chunking text and reading aloud
	事後学習	授業内容の復習
11	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Consonant-to-vowel linking
	事後学習	授業内容の復習
12	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Linking and rhythm
	事後学習	授業内容の復習
13	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	Contractions
	事後学習	授業内容の復習
14	事前学習	授業内容の復習
	授業計画	期末試験準備
	事後学習	期末試験準備
15	事前学習	期末試験準備
	授業計画	期末試験
	事後学習	期末試験の振り返り

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（小テスト）＞：30%

教科書　著者名　Linda Grant
　　タイトル　WELL SAID Fourth Edition Pronunciation for Clear Communication
　　出版社　Cengage Learning

参考書　著者名　Jonathan Marks
　　タイトル　English Pronunciation in Use
　　出版社　Cambridge University Press

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	特別演習 I	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	李　鍾珍		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義ではミクロ経済学の基礎を学ぶ。市場経済の機能を体系的に理解することが本講義の最大の目的である。利己的な人間同士が行う経済活動を前提としている現代の経済環境において、それが社会の成員全体の利益にかなうことがあることを理解する。さらに市場経済が持つ限界についても考える。
達成目標
需要曲線・供給曲線とその背後にある経済主体の行動について学び、現実の様々な経済現象や政策の効果を分析できるようになることを目標とする。
学修成果
モノの価格が決まる仕組みが理解でき、市場価格が決まる仕組みが説明できる。また、私たちの経済活動が経済と社会にどのような影響をもたらすのかが理解できる。

授業計画

1	事前学習	経済とは何かを考えてみる。	9	事前学習	規制緩和の例を調べてみる。
	授業計画	経済学とは何か、その考え方を理解し、説明できる。		授業計画	規制と規制緩和の違いを理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
2	事前学習	分業とは何かを調べてみる。	10	事前学習	負の外部性とは何かを調べてみる。
	授業計画	分業のメリット・デメリットを理解し、説明できる。		授業計画	負の外部性とは何かを理解し、その特徴を説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
3	事前学習	需要とは何かを調べてみる。	11	事前学習	正の外部性とは何かを調べてみる。
	授業計画	需要と需要量の違いが理解でき、価格と需要との関係を説明できる。		授業計画	正の外部性とは何かを理解し、その特徴を説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
4	事前学習	供給とは何かを調べてみる。	12	事前学習	公共財とは何かを調べてみる。
	授業計画	供給と供給量の違いが理解でき、価格と供給との関係を説明できる。		授業計画	公共財とは何かを理解し、その特徴などを説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
5	事前学習	価格弾力性を調べてみる。	13	事前学習	貧困の実態を調べてみる。
	授業計画	需要と供給の価格弾力性を理解し、説明できる。		授業計画	貧困・福祉・格差問題を理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
6	事前学習	労働市場とは何かを調べてみる。	14	事前学習	情報の非対称性とは何かを調べる。
	授業計画	労働市場の特徴と価格弾力性を理解し、説明できる。		授業計画	情報の非対称性とは何かを理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
7	事前学習	独占とは何かを調べてみる。	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	完全競争と独占の違いを理解し、説明できる。		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	寡占とは何かを調べてみる。			
	授業計画	市場における独占や寡占状態を理解し、説明できる。			
	事後学習	配布プリントを読んでくる。			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：80%

教科書　著者名
　　タイトル　講師配布資料
　　出版社

参考書　著者名　　ティモシー・テイラー
　　タイトル　スタンフォード大学で一番人気の経済学入門（ミクロ編）
　　出版社　　かんき出版

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	特別演習 I	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	滝口　直樹		
実務経験 教員紹介	15 年間、専門学校や通信講座の Office 講義を担当。 情報処理講師として、専門学校、大学、社員研修、通信講座の担当を多数。また、関連書籍の著作数は 20 冊。		

講義概要
MOS 検定受験を念頭に、Microsoft Word2016 および Excel2016 の操作を中心に操作を学びます。 また、試験対策として模擬試験をはじめとする問題演習なども並行して進めます。 前期に引き続き、日本語入力練習については毎回実施します。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度）MOS Worf2016 および MOS Excel2016 に対応する操作の習得。
学修成果
Microsoft Word2016 の操作を、MOS 検定一般レベルの基準を満たす範囲で学習します。 また、Excel2016 の基本操作も習得します。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	なし
	授業計画	MOS ガイダンス 試験概要、模擬試験の確認、学習方法		授業計画	「Excel の基礎」 Excel の画面説明、新規作成・保存方法
	事後学習	操作の復習		事後学習	ローマ字の復習
2	事前学習	前回の操作の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「ヘッダーとフッター」ヘッダー、フッターの設定、ページ番号		授業計画	「セルの扱い」セルの基本操作、オートフィルによるコピー
	事後学習	操作の復習		事後学習	ローマ字の復習
3	事前学習	前回の操作の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「画像（写真・イラスト）」 画像の挿入・編集		授業計画	「四則演算」セル参照による演算、絶対参照・相対参照
	事後学習	操作の復習		事後学習	入力練習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「図形」図形の追加・編集、、テキストボックスの追加		授業計画	「四則演算」 セル参照による演算、複合参照
	事後学習	操作の復習		事後学習	入力練習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「スマートアート」 スマートアートの挿入、編集		授業計画	「表の作成・画面操作」 罫線の設定、塗りつぶし、セルの結合
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「環境設定」Word オプション、情報画面、プロパティ		授業計画	「テーブル」 テーブルの作成、設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
7	事前学習	前回の操作の復習	15	事前学習	テストに向けての総復習
	授業計画	「参考資料」 脚注の挿入、参考文献の扱い		授業計画	「小テスト」 小テストと解説
	事後学習	操作の復習		事後学習	テストの見直し
8	事前学習	前回の操作の復習			
	授業計画	「セキュリティ・保存時の検査」 パスワードの設定、ドキュメント検査			
	事後学習	操作の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（ 平常点）＞：30%

教科書　著者名　　FOM 出版
　　タイトル　Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集
　　出版社　　FOM 出版

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	特別演習 I	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日経メガバンクにおける勘定系システム導入支援及び海外支店での研修 英会話学校：学校における教務全般管理・カリキュラム作成・外国人教師の管理及び指導担当		

講義概要
実社会では、会議等の場面において、人前で自分の意見を論理的に説明しなければいけない場面が多々発生する。この講義ではスピーチの基本である、Informative Speech ついて学び実践する事で、スピーチを準備し実施することの難しさについて学ぶ。
達成目標
メラビアンの法則等の非言語的な要素について留意しながら、Power Point 等の視覚教材を使用し、人前でプレゼンテーションが行えるようになることを目標とする。
学修成果
プレゼンテーションにおける非言語要素の重要性について理解及び実践し、多数の聴衆を相手に、スライドを使用してプレゼンテーションが行えるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	スピーチの準備及び練習
	授業計画	パブリック・スピーキングについて／スピーチ課題発表		授業計画	①Where do you recommend traveling??
	事後学習	スピーチ課題準備		事後学習	スピーチの見直し
2	事前学習	スピーチの準備及び練習	10	事前学習	スピーチの準備及び練習
	授業計画	①練習スピーチ Who’ s your favorite musician?		授業計画	②Where do you recommend traveling??
	事後学習	スピーチの見直し		事後学習	スピーチの見直し
3	事前学習	スピーチの準備及び練習	11	事前学習	スピーチの準備及び練習
	授業計画	②練習スピーチ Who’ s your favorite musician?		授業計画	③Where do you recommend traveling??
	事後学習	スピーチの見直し		事後学習	スピーチの見直し
4	事前学習	スピーチの準備及び練習	12	事前学習	スピーチの準備及び練習
	授業計画	③練習スピーチ Who’ s your favorite musician?		授業計画	④Where do you recommend traveling??
	事後学習	スピーチの見直し		事後学習	スピーチの見直し
5	事前学習	スピーチの準備及び練習	13	事前学習	スピーチの準備及び練習
	授業計画	④練習スピーチ Who’ s your favorite musician?		授業計画	⑤Where do you recommend traveling??
	事後学習	スピーチの見直し		事後学習	スピーチの見直し
6	事前学習	スピーチの準備及び練習	14	事前学習	スピーチの見直し
	授業計画	⑤練習スピーチ Who’ s your favorite musician?		授業計画	スピーチ総評及び期末試験について
	事後学習	スピーチの見直し		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	スピーチの準備及び練習	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	⑥練習スピーチ Who’ s your favorite musician?		授業計画	期末試験
	事後学習	スピーチの見直し		事後学習	なし
8	事前学習	スピーチの見直し			
	授業計画	スピーチ総評及び Speech 課題発表			
	事後学習	スピーチ課題準備			

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：20%　＜（スピーチ評価）＞：80%
教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅱ	単位	2単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	李　鍾珍		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本経済に関する最新の経済情報と基礎的な経済理論を踏まえながら、日本経済が直面している課題とそれに対処するためのマクロ経済政策を学ぶ。主な内容としては、①政府の役割と経済政策の基本的な考え方、②景気の変動、③財政政策と財政健全化への課題、④中央銀行の役割などを扱う。
達成目標
経済政策の基礎的な知識を習得し、経済学の基礎的な概念を使いこなして、経済政策上の論点を理解できる。また政府の経済政策について、自ら評価できるようになることが目標である。
学修成果
政府と中央銀行である日本銀行が行うマクロ経済政策（財政政策・金融政策）が理解でき、財政政策と金融政策の方法とその目的が説明できる。

授業計画

1	事前学習	貨幣の役割を調べてみる。	9	事前学習	政策金利とは何かを調べてみる。
	授業計画	貨幣の役割や世界の通貨制度について		授業計画	政策金利とは何か。政策金利と景気との関係について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
2	事前学習	金融の種類を調べてみる。	10	事前学習	財政の役割を調べてみる。
	授業計画	直接金融と間接金融の仕組みと違いについて		授業計画	財政とは何か。財政の仕組みと役割について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
3	事前学習	銀行の役割を調べてみる。	11	事前学習	フィスカル・ポリシーを調べる。
	授業計画	銀行の三大業務と信用創造機能について		授業計画	フィスカル・ポリシーの仕組みと役割について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
4	事前学習	日本銀行の役割を調べてみる。	12	事前学習	累進課税とは何かを調べてみる。
	授業計画	中央銀行とは何か。その役割や機能について		授業計画	ビルト・イン・スタビライザーの仕組みと役割について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
5	事前学習	金融政策とは何かを調べてみる。	13	事前学習	ポリシー・ミックスを調べる。
	授業計画	中央銀行の行う金融政策の仕組みと役割について		授業計画	ポリシー・ミックスの仕組みと役割について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
6	事前学習	インフレーションを調べる。	14	事前学習	基礎的財政支出を調べる。
	授業計画	通貨供給量と物価との関係について		授業計画	日本のプライマリーバランスの現状と課題について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
7	事前学習	公開市場操作を調べる。	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	公開市場操作の仕組みと役割について		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	公定歩合とは何かを調べてみる。			
	授業計画	預金準備率操作と公定歩合操作について			
	事後学習	配布プリントを読んでくる。			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：80%

教科書　著者名
　　タイトル　講師配布資料
　　出版社

参考書　著者名　伊坂治康成
　　タイトル　ハイレベル総合科目（改訂版）
　　出版社　アスク出版

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	篠崎　誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
現代のビジネス・スキルに不可欠となっている簿記の知識をさらに一歩高め、なぜそのような会計処理を行うのかといった理由や会計処理の違いによって生じる長所、短所などを理解することにより、会計の基本から実務で活用する技術までを解説する。
達成目標
企業では、簿記のスキルだけでなく規則や法律の知識が必要になる。また、正しい報告を行うために適切な会計処理についてりかいし、真実な会計報告とは何かを理解できるようにする。
学修成果
財務諸表がどのように作成され、何を報告するのか、だれに報告するのかを確認し、なぜ必要なのかを企業内外の理解できるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の復習
	授業計画	棚卸資産の意味と会計処理の基本について		授業計画	株式会社の資本の種類と会計処理②
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	練習問題による復習
2	事前学習	前回の復習	10	事前学習	前回の復習
	授業計画	棚卸資産の計算方法と評価に関する処理①		授業計画	損益計算書の作成①
	事後学習	練習問題による復習		事後学習	練習問題による復習
3	事前学習	前回の復習	11	事前学習	前回の復習
	授業計画	棚卸資産の計算方法と評価に関する処理②		授業計画	損益計算書の作成②
	事後学習	練習問題による復習		事後学習	練習問題による復習
4	事前学習	前回の復習	12	事前学習	前回の復習
	授業計画	有形固定資産の評価と会計処理① 購入と売却について		授業計画	貸借対照表の作成①
	事後学習	練習問題による復習		事後学習	練習問題による復習
5	事前学習	前回の復習	13	事前学習	前回の復習
	授業計画	有形固定資産の評価と会計処理② 減価償却の方法と種類について		授業計画	貸借対照表の作成②
	事後学習	練習問題による復習		事後学習	練習問題による復習
6	事前学習	前回の復習	14	事前学習	前回の復習
	授業計画	有価証券の種類と会計処理		授業計画	総合問題による復習
	事後学習	練習問題による復習		事後学習	練習問題による復習
7	事前学習	前回の復習	15	事前学習	重要事項の復習
	授業計画	有価証券の評価と表示方法		授業計画	定期試験
	事後学習	練習問題による復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前回の復習			
	授業計画	株式会社の資本の種類と会計処理①			
	事後学習	練習問題による復習			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（ 課題 ）＞：10%

教科書　著者名　　ネットスクール株式会社
　　タイトル　全経簿記能力検定試験公式テキスト３級
　　出版社　　ネットスクール出版

参考書　著者名　　ネットスクール株式会社
　　タイトル　全経簿記能力検定試験公式問題集３級・全経簿記能力検定試験公式過去問題集３級
　　出版社　　ネットスクール出版

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日経メガバンクにおける勘定系システム導入支援及び海外支店での研修 英会話学校：学校における教務全般管理・カリキュラム作成・外国人教師の管理及び指導担当		

講義概要
前期通常講義で学習した「Informative Speech」を発展させ、聴衆の考え方や行動を変える為のスピーチである「Persuasive Speech」にの手法ついて学習し、実践する。また上記スピーチを実践する為の、正しいデータ収集方法についても学習する。
達成目標
スピーチの準備を通じ、批判的思考力や物事を多角的に捉える力を身につける。また正確なデータを効果的にスピーチに盛り込む事で、聴衆の考え方や行動を変える事が出来る。
学修成果
信頼性の高い機関から情報を収集し発表する事が出来る。また収集したデータを効果的にスライド上にまとめ、より多くの聴衆を惹きつけ、説得及び納得させることが出来る。

授業計画

1	事前学習	なし
	授業計画	前期通常講義の内容について復習 スピーチ課題発表
	事後学習	スピーチ課題準備
2	事前学習	スピーチの準備及び練習
	授業計画	①Persuasive Speech 課題
	事後学習	スピーチの見直し
3	事前学習	スピーチの準備及び練習
	授業計画	②Persuasive Speech 課題
	事後学習	スピーチの見直し
4	事前学習	スピーチの準備及び練習
	授業計画	③Persuasive Speech 課題
	事後学習	スピーチの見直し
5	事前学習	スピーチの準備及び練習
	授業計画	④Persuasive Speech 課題
	事後学習	スピーチの見直し
6	事前学習	スピーチの準備及び練習
	授業計画	⑤Persuasive Speech 課題
	事後学習	スピーチの見直し
7	事前学習	スピーチの準備及び練習
	授業計画	⑥Persuasive Speech 課題
	事後学習	スピーチの見直し
8	事前学習	スピーチの見直し
	授業計画	スピーチ総評及びスピーチ課題発表
	事後学習	スピーチ課題準備
9	事前学習	スピーチの準備及び練習
	授業計画	①Persuasive Speech 課題 2
	事後学習	スピーチの見直し
10	事前学習	スピーチの準備及び練習
	授業計画	②Persuasive Speech 課題 2
	事後学習	スピーチの見直し
11	事前学習	スピーチの準備及び練習
	授業計画	③Persuasive Speech 課題 3
	事後学習	スピーチの見直し
12	事前学習	スピーチの準備及び練習
	授業計画	④Persuasive Speech 課題 4
	事後学習	スピーチの見直し
13	事前学習	スピーチの準備及び練習
	授業計画	⑤Persuasive Speech 課題 5
	事後学習	スピーチの見直し
14	事前学習	スピーチの見直し
	授業計画	スピーチ総評及び期末試験について
	事後学習	期末試験の準備
15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	期末試験
	事後学習	なし

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：20%　＜（スピーチ評価）＞：80%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	通訳技術・翻訳技術 I	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験教員紹介	通訳案内士として外国人観光客を案内する立場から、日本の文化や社会、および国際社会の日本の在り方を研究してきた。		

講義概要
リスニングおよびリーディング、ライティング、スピーキングの基本 4 技能を総合的かつ効果的に学習する。また、ホスピタリティ産業や時事問題を扱った英文を読解し、自己の考えをまとめ、またそれに関するディスカッションを通して、実用的な英語の活用を積極的に行っていく。
達成目標
ボキャブラリーや基本イディオムを学習し、4 技能の総合的な向上を目指し、TOEIC スコア 550 点、実用英語検定試験 2 級または準 2 級、観光英検試験の２級または３級の資格取得を目指す。
学修成果
英語の基本 4 技能を総合的かつ効果的に学習し、英検準 2 級レベルの英文を理解し活用できるようにする。実生活でも英語を積極的に使用できるよう基本的な力を身に着ける。

授業計画

1	事前学習	教室の確認、備品の準備	9	事前学習	教科書の通読
	授業計画	オリエンテーション（講義の目標、進め方、評価基準、その他の詳しい内容の説明と確認）、自己紹介		授業計画	「Matsuri, Jinjya」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
2	事前学習	教科書の通読	10	事前学習	教科書の通読
	授業計画	ホテルで使われる英語を学習		授業計画	「Judo, Sumo」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
3	事前学習	教科書の通読	11	事前学習	教科書の通読
	授業計画	空港で使われる英語を学習		授業計画	「Tokonoma, Futon,Fusuma」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
4	事前学習	教科書の通読	12	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「Kabuki, Nou, Bunraku」を精読		授業計画	「Kotastu, Yukata, Sensu」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
5	事前学習	教科書の通読	13	事前学習	教科書の通読
	授業計画	「 Shamisen, Wadaiko, Kimono, Geisya」を精読		授業計画	「Kabuki, Nou, Bunraku」を精読
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	教科書の精読と重要項目の確認
6	事前学習	教科書の通読	14	事前学習	期末試験のための重要事項のまとめ
	授業計画	「Chanoyu,Ikebana, Syodo」を精読		授業計画	前期の履修項目を再チェックし、重要事項を各自でノートにまとめる。
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	期末試験の準備のための重要事項の確認
7	事前学習	教科書の通読	15	事前学習	期末試験のための重要事項のまとめ
	授業計画	「Kendo, Kyudo, Karate」を精読		授業計画	期末試験
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	期末試験の見直し確認
8	事前学習	教科書の通読			
	授業計画	「Haiku, Shogi, Karuta」を精読			
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：40%　＜（ 課題提出 ）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル　英語でガイド!世界とくらべてわかる日本まるごと紹介事典
　　出版社　　Ｊリサーチ出版

参考書　著者名
　　タイトル　英語で語る日本事情２０２０
　　出版社　　ジャパンタイムズ

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	通訳技術・翻訳技術Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	京塚　在裕美		
実務経験 教員紹介	通訳案内士として外国人観光客を案内する立場から、日本の文化や社会、および国際社会の日本の在り方を研究してきた。		

講義概要
ビジュアル教材やテキストを有効に活用し、日本の風土・歴史・文化・観光の理解を深めるだけでなく、日本の世界遺産についてのさらなる知識の向上と理解をはかる。また、効果的かつ魅力的なアウトプットの仕方をプレゼンテーションを立案し作成することを通じて実践的に学ぶ。
達成目標
これまでの基礎知識をもとに、日本の風土や地理、歴史、貴重な文化遺産、産業についての理解を深め、その知識を英語と日本語の両方を用いて効果的にアウトプットできる段階にまで高める。
学修成果
英語によるグループプレゼンテーションを通じて日本文化について発表し、ホスピタリティのプロとしての実践的なコミュニケーション力の応用力を確立する。

授業計画

1	事前学習	プレゼンの自己パートの立案	9	事前学習	プレゼンの自己パートの作成
	授業計画	プレゼンテーションの立案作成①		授業計画	プレゼンテーションの作成①
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	プレゼンテーションの準備
2	事前学習	プレゼンの自己パートの立案	10	事前学習	プレゼンの自己パートの作成
	授業計画	プレゼンテーションの立案作成②		授業計画	プレゼンテーションの作成②
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	プレゼンテーションの準備
3	事前学習	プレゼンの自己パートの立案	11	事前学習	プレゼンの自己パートの作成
	授業計画	プレゼンテーションの立案作成③		授業計画	プレゼンテーションの作成③
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	プレゼンテーションの準備
4	事前学習	プレゼンの自己パートの作成	12	事前学習	プレゼンの自己パートの作成
	授業計画	プレゼンテーションのスピーキングの実践練習①		授業計画	プレゼンテーションの作成④
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	プレゼンテーションの準備
5	事前学習	プレゼンの自己パートの作成	13	事前学習	プレゼンテーションの最終調整
	授業計画	プレゼンテーションのスピーキングの実践練習②		授業計画	プレゼンテーション①
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	プレゼンテーションのフィードバック
6	事前学習	プレゼンの自己パートの作成	14	事前学習	プレゼンテーションの最終調整
	授業計画	プレゼンテーションのスピーキングの実践練習③		授業計画	プレゼンテーション②
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	プレゼンテーションのフィードバック
7	事前学習	プレゼンの自己パートの作成	15	事前学習	プレゼンテーションの最終調整
	授業計画	プレゼンテーションのスピーキングの実践練習④		授業計画	プレゼンテーション③
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認		事後学習	プレゼンテーションのフィードバック
8	事前学習	プレゼンの自己パートの作成			
	授業計画	プレゼンテーションのスピーキングの実践練習⑤			
	事後学習	教科書の精読と重要項目の確認			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：20%　＜（ プレゼン ）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　英語でガイド!世界とくらべてわかる日本まるごと紹介事典
　　出版社　Ｊリサーチ出版

参考書　著者名
　　タイトル　英語で語る日本事情２０２０
　　出版社　ジャパンタイムズ

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	時事研究 I	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	伊藤　憲彦		
実務経験教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
これからのグローバル社会で活躍するためには、世界の政治・経済・社会問題にしっかりと目を向け、自分たちで解決策を提示して、実行していかなければならない。本講義では、国際的な諸問題の中から最低限身に付けておくべき知識を学び、それらの解決策を自分なりに提示できるようにしていく。
達成目標
国際的な問題の知識を学んだうえで、その中から「問題発見・問題分析・問題解決」を行えるようにしていく。また、課題提案力を身に付け、自分の意見を相手に伝えられるようにする。
学修成果
世界の政治・経済・社会問題を理解することができる。そこから、ビジネスに生かすための知識を身に付け、社会常識として世界のできごとを面接等で話すことができる。

授業計画

1	事前学習	なし
	授業計画	オリエンテーション･先進国と発展途上国
	事後学習	レポート提出①
2	事前学習	前回の復習
	授業計画	新興国の発展
	事後学習	授業内容をノートを見て復習
3	事前学習	前回の復習
	授業計画	資本主義と社会主義
	事後学習	授業内容をノートを見て復習
4	事前学習	前回の復習
	授業計画	人口爆発①
	事後学習	授業内容をノートを見て復習
5	事前学習	前回の復習
	授業計画	人口爆発②
	事後学習	授業内容をノートを見て復習
6	事前学習	前回の復習
	授業計画	食糧問題①
	事後学習	授業内容をノートを見て復習
7	事前学習	前回の復習
	授業計画	食糧問題②
	事後学習	授業内容をノートを見て復習
8	事前学習	前回の復習
	授業計画	資源・エネルギー問題①
	事後学習	授業内容をノートを見て復習
9	事前学習	前回の復習
	授業計画	資源・エネルギー問題②
	事後学習	授業内容をノートを見て復習
10	事前学習	前回の復習
	授業計画	世界の環境問題①
	事後学習	授業内容をノートを見て復習
11	事前学習	前回の復習
	授業計画	世界の環境問題②
	事後学習	授業内容をノートを見て復習
12	事前学習	前回の復習
	授業計画	世界の環境問題③
	事後学習	授業内容をノートを見て復習
13	事前学習	今までの総復習
	授業計画	試験前対策①
	事後学習	試験準備
14	事前学習	今までの総復習
	授業計画	試験前対策②
	事後学習	試験準備
15	事前学習	試験準備
	授業計画	定期試験
	事後学習	試験後の再考察

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（課題・小テスト）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　資料を随時配布
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　特になし
　　出版社

年度	2023年度	学期	前期
科目名	時事研究Ⅰ	単位	2単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	李　鍾珍		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義ではミクロ経済学の基礎を学ぶ。市場経済の機能を体系的に理解することが本講義の最大の目的である。利己的な人間同士が行う経済活動を前提としている現代の経済環境において、それが社会の成員全体の利益にかなうことがあることを理解する。さらに市場経済が持つ限界についても考える。
達成目標
需要曲線・供給曲線とその背後にある経済主体の行動について学び、現実の様々な経済現象や政策の効果を分析できるようになることを目標とする。
学修成果
モノの価格が決まる仕組みが理解でき、市場価格が決まる仕組みが説明できる。また、私たちの経済活動が経済と社会にどのような影響をもたらすのかが理解できる。

授業計画

1	事前学習	貨幣の役割を調べてみる。	9	事前学習	規制緩和の例を調べてみる。
	授業計画	経済学とは何か、その考え方を理解し、説明できる。		授業計画	規制と規制緩和の違いを理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
2	事前学習	分業とは何かを調べてみる。	10	事前学習	負の外部性とは何かを調べてみる。
	授業計画	分業のメリット・デメリットを理解し、説明できる。		授業計画	負の外部性とは何かを理解し、その特徴を説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
3	事前学習	需要とは何かを調べてみる。	11	事前学習	正の外部性とは何かを調べてみる。
	授業計画	需要と需要量の違いが理解でき、価格と需要との関係を説明できる。		授業計画	正の外部性とは何かを理解し、その特徴を説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
4	事前学習	供給とは何かを調べてみる。	12	事前学習	公共財とは何かを調べてみる。
	授業計画	供給と供給量の違いが理解でき、価格と供給との関係を説明できる。		授業計画	公共財とは何かを理解し、その特徴などを説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
5	事前学習	価格弾力性を調べてみる。	13	事前学習	貧困の実態を調べてみる。
	授業計画	需要と供給の価格弾力性を理解し、説明できる。		授業計画	貧困・福祉・格差問題を理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
6	事前学習	労働市場とは何かを調べてみる。	14	事前学習	情報の非対称性とは何かを調べる。
	授業計画	労働市場の特徴と価格弾力性を理解し、説明できる。		授業計画	情報の非対称性とは何かを理解し、説明できる。
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
7	事前学習	独占とは何かを調べてみる。	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	完全競争と独占の違いを理解し、説明できる。		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	寡占とは何かを調べてみる。			
	授業計画	市場における独占や寡占状態を理解し、説明できる。			
	事後学習	配布プリントを読んでくる。			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：80%

教科書　著者名
　　タイトル　講師配布資料
　　出版社

参考書　著者名　　ティモシー・テイラー
　　タイトル　スタンフォード大学で一番人気の経済学入門（ミクロ編）
　　出版社　　かんき出版

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	時事研究 I	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日経メガバンクにおける勘定系システム導入支援及び海外支店での研修 英会話学校：学校における教務全般管理・カリキュラム作成・外国人教師の管理及び指導担当		

講義概要
この授業では、CNN 等の社会性の高い時事を使用し、オーバーラッピングや、シャドーイング、サイト・トランスレーションといった通訳技法について紹介し、実際にトレーニングを行う。また社会性の高い時事問題を扱う事により、批判的思考力を養うと共に、昨今の世界のトレンドについて学習する。
達成目標
社会性の高い時事問題について、日本語及び英語の両言語で理解し考察する事が出来る。またそれら問題に対して、偏りなく多角的に事実を捉える事が出来る。
学修成果
世の中にある様々な問題に対して、日本語及び英語の両言語で、多角的な方向から意見を発信する事が出来る。またそれらトピックについて通訳翻訳にも対応する事が出来る。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	CNN⑧の復習
	授業計画	CNN①		授業計画	CNN⑨
	事後学習	CNN①の復習		事後学習	CNN⑨の復習
2	事前学習	CNN①の復習	10	事前学習	CNN⑨の復習
	授業計画	CNN②		授業計画	CNN⑩
	事後学習	CNN②の復習		事後学習	CNN⑩の復習
3	事前学習	CNN②の復習	11	事前学習	CNN⑩の復習
	授業計画	CNN③		授業計画	CNN⑪
	事後学習	CNN③の復習		事後学習	CNN⑪の復習
4	事前学習	CNN③の復習	12	事前学習	CNN⑪の復習
	授業計画	CNN④		授業計画	CNN⑫
	事後学習	CNN④の復習		事後学習	CNN⑫の復習
5	事前学習	CNN④の復習	13	事前学習	CNN⑫の復習
	授業計画	CNN⑤		授業計画	CNN⑬の復習
	事後学習	CNN⑤の復習		事後学習	CNN⑬の復習
6	事前学習	CNN⑤の復習	14	事前学習	CNN⑬の復習
	授業計画	CNN⑥		授業計画	CNN⑭ 小テストについて案内
	事後学習	CNN⑥の復習		事後学習	CNN⑭の復習
7	事前学習	CNN⑥の復習	15	事前学習	これまでの学習内容について復習
	授業計画	CNN⑦		授業計画	小テスト実施 CNN⑮
	事後学習	CNN⑦の復習		事後学習	無し
8	事前学習	CNN⑦の復習			
	授業計画	CNN⑧			
	事後学習	CNN⑧の復習			

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：0%　＜（小テスト）＞：100%
教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル　CNN ニュース・リスニング
　　出版社　　朝日出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	伊藤　憲彦		
実務経験教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
前期に学んだことを踏まえ、日本と世界を比較した際に、どのような違いがあるのかということを考察していく。また、日本がどのように世界と関りを持ち、どのように発展をしてきたのかを、世界の国・地域との関係性を見ながら学んでいく。モデルケースも用いながら、グローバルな視点で物事を考えられるようにしていく。
達成目標
国際的な問題の知識を学んだうえで、その中から「問題発見・問題分析・問題解決」を行えるようにしていく。また、課題提案力を身に付け、自分の意見を相手に伝えられるようにする。
学修成果
世界の政治・経済・社会問題を理解することができる。そこから、ビジネスに生かすための知識を身に付け、社会常識として世界のできごとを面接等で話すことができる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	オリエンテーション･日本と世界の関係を多角的視点で捉え考える①		授業計画	日本企業と世界企業を比較し、それぞれのちがいを考察する
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
2	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	10	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	日本と世界の関係を多角的視点で捉え考える②		授業計画	世界が一つになるために、私たちが行うこと
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
3	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	11	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	日本と世界の関係を多角的視点で捉え考える③		授業計画	SDGｓとは①
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
4	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	12	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	世界から見た日本はどのように映るのかを考える①		授業計画	SDGｓとは②
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
5	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	13	事前学習	今までの総復習
	授業計画	世界から見た日本はどのように映るのかを考える②		授業計画	試験前対策①
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	試験準備
6	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	14	事前学習	今までの総復習
	授業計画	世界から見た日本はどのように映るのかを考える③		授業計画	試験前対策②
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	試験準備
7	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	15	事前学習	試験準備
	授業計画	（モデルケース）日本企業が世界に与える働きを考察する①		授業計画	期末試験
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	試験の再考察
8	事前学習	事前配布資料に目を通しておく			
	授業計画	（モデルケース）日本企業が世界に与える働きを考察する②			
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（レポート）＞：30%

教科書　著者名
　　タイトル　資料を随時配布
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル　特になし
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	李　鍾珍		
実務経験 教員紹介			

講義概要
日本経済に関する最新の経済情報と基礎的な経済理論を踏まえながら、日本経済が直面している課題とそれに対処するためのマクロ経済政策を学ぶ。主な内容としては、①政府の役割と経済政策の基本的な考え方、②景気の変動、③財政政策と財政健全化への課題、④中央銀行の役割などを扱う。
達成目標
経済政策の基礎的な知識を習得し、経済学の基礎的な概念を使いこなして、経済政策上の論点を理解できる。また政府の経済政策について、自ら評価できるようになることが目標である。
学修成果
政府と中央銀行である日本銀行が行うマクロ経済政策（財政政策・金融政策）が理解でき、財政政策と金融政策の方法とその目的が説明できる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	政策金利とは何かを調べてみる。
	授業計画	貨幣の役割や世界の通貨制度について		授業計画	政策金利とは何か。政策金利と景気との関係について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
2	事前学習	金融の種類を調べてみる。	10	事前学習	財政の役割を調べてみる。
	授業計画	直接金融と間接金融の仕組みと違いについて		授業計画	財政とは何か。財政の仕組みと役割について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
3	事前学習	銀行の役割を調べてみる。	11	事前学習	フィスカル・ポリシーを調べる。
	授業計画	銀行の三大業務と信用創造機能について		授業計画	フィスカル・ポリシーの仕組みと役割について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
4	事前学習	日本銀行の役割を調べてみる。	12	事前学習	累進課税とは何かを調べてみる。
	授業計画	中央銀行とは何か。その役割や機能について		授業計画	ビルト・イン・スタビライザーの仕組みと役割について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
5	事前学習	金融政策とは何かを調べてみる。	13	事前学習	ポリシー・ミックスを調べる。
	授業計画	中央銀行の行う金融政策の仕組みと役割について		授業計画	ポリシー・ミックスの仕組みと役割について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
6	事前学習	インフレーションを調べる。	14	事前学習	基礎的財政支出を調べる。
	授業計画	通貨供給量と物価との関係について		授業計画	日本のプライマリーバランスの現状と課題について
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	配布プリントを読んでくる。
7	事前学習	公開市場操作を調べる。	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	公開市場操作の仕組みと役割について		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントを読んでくる。		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	公定歩合とは何かを調べてみる。			
	授業計画	預金準備率操作と公定歩合操作について			
	事後学習	配布プリントを読んでくる。			

評価方法　　出席状況：20%　定期試験：80%

教科書　著者名
　　タイトル　講師配布資料
　　出版社

参考書　著者名　伊坂治康成
　　タイトル　ハイレベル総合科目（改訂版）
　　出版社　アスク出版

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	髙谷　俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日経メガバンクにおける勘定系システム導入支援及び海外支店での研修 英会話学校：学校における教務全般管理・カリキュラム作成・外国人教師の管理及び指導担当		

講義概要
この授業では、CNN 等の社会性の高い時事を使用し、オーバーラッピングや、シャドーイング、サイト・トランスレーションといった通訳技法について紹介し、実際にトレーニングを行う。また社会性の高い時事問題を扱う事により、批判的思考力を養うと共に、昨今の世界のトレンドについて学習する。
達成目標
社会性の高い時事問題について、日本語及び英語の両言語で理解し考察する事が出来る。またそれら問題に対して、偏りなく多角的に事実を捉える事が出来る。
学修成果
世の中にある様々な問題に対して、日本語及び英語の両言語で、多角的な方向から意見を発信する事が出来る。またそれらトピックについて通訳翻訳にも対応する事が出来る。

授業計画

1	事前学習	なし
	授業計画	時事①
	事後学習	時事①の復習
2	事前学習	時事①の復習
	授業計画	時事②
	事後学習	時事②の復習
3	事前学習	時事②の復習
	授業計画	時事③
	事後学習	時事③の復習
4	事前学習	時事③の復習
	授業計画	時事④
	事後学習	時事④の復習
5	事前学習	時事④の復習
	授業計画	時事⑤
	事後学習	時事⑤の復習
6	事前学習	時事⑤の復習
	授業計画	時事⑥
	事後学習	時事⑥の復習
7	事前学習	時事⑥の復習
	授業計画	時事⑦
	事後学習	時事⑦の復習
8	事前学習	時事⑦の復習
	授業計画	時事⑧
	事後学習	時事⑧の復習
9	事前学習	時事⑧の復習
	授業計画	時事⑨
	事後学習	時事⑨の復習
10	事前学習	時事⑨の復習
	授業計画	時事⑩
	事後学習	時事⑩の復習
11	事前学習	時事⑩の復習
	授業計画	時事⑪
	事後学習	時事⑪の復習
12	事前学習	時事⑪の復習
	授業計画	時事⑫
	事後学習	時事⑫の復習
13	事前学習	時事⑫の復習
	授業計画	時事⑬の復習
	事後学習	時事⑬の復習
14	事前学習	時事⑬の復習
	授業計画	時事⑭ 小テストについて案内
	事後学習	時事⑭の復習
15	事前学習	これまでの学習内容について復習
	授業計画	小テスト実施 時事⑮
	事後学習	無し

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：0%　＜（小テスト）＞：100%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル　時事ニュース・リスニング
　　出版社　　朝日出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	情報処理 I	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	篠崎 誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
Microsoft Word の操作を中心に、コンピュータによる文書作成の基礎を学びます。Word の基本操作、日本語による文章入力、ビジネス文書の作成ルールなどを実習による習得します。 講義内容は MOS Word 試験にも対応し、資格取得への対策も行います。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度） Microsoft Word の基本操作（ビジネス現場において不足のない内容を網羅）※希望者は MOS Word を受験・合格
学修成果
日本語入力の手法を取得し、正確に入力ができる力を得る。 Word の基本操作を習得し、ビジネス文書やチラシなどの書類を効率的に作成するスキルを得る。

授業計画

1	事前学習	なし
	授業計画	「ガイダンス・コンピュータの基礎」 コンピュータのしくみ、入力方法
	事後学習	配布資料の見直し
2	事前学習	ローマ字の復習
	授業計画	「日本語入力」 ローマ字による日本語入力方法
	事後学習	ローマ字の復習
3	事前学習	ローマ字の復習
	授業計画	「日本語文章入力」 文節の漢字変換を伴う短文入力方法
	事後学習	入力練習
4	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定１」フォント種、サイズ等の設定、文字揃えの設定
	事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定２」フォントの色、インデント、あいさつ文
	事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「行と段落」 行間の設定、段落設定
	事後学習	操作の復習
7	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説
	事後学習	操作の復習
8	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「テーマ、スタイル」テーマの変更、スタイルの設定
	事後学習	操作の復習
9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「リスト」 箇条書きの作成、段落番号の作成
	事後学習	操作の復習
10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「クリップボード・検索と置換」 コピー・移動、検索、置換
	事後学習	操作の復習
11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「目次、用紙設定」 目次の追加、用紙・余白等の設定
	事後学習	操作の復習
12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「表の作成１」 表の作成、デザイン変更
	事後学習	操作の復習
13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「表の作成２」 表のレイアウト設定
	事後学習	操作の復習
14	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「総復習」 これまでの学習の総復習・問題練習
	事後学習	試験に向けての総復習
15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	定期試験
	事後学習	試験の見直し

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（ 平常点 ）＞：30%

教科書　著者名　FOM 出版
　　タイトル　Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集
　　出版社　FOM 出版

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023年度	学期	前期
科目名	情報処理Ⅰ	単位	2単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	滝口　直樹		
実務経験 教員紹介	15年間、専門学校や通信講座のOffice講義を担当。情報処理講師として、専門学校、大学、社員研修、通信講座の担当を多数。また、関連書籍の著作数は20冊。		

講義概要
Microsoft Word の操作を中心に、コンピュータによる文書作成の基礎を学びます。Word の基本操作、日本語による文章入力、ビジネス文書の作成ルールなどを実習による習得します。講義内容は MOS Word 試験にも対応し、資格取得への対策も行います。
達成目標
日本語文章入力（10分間に400文字程度）Microsoft Word の基本操作（ビジネス現場において不足のない内容を網羅）※希望者は MOS Word を受験・合格
学修成果
日本語入力の手法を取得し、正確に入力ができる力を得る。Word の基本操作を習得し、ビジネス文書やチラシなどの書類を効率的に作成するスキルを得る。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「ガイダンス・コンピュータの基礎」 コンピュータのしくみ、入力方法		授業計画	「リスト」 箇条書きの作成、段落番号の作成
	事後学習	配布資料の見直し		事後学習	操作の復習
2	事前学習	ローマ字の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「日本語入力」 ローマ字による日本語入力方法		授業計画	「クリップボード・検索と置換」 コピー・移動、検索、置換
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
3	事前学習	ローマ字の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「日本語文章入力」 文節の漢字変換を伴う短文入力方法		授業計画	「目次、用紙設定」 目次の追加、用紙・余白等の設定
	事後学習	入力練習		事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定１」フォント種、サイズ等の設定、文字揃えの設定		授業計画	「表の作成１」 表の作成、デザイン変更
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定２」フォントの色、インデント、あいさつ文		授業計画	「表の作成２」 表のレイアウト設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「行と段落」 行間の設定、段落設定		授業計画	「総復習」 これまでの学習の総復習・問題練習
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験に向けての総復習
7	事前学習	テストに向けての総復習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説		授業計画	定期試験
	事後学習	テストの見直し		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前回の操作の復習			
	授業計画	「テーマ、スタイル」 テーマの変更、スタイルの設定			
	事後学習	操作の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（平常点）＞：30%

教科書　著者名　　FOM出版
　　タイトル　Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集
　　出版社　　FOM出版

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	情報処理 I	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	滝口　直樹		
実務経験 教員紹介	15 年間、専門学校や通信講座の Office 講義を担当。情報処理講師として、専門学校、大学、社員研修、通信講座の担当を多数。また、関連書籍の著作数は 20 冊。		

講義概要
Microsoft Word の操作を中心に、コンピュータによる文書作成の基礎を学びます。Word の基本操作、日本語による文章入力、ビジネス文書の作成ルールなどを実習による習得します。 講義内容は MOS Word 試験にも対応し、資格取得への対策も行います。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度） Microsoft Word の基本操作（ビジネス現場において不足のない内容を網羅）※希望者は MOS Word を受験・合格
学修成果
日本語入力の手法を取得し、正確に入力ができる力を得る。 Word の基本操作を習得し、ビジネス文書やチラシなどの書類を効率的に作成するスキルを得る。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「ガイダンス・コンピュータの基礎」 コンピュータのしくみ、入力方法		授業計画	「リスト」 箇条書きの作成、段落番号の作成
	事後学習	配布資料の見直し		事後学習	操作の復習
2	事前学習	ローマ字の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「日本語入力」 ローマ字による日本語入力方法		授業計画	「クリップボード・検索と置換」 コピー・移動、検索、置換
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
3	事前学習	ローマ字の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「日本語文章入力」 文節の漢字変換を伴う短文入力方法		授業計画	「目次、用紙設定」 目次の追加、用紙・余白等の設定
	事後学習	入力練習		事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定１」フォント種、サイズ等の設定、文字揃えの設定		授業計画	「表の作成１」 表の作成、デザイン変更
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定２」フォントの色、インデント、あいさつ文		授業計画	「表の作成２」 表のレイアウト設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「行と段落」 行間の設定、段落設定		授業計画	「総復習」 これまでの学習の総復習・問題練習
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験に向けての総復習
7	事前学習	テストに向けての総復習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説		授業計画	定期試験
	事後学習	テストの見直し		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前回の操作の復習			
	授業計画	「テーマ、スタイル」 テーマの変更、スタイルの設定			
	事後学習	操作の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（平常点）＞：30%

教科書　著者名　FOM 出版
　　タイトル　Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集
　　出版社　FOM 出版

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023年度	学期	後期
科目名	情報処理Ⅱ	単位	2単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	篠崎　誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
Microsoft Excel の操作を中心に、コンピュータによる表計算・分析の基礎を学びます。 Excel の基本操作、データ分析の基礎、集計作業、グラフ作成などについて実習による習得します。 講義内容は MOS Excel 試験にも対応し、資格取得への対策も行います。
達成目標
日本語文章入力（10分間に400文字程度） Microsoft Excel の基本操作（ビジネス現場において不足のない内容を網羅） 希望者は MOS Excel を受験・合格
学修成果
日本語入力の手法を取得し、正確に入力ができる力を得る。 Excel の基本操作を習得し、データ集計や分析を効率的に作成するスキルを得る。

授業計画

1	事前学習	前回の操作の復習	9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「オート SUM」 基本的な関数（SUM・AVERAGE など）		授業計画	「視覚表現」 スパークライン、条件付き書式
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
2	事前学習	前回の操作の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「条件付き関数」 SUMIF・AVERAGEIF、COUNTIF		授業計画	「データ保護」セルのロック、シート保護、ファイル保存
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
3	事前学習	前回の操作の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「文字列操作」 LEFT・RAIGHT・MID		授業計画	「印刷」 印刷設定、表示モードの変更
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「並べ替え・フィルタ」 データの並べ替え、フィルタ（絞込み）		授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説		授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「入力規則」 データの入力規則の操作		授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験に向けての総復習
7	事前学習	前回の操作の復習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「グラフの作成」棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフの作成		授業計画	定期試験
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前回の操作の復習			
	授業計画	「グラフの編集」グラフの詳細設定			
	事後学習	操作の復習			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（ 平常点 ）＞：30%

教科書　著者名　FOM 出版
　　タイトル　Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集
　　出版社　FOM 出版

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	情報処理Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	滝口　直樹		
実務経験 教員紹介	15 年間、専門学校や通信講座の Office 講義を担当。情報処理講師として、専門学校、大学、社員研修、通信講座の担当を多数。また、関連書籍の著作数は 20 冊。		

講義概要
Microsoft Excel の操作を中心に、コンピュータによる表計算・分析の基礎を学びます。 Excel の基本操作、データ分析の基礎、集計作業、グラフ作成などについて実習による習得します。 講義内容は MOS Excel 試験にも対応し、資格取得への対策も行います。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度） MOS Worf2016 および MOS Excel2016 に対応する操作の習得。
学修成果
日本語入力の手法を取得し、正確に入力ができる力を得る。 Excel の基本操作を習得し、データ集計や分析を効率的に作成するスキルを得る。

授業計画

1	事前学習	なし
	授業計画	「オート SUM」 基本的な関数（SUM・AVERAGE など）
	事後学習	配布資料の見直し
2	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「条件付き関数」 SUMIF・AVERAGEIF、COUNTIF
	事後学習	操作の復習
3	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「文字列操作」 LEFT・RAIGHT・MID
	事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「並べ替え・フィルタ」データの並べ替え、フィルタ（絞込み）操作
	事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説
	事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「入力規則」 データの入力規則の操作
	事後学習	操作の復習
7	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「グラフの作成」棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフの作成
	事後学習	操作の復習
8	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「グラフの編集」 グラフの詳細設定
	事後学習	操作の復習
9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「視覚表現」 スパークライン、条件付き書式
	事後学習	操作の復習
10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「データ保護」セルのロック、シート保護、ファイル保存
	事後学習	操作の復習
11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「印刷」 印刷設定、表示モードの変更
	事後学習	操作の復習
12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	操作の復習
13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	操作の復習
14	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	試験に向けての総復習
15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	定期試験
	事後学習	試験の見直し

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（平常点）＞：30%

教科書　著者名　　FOM 出版
　　タイトル　Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集
　　出版社　　FOM 出版

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	情報処理Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	滝口　直樹		
実務経験 教員紹介	15 年間、専門学校や通信講座の Office 講義を担当。情報処理講師として、専門学校、大学、社員研修、通信講座の担当を多数。また、関連書籍の著作数は 20 冊。		

講義概要
Microsoft Excel の操作を中心に、コンピュータによる表計算・分析の基礎を学びます。 Excel の基本操作、データ分析の基礎、集計作業、グラフ作成などについて実習による習得します。 講義内容は MOS Excel 試験にも対応し、資格取得への対策も行います。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度）※通年 Microsoft Excel の基本操作（ビジネス現場において不足のない内容を網羅）希望者は MOS Excel を受験・合格
学修成果
日本語入力の手法を取得し、正確に入力ができる力を得る。 Excel の基本操作を習得し、データ集計や分析を効率的に作成するスキルを得る。

授業計画

1	事前学習	なし
	授業計画	「オート SUM」 基本的な関数（SUM・AVERAGE など）
	事後学習	操作の復習
2	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「条件付き関数」 SUMIF・AVERAGEIF、COUNTIF
	事後学習	操作の復習
3	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「文字列操作」 LEFT・RAIGHT・MID
	事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「並べ替え・フィルタ」データの並べ替え、フィルタ（絞込み）操作
	事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説
	事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「入力規則」 データの入力規則の操作
	事後学習	操作の復習
7	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「グラフの作成」棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフの作成
	事後学習	操作の復習
8	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「グラフの編集」グラフの詳細設定
	事後学習	操作の復習
9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「視覚表現」 スパークライン、条件付き書式
	事後学習	操作の復習
10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「データ保護」セルのロック、シート保護、ファイル保存
	事後学習	操作の復習
11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「印刷」 印刷設定、表示モードの変更
	事後学習	操作の復習
12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	操作の復習
13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	操作の復習
14	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	試験に向けての総復習
15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	定期試験
	事後学習	試験の見直し

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（平常点）＞：30%
教科書　著者名　　FOM 出版
　　タイトル　Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集
　　出版社　　FOM 出版
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	英語 I	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	清水　卓子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この授業では、From（型）、Meaning（意味）、Use（機能）の言語習得の三要素に着目し英文法を学習する事で、「見聞きした事があるが使えない。」と言う、多くの学習者が直面するジレンマから脱却する事を目標とする。
達成目標
基本の三時制である「現在形」、「過去形」、「未来形」のニュアンスについて理解すると共に、「形容詞」、「副詞」等の初級文法についても、会話の中で使用出来る様になる。
学修成果
単語ではなく、文章での英語でのコミュニケーションが可能になる。「自分自身や家族の事」、また「趣味」等の日常的なトピックについて、自信を持って発話出来るようになる。

授業計画

1	事前学習	なし
	授業計画	am/ is/ are（be 動詞の肯定文・否定文）
	事後学習	授業内容について復習
2	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	am/ is/ are（be 動詞の疑問文）
	事後学習	授業内容について復習
3	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	現在進行形
	事後学習	授業内容について復習
4	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形
	事後学習	授業内容について復習
5	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形の否定文
	事後学習	授業内容について復習
6	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形の疑問文
	事後学習	授業内容について復習
7	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	形容詞
	事後学習	授業内容について復習
8	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	副詞
	事後学習	授業内容について復習
9	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	be 動詞の過去形
	事後学習	授業内容について復習
10	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純過去形
	事後学習	授業内容について復習
11	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純過去形の否定文と疑問文
	事後学習	授業内容について復習
12	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	I'm going to + 動詞の原形
	事後学習	授業内容について復習
13	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	未来を表す be + ing
	事後学習	授業内容について復習
14	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	これまでの講義内容について復習
	事後学習	授業内容について復習
15	事前学習	これまでの講義内容について見直し
	授業計画	期末試験
	事後学習	なし

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：90%　＜（授業態度）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名　　Raymond Murphy
　　タイトル　マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）
　　出版社　　ケンブリッジ大学出版

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	英語 I	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	清水 卓子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この授業では、From（型）、Meaning（意味）、Use（機能）の言語習得の三要素に着目し英文法を学習する事で、「見聞きした事があるが使えない。」と言う、多くの学習者が直面するジレンマから脱却する事を目標とする。
達成目標
基本の三時制である「現在形」、「過去形」、「未来形」のニュアンスについて理解すると共に、「形容詞」、「副詞」等の初級文法についても、会話の中で使用出来る様になる。
学修成果
単語ではなく、文章での英語でのコミュニケーションが可能になる。「自分自身や家族の事」、また「趣味」等の日常的なトピックについて、自信を持って発話出来るようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	am/ is/ are（be 動詞の肯定文・否定文）		授業計画	be 動詞の過去形
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
2	事前学習	前回の授業内容について見直し	10	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	am/ is/ are（be 動詞の疑問文）		授業計画	単純過去形
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
3	事前学習	前回の授業内容について見直し	11	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	現在進行形		授業計画	単純過去形の否定文と疑問文
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
4	事前学習	前回の授業内容について見直し	12	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形		授業計画	I'm going to + 動詞の原形
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
5	事前学習	前回の授業内容について見直し	13	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形の否定文		授業計画	未来を表す be + ing
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
6	事前学習	前回の授業内容について見直し	14	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	単純現在形の疑問文		授業計画	これまでの講義内容について復習
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
7	事前学習	前回の授業内容について見直し	15	事前学習	これまでの講義内容について見直し
	授業計画	形容詞		授業計画	期末試験
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	なし
8	事前学習	前回の授業内容について見直し			
	授業計画	副詞			
	事後学習	授業内容について復習			

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：90%　＜（授業態度）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社

参考書　著者名　　Raymond Murphy
　　タイトル　　マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）
　　出版社　　ケンブリッジ大学出版

年度	2023年度	学期	前期
科目名	英語Ⅰ	単位	2単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	山北　麻美		
実務経験教員紹介	企業研修、キャリアカウンセリング、外国人支援、語学・留学カウンセリング、日本語テキスト・児童英語指導マニュアル作成、通訳、翻訳など		

講義概要
本講義では、外国語とその文化・風習・行事に触れることで理解を促進し、語学を使ってコミュニケーションをとる楽しさを体感・習得する。四技能をバランスよく学び、毎回文法を確認し理解した上で、コミュニケーションとしての英語を実践を踏まえながら練習し習得する。
達成目標
・ナチュラルスピードの英語を理解する。　・自分の意見をしっかり伝えられるような英語力を養う。 ・限られた時間で英文の内容を理解し、自分の言葉で伝えることができる。
学修成果
・自然な英語を聞いて理解し、反応することができる。　・英文を読み理解することができる。 ・学んだ文法を使って自分の考えを英語で伝えることができる。

授業計画

1	事前学習	復習	9	事前学習	復習
	授業計画	Unit9　病気の伝え方・アドバイス		授業計画	Unit13　能力得意・不得意な事の伝え方①
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
2	事前学習	復習	10	事前学習	復習
	授業計画	Unit10 アドバイスを求める・提案する①		授業計画	Unit13　能力得意・不得意な事の伝え方②
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
3	事前学習	復習	11	事前学習	復習
	授業計画	Unit10 アドバイスを求める・提案する②		授業計画	Unit14　必要な事を丁寧に伝える①
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
4	事前学習	復習	12	事前学習	復習
	授業計画	Unit11　好みの伝え方･丁寧な伝え方①		授業計画	Unit14　必要な事を丁寧に伝える②
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
5	事前学習	復習	13	事前学習	復習
	授業計画	Unit11　好みの伝え方･丁寧な伝え方②		授業計画	Unit15　可能性や必要性について伝える①
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
6	事前学習	復習	14	事前学習	復習
	授業計画	Unit12　比較する・どちらがいいかたずねる①		授業計画	Unit15　可能性や必要性について伝える②
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
7	事前学習	復習	15	事前学習	テスト勉強
	授業計画	Unit12　比較する・どちらがいいかたずねる②		授業計画	テスト
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	復習
8	事前学習	発表の準備			
	授業計画	グループ発表			
	事後学習	ポイントの見直し			

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：30%　＜（授業態度・発表 ）＞：20%

教科書　著者名　Jack C. Richards / David Bohlke
　　タイトル　Speak NOW1
　　出版社　OXFORD

参考書　著者名
　　タイトル　新聞・website などを適宜使用
　　出版社

年度	2023年度	学期	後期
科目名	英語Ⅱ	単位	2単位
学科コース	日中ビジネス通訳コース		
講師名	清水　卓子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この授業では、From（型）、Meaning（意味）、Use（機能）の言語習得の三要素に着目し英文法を学習する事で、「見聞きした事があるが使えない。」と言う、多くの学習者が直面するジレンマから脱却する事を目標とする。
達成目標
ビジネスにおける基本的なコミュニケーションである、自己紹介や自社の製品やサービスについて、また社内における自分自身の役割等について、簡単な英語で話す事が出来る。
学修成果
単語ではなく、文章での英語でのコミュニケーションが可能になる。また授業で学習した内容について、軽度なビジネス場面で使用する事が出来る。

授業計画

1	事前学習	なし
	授業計画	Unit1: 1
	事後学習	授業内容について復習
2	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit1: 2 Unit2: 1
	事後学習	授業内容について復習
3	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit2: 2 Unit3: 1
	事後学習	授業内容について復習
4	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit3: 2 Unit4: 1
	事後学習	授業内容について復習
5	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit4: 2 Unit5: 1
	事後学習	授業内容について復習
6	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit5: 2 Unit6: 1
	事後学習	授業内容について復習
7	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit6: 2 Unit7: 1
	事後学習	授業内容について復習
8	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit7: 2 Unit8: 1
	事後学習	授業内容について復習
9	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit8: 2
	事後学習	授業内容について復習
10	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Review: Unit1-Unit2
	事後学習	授業内容について復習
11	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Review: Unit3-Unit4
	事後学習	授業内容について復習
12	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Review: Unit5-Unit6
	事後学習	授業内容について復習
13	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Review: Unit7-Unit8
	事後学習	授業内容について復習
14	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	これまでの講義内容について復習
	事後学習	授業内容について復習
15	事前学習	これまでの講義内容について見直し
	授業計画	期末試験
	事後学習	なし

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：90%　＜（授業態度）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル　Businss Result - Starter
　　出版社　Oxford University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	英語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	清水 卓子		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この授業では、From（型）、Meaning（意味）、Use（機能）の言語習得の三要素に着目し英文法を学習する事で、「見聞きした事があるが使えない。」と言う、多くの学習者が直面するジレンマから脱却する事を目標とする。
達成目標
ビジネスにおける基本的なコミュニケーションである、自己紹介や自社の製品やサービスについて、また社内における自分自身の役割等について、簡単な英語で話す事が出来る。
学修成果
単語ではなく、文章での英語でのコミュニケーションが可能になる。また授業で学習した内容について、軽度なビジネス場面で使用する事が出来る。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit1: 1		授業計画	Unit8: 2
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
2	事前学習	前回の授業内容について見直し	10	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit1: 2 Unit2: 1		授業計画	Review: Unit1-Unit2
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
3	事前学習	前回の授業内容について見直し	11	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit2: 2 Unit3: 1		授業計画	Review: Unit3-Unit4
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
4	事前学習	前回の授業内容について見直し	12	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit3: 2 Unit4: 1		授業計画	Review: Unit5-Unit6
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
5	事前学習	前回の授業内容について見直し	13	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit4: 2 Unit5: 1		授業計画	Review: Unit7-Unit8
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
6	事前学習	前回の授業内容について見直し	14	事前学習	前回の授業内容について見直し
	授業計画	Unit5: 2 Unit6: 1		授業計画	これまでの講義内容について復習
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	授業内容について復習
7	事前学習	前回の授業内容について見直し	15	事前学習	これまでの講義内容について見直し
	授業計画	Unit6: 2 Unit7: 1		授業計画	期末試験
	事後学習	授業内容について復習		事後学習	なし
8	事前学習	前回の授業内容について見直し			
	授業計画	Unit7: 2 Unit8: 1			
	事後学習	授業内容について復習			

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：90%　＜（授業態度）＞：10%

教科書　著者名
　　タイトル　Businss Result - Starter
　　出版社　Oxford University Press

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023年度	学期	後期
科目名	英語Ⅱ	単位	2単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	山北　麻美		
実務経験教員紹介	企業研修、キャリアカウンセリング、外国人支援、語学・留学カウンセリング、日本語テキスト・児童英語指導マニュアル作成、通訳、翻訳など		

講義概要
本講義では、リアルタイムに使われている英語やニュースに触れ場面に合った表現を知り選択して使えるようになる。テキストでは四技能をバランスよく学び、毎回文法を確認し理解した上で、コミュニケーションとしての英語を実践を踏まえながら練習し習得する。
達成目標
・状況に合わせて英語を使い分ける。　・自分の意見を伝えられるような英語力・表現力・語彙力を養う。 ・限られた時間で英文の内容を理解し、自分の言葉で伝えることができる。
学修成果
・自然な英語を聞いて理解し、反応することができる。　・英文を読み理解することができる。 ・自分の考えを状況に沿った最も適切な英語で伝えることができる。

授業計画

1	事前学習	復習
	授業計画	前期の復習・オリエンテーション
	事後学習	ポイントの見直し
2	事前学習	復習
	授業計画	Unit27　仮定法を使った質問･答え方①
	事後学習	ポイントの見直し
3	事前学習	復習
	授業計画	Unit27　仮定法を使った質問･答え方②
	事後学習	ポイントの見直し
4	事前学習	復習
	授業計画	Unit28　確信がある時･ない時の伝え方Ⅰ　①
	事後学習	ポイントの見直し
5	事前学習	復習
	授業計画	Unit28　確信がある時･ない時の伝え方Ⅰ　②
	事後学習	ポイントの見直し
6	事前学習	復習
	授業計画	Unit29 確信がある時・ない時の伝え方Ⅱ　①
	事後学習	ポイントの見直し
7	事前学習	復習
	授業計画	Unit29 確信がある時・ない時の伝え方Ⅱ　②
	事後学習	ポイントの見直し
8	事前学習	復習
	授業計画	Unit30　強調したい時の表現①
	事後学習	ポイントの見直し
9	事前学習	復習
	授業計画	Unit30　強調したい時の表現②
	事後学習	ポイントの見直し
10	事前学習	復習
	授業計画	Unit31　予定を説明する①
	事後学習	ポイントの見直し
11	事前学習	復習
	授業計画	Unit31　予定を説明する②
	事後学習	ポイントの見直し
12	事前学習	復習
	授業計画	Unit32　目標や希望について質問する・伝える①
	事後学習	ポイントの見直し
13	事前学習	復習
	授業計画	Unit32　目標や希望について質問する・伝える②
	事後学習	ポイントの見直し
14	事前学習	復習
	授業計画	まとめ
	事後学習	ポイントの見直し
15	事前学習	テスト勉強
	授業計画	テスト
	事後学習	復習

評価方法　　出席状況：50%　定期試験：30%　＜（授業態度・発表 ）＞：20%

教科書　著者名　　Jack C. Richards / David Bohlke
　　タイトル　Speak NOW 3
　　出版社　　OXFORD

参考書　著者名
　　タイトル　新聞・website などを適宜使用
　　出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	ビジネスマナーⅠ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	丸山　直美		
実務経験 教員紹介	カラーとマナーのコンサルタント SIF を主宰。社長・役員秘書を経て独立。短大・専門学校にて色彩やビジネスマナー・プロトコールを担当。企業の社員研修も行う。		

講義概要
日本で仕事をする上で、社会の秩序を理解し、立場をわきまえた言動ができるようビジネスマナーを学ぶ。ビジネスパーソンとして判断・行動ができるか、相応しい話し方（言葉遣い）やマナーやルールを理解し職業人として人生を歩む自信をつける。
達成目標
ビジネス・マナーの基本をもとに、ホスピタリティ・マインドを養い、ホスピタリティの本質を理解し、遂行できる知識と教養と気遣いを身につける。
学修成果
ビジネスマナーを身につけることによって、言葉遣い、立ち居振る舞い、正い敬語、挨拶、接客マナー、読みやすい文字相手への気遣いなどが身に付く。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	電話応対予習
	授業計画	自己紹介・講義内容・授業中ルール説明。学習目的説明		授業計画	電話応対基本１：電話の受け方　職場の電話の役割
	事後学習	授業の振り返り		事後学習	重要ポイント整理
2	事前学習	挨拶の基本練習	10	事前学習	復習
	授業計画	挨拶の基本・お辞儀の仕方と立ち居振る舞い		授業計画	電話応対復習
	事後学習	お辞儀と笑顔練習		事後学習	ポイント整理
3	事前学習	自己紹介練習	11	事前学習	来客応対の予習
	授業計画	面接を踏まえての自己紹介:第一印象の重要性、印象は何で決まるか。		授業計画	来客応対１：受付（基本編）と訪問の仕方（基本編）・名刺交換
	事後学習	資料の復習		事後学習	ポイント整理
4	事前学習	服装チェック	12	事前学習	資料復習
	授業計画	社会人の身だしなみルールとマナー。身だしなみの必要性。		授業計画	来客応対２：受付（基本編）と訪問の仕方（基本編）・名刺交換
	事後学習	チェックシート記入		事後学習	課題　提出
5	事前学習	資料復習	13	事前学習	持ち物準備
	授業計画	仕事への取り組み方。会社とは何かを理解。		授業計画	接客の基本：呈茶（会議・面談）・案内の仕方
	事後学習	課題　提出		事後学習	復習
6	事前学習	敬語予習	14	事前学習	資料整理
	授業計画	社会人としての言葉遣い。敬語の種類と基本ルール、使い分と接遇表現。		授業計画	前期総括　・　（期末試験の振り返り）
	事後学習	課題　提出		事後学習	期末試験準備
7	事前学習	敬語予習	15	事前学習	期末試験準備
	授業計画	敬語：ビジネスに相応しい話し方。８大接客用語とビジネス基本語。		授業計画	定期末試験　筆記
	事後学習	課題　提出		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	資料チェック理解具足を書き出す			
	授業計画	社会人に求められる報告・連絡・相談仕事の話し方を学ぶ			
	事後学習	課題　提出			

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%
教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	ビジネスマナーⅡ	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	丸山　直美		
実務経験 教員紹介	カラーとマナーのコンサルタント SIF を主宰。社長・役員秘書を経て独立。短大・専門学校にて色彩やビジネスマナー・プロトコールを担当。企業の社員研修も行う。		

講義概要
日本で仕事をする上で、社会の秩序を理解し、立場をわきまえた言動ができるようビジネスマナーを学ぶ。相手を思いやる心や諸問題に直面した時に臨機応変な対応ができる能力を養う。場面に応じたコミュニケーションスキルを習得する。
達成目標
社会人としての良識やマナーの基本と応用を身に付け、適切な判断と行動ができるようにする。社会人常識マナー検定取得し気遣いができる社会人を目指す。
学修成果
ビジネスマナーの基礎を身につけることによって、社会で困らず自信を持って実践できるようになる。就職活動に活かせ、職業人としての社会への一歩が歩める。

授業計画

1	事前学習	なし
	授業計画	後期授業内容説明:前期での注意事項説明・前期集中の復習
	事後学習	社会人常識マナー検定過去問実施
2	事前学習	手紙書き方下調べ
	授業計画	手紙の書き方基本・封筒の書き方・常套句
	事後学習	課題仕上げ
3	事前学習	前週の復習要点確認
	授業計画	ビジネス文書：E—mail・FAX、お礼状などビジネス文書の基本を学ぶ
	事後学習	宿題提出
4	事前学習	前期敬語の資料再読
	授業計画	間違えやすい敬語（尊敬語・謙譲語）・身内敬語
	事後学習	演習のまとめ
5	事前学習	前期敬語の資料再読
	授業計画	席次について・乗り物・洋室・和室　レストラン・会議室
	事後学習	宿題提出
6	事前学習	訪問マナー下調べ
	授業計画	社会人の訪問マナー:準備と約束の取り方、訪問後のお礼
	事後学習	宿題提出
7	事前学習	小テスト準備
	授業計画	話し方・伝え方（対面・電話）　クッション言葉
	事後学習	小テスト振り返り
8	事前学習	３種のお辞儀練習
	授業計画	面接：　身だしなみ持ち物　辞儀・挨拶・入退室歩き方・椅子座り方
	事後学習	面接についてまとめ
9	事前学習	前期資料再読
	授業計画	報連相　伝え方・聞き方　表情・所作質問の仕方
	事後学習	宿題提出
10	事前学習	前期資料学習
	授業計画	電話応対の復習　基本復習後ロールプレイ（演習）
	事後学習	宿題提出
11	事前学習	前期資料学習
	授業計画	来客応対の復習　基本復習後ロールプレイ（演習）
	事後学習	宿題提出
12	事前学習	事前準備品用意
	授業計画	１）社会人のマナー：慶事と弔事
	事後学習	宿題
13	事前学習	事前準備品用意
	授業計画	２）社会人のマナー：「会食」の基本
	事後学習	宿題
14	事前学習	試験準備
	授業計画	後期総括
	事後学習	試験準備
15	事前学習	試験準備
	授業計画	定期末試験（筆記）
	事後学習	試験の振り返り

評価方法　　出席状況：30%　定期試験：70%

教科書　著者名
　　タイトル
　　出版社

参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	ビジネス英語 I	単位	2 単位
学科コース	アカデミックイングリッシュコース		
講師名	Joseph		
実務経験 教員紹介	English teaching experience in a variety of business and educational organizations		

講義概要
This class offers communication and language practice based on business settings, and helping students develop relevant communiation skills.
達成目標
Students can ba familiar with language that is relevant to their work context.
学修成果
Students can use the expressions and language they learn in real work situations.

授業計画

1	事前学習	None	9	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit4: 1		授業計画	Unit7: 3 Unit8: 1
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Preparation	10	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit4: 2		授業計画	Unit8: 2
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Preparation	11	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit4: 3 Unit5: 1		授業計画	Unit8: 3
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Preparation	12	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit5: 2		授業計画	Review: Unit4-Unit5
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Preparation	13	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit5: 3 Unit6: 1		授業計画	Review: Unit6-Unit7
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Preparation	14	事前学習	Preparation
	授業計画	Unit6: 2		授業計画	Review: Unit8
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Preparation	15	事前学習	Test Preparation
	授業計画	unit6: 3 Unit7: 1		授業計画	Term-end Test
	事後学習	Review		事後学習	None
8	事前学習	Preparation			
	授業計画	Unit7: 2			
	事後学習	Review			

評価方法　　出席状況：0%　定期試験：80%　＜（Attitude and performance）＞：20%
教科書　著者名
　　タイトル　Business Result - Elementary
　　出版社　Oxford University Press
参考書　著者名
　　タイトル
　　出版社

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	簿記 I	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	篠崎 誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業の取引を明確に記帳し、利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける。
達成目標
簿記の学習内容の理解度を示すものとして検定試験がある。このコースでは企業会計の基礎を理解しているかどうかをを示す全経簿記検定の３級合格を目標とする。
学修成果
簿記のスキルをきちんと理解し、一連の会計手続きが理解できるか知識を習得する。また、貸借対照表・損益計算書の報告内容が理解できるようにする。

授業計画

1	事前学習	簿記とは何か？事前に調べる	9	事前学習	勘定口座について調べる
	授業計画	企業の簿記・簿記の意味と目的を明らかにして記帳の重要性を理解する		授業計画	決算の本手続き（帳簿決算）について学ぶ。
	事後学習	簿記とは何か意味と目的を理解する		事後学習	問題集の演習問題により復習する
2	事前学習	簿記の５要素を調べる	10	事前学習	簿記上の現金とは何か調べる
	授業計画	資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表の意味・形式・作成方法を学ぶ		授業計画	現金預金記の記帳　現金勘定の具体的な処理方法を学ぶ
	事後学習	貸借対照表の作成問題を復習をする		事後学習	現金・現金過不足の復習をする
3	事前学習	収益・費用とは何か調べる	11	事前学習	分記法・三分法とは何かを調べる
	授業計画	収益・費用と損益計算書の意味・形式を明らかにし作成方法を学ぶ。		授業計画	商品売買の記帳　分記法と三分法を学ぶ
	事後学習	損益計算書の作成問題を復習をする		事後学習	三分法の処理方法を復習する
4	事前学習	取引の結合要素を調べる	12	事前学習	三分法の処理方法を復習する
	授業計画	取引と勘定記入　簿記上の取引と勘定科目の概要を学ぶ。		授業計画	掛け取引の記帳　後日、受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	取引の分解と勘定記入を復習する		事後学習	諸掛・値引・返品について確認する
5	事前学習	簡単な取引を分解する練習をする	13	事前学習	受取手形・支払手形について調べる
	授業計画	仕訳の意味を明らかにし、勘定口座に転記する意義を学ぶ。		授業計画	手形取引の記帳　約束手形による受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	仕訳・転記の問題の復習をする		事後学習	手形取引の仕訳の復習をする
6	事前学習	主要簿・補助簿について調べる	14	事前学習	どのような勘定があるか調べる
	授業計画	仕訳帳の形式・記入法をを理解し、総勘定元帳への転記の方法を学ぶ。		授業計画	その他の債権債務の記帳　商品売買以外の権利義務の処理を学ぶ
	事後学習	練習問題を行い再度確認する		事後学習	テキストの問題で復習をする
7	事前学習	仕訳と転記の復習をおこなう	15	事前学習	開示問題を事前に復習する
	授業計画	転記が正しく行われたか確認するための試算表(T/B) の作成を学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	簿記一巡と試算表の復習をおこなう		事後学習	前期の学習範囲を網羅的に復習する
8	事前学習	簿記一巡について復習をおこなう			
	授業計画	帳簿決算について学ぶ。			
	事後学習	精算表の問題演習をする			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（ 課題 ）＞：10%

教科書　著者名　ネットスクール株式会社
　　タイトル　全経簿記能力検定試験公式テキスト３級
　　出版社　ネットスクール出版

参考書　著者名　ネットスクール株式会社
　　タイトル　全経簿記能力検定試験公式問題集３級・全経簿記能力検定試験公式過去問題集３級
　　出版社　ネットスクール出版

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	簿記Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	篠崎 誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになっている。大企業から中小企業の取引を明確に記帳し、利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける。
達成目標
簿記の学習内容の理解度を示すものとして検定試験がある。このコースでは企業会計の基礎を理解しているかどうかをを示す全経簿記検定の３級合格を目標とする。
学修成果
簿記のスキルをきちんと理解し、一連の会計手続きが理解できるか知識を習得する。また、貸借対照表・損益計算書の報告内容が理解できるようにする。

授業計画

1	事前学習	簿記とは何か？事前に調べる	9	事前学習	勘定口座について調べる
	授業計画	企業の簿記･簿記の意味と目的を明らかにして記帳の重要性を理解する		授業計画	決算の本手続き（帳簿決算）について学ぶ。
	事後学習	簿記とは何か意味と目的を理解する		事後学習	問題集の演習問題により復習する
2	事前学習	簿記の５要素を調べる	10	事前学習	簿記上の現金とは何か調べる
	授業計画	資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表の意味・形式・作成方法を学ぶ		授業計画	現金預金記の記帳　現金勘定の具体的な処理方法を学ぶ
	事後学習	貸借対照表の作成問題を復習をする		事後学習	現金・現金過不足の復習をする
3	事前学習	収益・費用とは何か調べる	11	事前学習	分記法・三分法とは何かを調べる
	授業計画	収益・費用と損益計算書の意味・形式を明らかにし作成方法を学ぶ。		授業計画	商品売買の記帳　分記法と三分法を学ぶ
	事後学習	損益計算書の作成問題を復習をする		事後学習	三分法の処理方法を復習する
4	事前学習	取引の結合要素を調べる	12	事前学習	三分法の処理方法を復習する
	授業計画	取引と勘定記入　簿記上の取引と勘定科目の概要を学ぶ。		授業計画	掛け取引の記帳　後日、受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	取引の分解と勘定記入を復習する		事後学習	諸掛・値引・返品について確認する
5	事前学習	簡単な取引を分解する練習をする	13	事前学習	受取手形・支払手形について調べる
	授業計画	仕訳の意味を明らかにし､勘定口座に転記する意義を学ぶ。		授業計画	手形取引の記帳　約束手形による受け払いの処理を学ぶ
	事後学習	仕訳・転記の問題の復習をする		事後学習	手形取引の仕訳の復習をする
6	事前学習	主要簿・補助簿について調べる	14	事前学習	どのような勘定があるか調べる
	授業計画	仕訳帳の形式・記入法をを理解し、総勘定元帳への転記の方法を学ぶ。		授業計画	その他の債権債務の記帳　商品売買以外の権利義務の処理を学ぶ
	事後学習	練習問題を行い再度確認する		事後学習	テキストの問題で復習をする
7	事前学習	仕訳と転記の復習をおこなう	15	事前学習	開示問題を事前に復習する
	授業計画	転記が正しく行われたか確認するための試算表(T/B) の作成を学ぶ		授業計画	定期試験
	事後学習	簿記一巡と試算表の復習をおこなう		事後学習	前期の学習範囲を網羅的に復習する
8	事前学習	簿記一巡について復習をおこなう			
	授業計画	帳簿決算について学ぶ。			
	事後学習	精算表の問題演習をする			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（ 課題 ）＞：10%

教科書　著者名　　ネットスクール株式会社
　　タイトル　全経簿記能力検定試験公式テキスト３級
　　出版社　　ネットスクール出版

参考書　著者名　　ネットスクール株式会社
　　タイトル　全経簿記能力検定試験公式問題集３級・全経簿記能力検定試験公式過去問題集３級
　　出版社　　ネットスクール出版

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	簿記Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	篠崎　誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになってます。大企業から中小企業やとっての取引を明確に記帳し利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける
達成目標
ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、ビジネスマンに求められる最低限の知識・技能を身につけることを目標とする。
学修成果
小規模株式会社の経理者としての簿記知識を学び、基礎を身につける。具体的には、全経簿記実務検定・日商簿記検定３級の合格レベルの知識を習得し、検定を取得する

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	現金過不足・小口現金について		授業計画	損益計算書と貸借対照表の作成　帳簿の締切り
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
2	事前学習	テキストの該当ページを読む	10	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	消費税の処理･引出金と税金　有価証券と有形固定資産		授業計画	模擬問題　精算表と財務諸表　演習と解説
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
3	事前学習	株式会社とは何か　事前に調べる	11	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	固定資産の記帳　固定資産の取得や売却について学ぶ		授業計画	帳簿決算と財務諸表　総勘定元帳の締め切り方を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
4	事前学習	株式会社とは何か　事前に調べる	12	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	株式会社の資本構成・株式の発行		授業計画	損益計算書と貸借対照表（1）　損益計算書の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
5	事前学習	株式会社の税金の種類を調べる	13	事前学習	模擬問題の確認
	授業計画	証ひょうと伝票　証ひょうの会計処理をする。３伝票制について学ぶ		授業計画	模擬問題・過去問題演習・解説
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	不正解問題の訂正・模擬問題の解答
6	事前学習	証ひょう何があるのか事前に調べる	14	事前学習	模擬問題の確認
	授業計画	決算手続き（２）決算整理記入　売上原価の計算　貸倒れの見積もり		授業計画	過去問題演習・解説
	事後学習	起票集計について練習問題にて復習		事後学習	練習問題を解き理解する
7	事前学習	テキストの該当ページを読む	15	事前学習	開示問題の復習をする。
	授業計画	決算手続き　消耗品費の処理　費用の見越し・繰り延べ		授業計画	期末試験
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	過去問題の解答
8	事前学習	テキストの該当ページを読む			
	授業計画	精算表の作成			
	事後学習	練習問題を解き理解する			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（ 課題 ）＞：10%

教科書　著者名　　ネットスクール株式会社
　　タイトル　全経簿記能力検定試験公式テキスト３級
　　出版社　　ネットスクール出版

参考書　著者名　　ネットスクール株式会社
　　タイトル　全経簿記能力検定試験公式問題集３級・全経簿記能力検定試験公式過去問題集３級
　　出版社　　ネットスクール出版

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	簿記Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	篠崎　誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものになってます。大企業から中小企業やとっての取引を明確に記帳し利害関係者に財務内容の報告をするための記帳手続きを学ぶ。主要簿である仕訳帳および補助簿の記帳スキルを身に付けながら、主要取引の仕訳に必要な簿記のルールを身に付ける
達成目標
ビジネス言語の一つである簿記の基本的な仕組みをしっかりと理解し、ビジネスマンに求められる最低限の知識・技能を身につけることを目標とする。
学修成果
小規模株式会社の経理者としての簿記知識を学び、基礎を身につける。具体的には、全経簿記実務検定・日商簿記検定３級の合格レベルの知識を習得し、検定を取得する

授業計画

1	事前学習	テキストの該当ページを読む	9	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	現金過不足・小口現金について		授業計画	損益計算書と貸借対照表の作成　帳簿の締切り
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
2	事前学習	テキストの該当ページを読む	10	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	消費税の処理･引出金と税金　有価証券と有形固定資産		授業計画	模擬問題　精算表と財務諸表　演習と解説
	事後学習	テキストの練習問題の復習		事後学習	練習問題を解き理解する
3	事前学習	株式会社とは何か　事前に調べる	11	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	固定資産の記帳　固定資産の取得や売却について学ぶ		授業計画	帳簿決算と財務諸表　総勘定元帳の締め切り方を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
4	事前学習	株式会社とは何か　事前に調べる	12	事前学習	テキストの該当ページを読む
	授業計画	株式会社の資本構成・株式の発行		授業計画	損益計算書と貸借対照表（1）　損益計算書の具体的な作成方法を学ぶ
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	練習問題を解き理解する
5	事前学習	株式会社の税金の種類を調べる	13	事前学習	模擬問題の確認
	授業計画	証ひょうと伝票　証ひょうの会計処理をする。３伝票制について学ぶ		授業計画	模擬問題・過去問題演習・解説
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	不正解問題の訂正・模擬問題の解答
6	事前学習	証ひょう何があるのか事前に調べる	14	事前学習	模擬問題の確認
	授業計画	決算手続き（２）決算整理記入　売上原価の計算　貸倒れの見積もり		授業計画	過去問題演習・解説
	事後学習	起票集計について練習問題にて復習		事後学習	練習問題を解き理解する
7	事前学習	テキストの該当ページを読む	15	事前学習	開示問題の復習をする。
	授業計画	決算手続き　消耗品費の処理　費用の見越し・繰り延べ		授業計画	期末試験
	事後学習	練習問題を解き理解する		事後学習	過去問題の解答
8	事前学習	テキストの該当ページを読む			
	授業計画	精算表の作成			
	事後学習	練習問題を解き理解する			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（ 課題 ）＞：10%

教科書　著者名　　ネットスクール株式会社
　　タイトル　全経簿記能力検定試験公式テキスト３級
　　出版社　　ネットスクール出版

参考書　著者名　　ネットスクール株式会社
　　タイトル　全経簿記能力検定試験公式問題集３級・全経簿記能力検定試験公式過去問題集３級
　　出版社　　ネットスクール出版

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	社会常識Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	篠崎　誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものです。大企業から中小企業にいたるまで簿記会計を用いています。このように広く利用されている会計の知識や技能を身に付けることは、今後において必ず有用であると思われます。日々の積み重ねが大切です。
達成目標
ビジネス言語の一つである簿記の基本構造を理解し、会社における日常取引について仕訳および記帳することができる。全経簿記検定試験３級レベルの商業簿記の知識や技能を習得する.
学修成果
小規模株式会社の経理者としての簿記知識を学び、基礎を身につける。具体的には、全経簿記実務検定・日商簿記検定３級の合格レベルの知識を習得し、検定を取得する。

授業計画

1	事前学習	形式別プリントを行う	9	事前学習	前時の内容の確認
	授業計画	形式別・部門別の仕訳について演習と解説①		授業計画	帳簿決算の説明・演習をする②
	事後学習	プリントにより復習する		事後学習	プリントにより復習する
2	事前学習	前時の内容の確認	10	事前学習	前時の内容の確認
	授業計画	形式別・仕訳について演習・解説を行う②		授業計画	損益計算書・貸借対照表の説明・演習をする①
	事後学習	プリントにより復習する		事後学習	プリントにより復習する
3	事前学習	前時の内容の確認	11	事前学習	前時の内容の確認
	授業計画	伝票会計と補助簿について解説・演習を行う①		授業計画	損益計算書・貸借対照表の説明・演習をする②
	事後学習	プリントにより復習する		事後学習	プリントにより復習する
4	事前学習	前時の内容の確認	12	事前学習	前時の内容の確認
	授業計画	伝票会計と補助簿について解説・演習を行う②		授業計画	模擬問題の解答・解説を行う①
	事後学習	プリントにより復習する		事後学習	プリントにより復習する
5	事前学習	前時の内容の確認	13	事前学習	前時の内容の確認
	授業計画	決算整理事項について説明する		授業計画	模擬問題の解答・解説を行う②
	事後学習	プリントにより復習する		事後学習	プリントにより復習する
6	事前学習	前時の内容の確認	14	事前学習	前時の内容の確認
	授業計画	精算表の説明・演習をする①		授業計画	模擬問題の解答・解説を行う③
	事後学習	プリントにより復習する		事後学習	プリントにより復習する
7	事前学習	前時の内容の確認	15	事前学習	全講義内容の復習
	授業計画	精算表の説明・演習をする②		授業計画	定期試験
	事後学習	プリントにより復習する		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前時の内容の確認			
	授業計画	帳簿決算の説明・演習をする①			
	事後学習	プリントにより復習する			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（ 課題 ）＞：10%

教科書　著者名　　ネットスクール株式会社
　　タイトル　全経簿記能力検定試験公式テキスト３級
　　出版社　　ネットスクール出版
参考書　著者名　　ネットスクール株式会社
　　タイトル　全経簿記能力検定試験公式問題集３級・全経簿記能力検定試験公式過去問題集３級
　　出版社　　ネットスクール出版

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	社会常識Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	篠崎　誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものです。大企業から中小企業にいたるまで簿記会計を用いています。このように広く利用されている会計の知識や技能を身に付けることは、今後において必ず有用であると思われます。日々の積み重ねが大切です。
達成目標
ビジネス言語の一つである簿記の基本構造を理解し、会社における日常取引について仕訳および記帳することができる。全経簿記検定試験３級レベルの商業簿記の知識や技能を習得する.
学修成果
小規模株式会社の経理者としての簿記知識を学び、基礎を身につける。具体的には、全経簿記実務検定・日商簿記検定３級の合格レベルの知識を習得し、検定を取得する。

授業計画

1	事前学習	形式別プリントを行う	9	事前学習	前時の内容の確認
	授業計画	形式別･部門別の仕訳について演習と解説①		授業計画	帳簿決算の説明・演習をする②
	事後学習	プリントにより復習する		事後学習	プリントにより復習する
2	事前学習	前時の内容の確認	10	事前学習	前時の内容の確認
	授業計画	形式別・仕訳について演習・解説を行う②		授業計画	損益計算書･貸借対照表の説明･演習をする①
	事後学習	プリントにより復習する		事後学習	プリントにより復習する
3	事前学習	前時の内容の確認	11	事前学習	前時の内容の確認
	授業計画	伝票会計と補助簿について解説･演習を行う①		授業計画	損益計算書･貸借対照表の説明･演習をする②
	事後学習	プリントにより復習する		事後学習	プリントにより復習する
4	事前学習	前時の内容の確認	12	事前学習	前時の内容の確認
	授業計画	伝票会計と補助簿について解説･演習を行う②		授業計画	模擬問題の解答・解説を行う①
	事後学習	プリントにより復習する		事後学習	プリントにより復習する
5	事前学習	前時の内容の確認	13	事前学習	前時の内容の確認
	授業計画	決算整理事項について説明する		授業計画	模擬問題の解答・解説を行う②
	事後学習	プリントにより復習する		事後学習	プリントにより復習する
6	事前学習	前時の内容の確認	14	事前学習	前時の内容の確認
	授業計画	精算表の説明・演習をする①		授業計画	模擬問題の解答・解説を行う③
	事後学習	プリントにより復習する		事後学習	プリントにより復習する
7	事前学習	前時の内容の確認	15	事前学習	全講義内容の復習
	授業計画	精算表の説明・演習をする②		授業計画	定期試験
	事後学習	プリントにより復習する		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前時の内容の確認			
	授業計画	帳簿決算の説明・演習をする①			
	事後学習	プリントにより復習する			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（ 課題 ）＞：10%

教科書　著者名　　ネットスクール株式会社
　　タイトル　　全経簿記能力検定試験公式テキスト３級
　　出版社　　ネットスクール出版

参考書　著者名　　ネットスクール株式会社
　　タイトル　　全経簿記能力検定試験公式問題集３級・全経簿記能力検定試験公式過去問題集３級
　　出版社　　ネットスクール出版

年度	2023年度	学期	後期
科目名	社会常識Ⅱ	単位	2単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	篠崎　誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
現代のビジネス・スキルに不可欠となっている簿記の知識をさらに一歩高め、なぜそのような会計処理を行うのかといった理由や会計処理の違いによって生じる長所、短所などを理解することにより、会計の基本から実務で活用する技術までを解説する。
達成目標
企業では、簿記のスキルだけでなく規則や法律の知識が必要になる。また、正しい報告を行うために適切な会計処理についてりかいし、真実な会計報告とは何かを理解できるようにする。
学修成果
財務諸表がどのように作成され、何を報告するのか、だれに報告するのかを確認し、なぜ必要なのかを企業内外の理解できるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の復習
	授業計画	棚卸資産の意味と会計処理の基本について		授業計画	株式会社の資本の種類と会計処理②
	事後学習	講義資料の見直し		事後学習	練習問題による復習
2	事前学習	前回の復習	10	事前学習	前回の復習
	授業計画	棚卸資産の計算方法と評価に関する処理①		授業計画	損益計算書の作成①
	事後学習	練習問題による復習		事後学習	練習問題による復習
3	事前学習	前回の復習	11	事前学習	前回の復習
	授業計画	棚卸資産の計算方法と評価に関する処理②		授業計画	損益計算書の作成②
	事後学習	練習問題による復習		事後学習	練習問題による復習
4	事前学習	前回の復習	12	事前学習	前回の復習
	授業計画	有形固定資産の評価と会計処理① 購入と売却について		授業計画	貸借対照表の作成①
	事後学習	練習問題による復習		事後学習	練習問題による復習
5	事前学習	前回の復習	13	事前学習	前回の復習
	授業計画	有形固定資産の評価と会計処理② 減価償却の方法と種類について		授業計画	貸借対照表の作成②
	事後学習	練習問題による復習		事後学習	練習問題による復習
6	事前学習	前回の復習	14	事前学習	前回の復習
	授業計画	有価証券の種類と会計処理		授業計画	総合問題による復習
	事後学習	練習問題による復習		事後学習	練習問題による復習
7	事前学習	前回の復習	15	事前学習	重要事項の復習
	授業計画	有価証券の評価と表示方法		授業計画	定期試験
	事後学習	練習問題による復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前回の復習			
	授業計画	株式会社の資本の種類と会計処理①			
	事後学習	練習問題による復習			

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（ 課題 ）＞：10%

教科書　著者名　ネットスクール株式会社
　　タイトル　全経簿記能力検定試験公式テキスト３級
　　出版社　ネットスクール出版
参考書　著者名　ネットスクール株式会社
　　タイトル　全経簿記能力検定試験公式問題集３級・全経簿記能力検定試験公式過去問題集３級
　　出版社　ネットスクール出版

年度	2023 年度	学期	後期
科目名	社会常識Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	篠崎　誠二		
実務経験 教員紹介			

講義概要
現代のビジネス・スキルに不可欠となっている簿記の知識をさらに一歩高め、なぜそのような会計処理を行うのかといった理由や会計処理の違いによって生じる長所、短所などを理解することにより、会計の基本から実務で活用する技術までを解説する。
達成目標
ビジネス言語の一つである簿記の基本構造を理解し、会社における日常取引について仕訳および記帳することができる。全経簿記検定試験３級レベルの商業簿記の知識や技能を習得する.
学修成果
財務諸表がどのように作成され、何を報告するのか、だれに報告するのかを確認し、なぜ必要なのかを企業内外の理解できるようにする。

授業計画

1	事前学習	なし
	授業計画	棚卸資産の意味と会計処理の基本について
	事後学習	練習問題による復習
2	事前学習	前回の復習
	授業計画	棚卸資産の計算方法と評価に関する処理①
	事後学習	練習問題による復習
3	事前学習	前回の復習
	授業計画	棚卸資産の計算方法と評価に関する処理②
	事後学習	練習問題による復習
4	事前学習	前回の復習
	授業計画	有形固定資産の評価と会計処理① 購入と売却について
	事後学習	練習問題による復習
5	事前学習	前回の復習
	授業計画	有形固定資産の評価と会計処理② 減価償却の方法と種類について
	事後学習	練習問題による復習
6	事前学習	前回の復習
	授業計画	有価証券の種類と会計処理
	事後学習	練習問題による復習
7	事前学習	前回の復習
	授業計画	有価証券の評価と表示方法
	事後学習	練習問題による復習
8	事前学習	前回の復習
	授業計画	株式会社の資本の種類と会計処理①
	事後学習	練習問題による復習
9	事前学習	前回の復習
	授業計画	株式会社の資本の種類と会計処理②
	事後学習	練習問題による復習
10	事前学習	前回の復習
	授業計画	損益計算書の作成①
	事後学習	練習問題による復習
11	事前学習	前回の復習
	授業計画	損益計算書の作成②
	事後学習	練習問題による復習
12	事前学習	前回の復習
	授業計画	貸借対照表の作成①
	事後学習	練習問題による復習
13	事前学習	前回の復習
	授業計画	貸借対照表の作成②
	事後学習	練習問題による復習
14	事前学習	前回の復習
	授業計画	総合問題による復習
	事後学習	練習問題による復習
15	事前学習	重要事項の復習
	授業計画	定期試験
	事後学習	試験の振り返り

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：50%　＜（ 課題 ）＞：10%

教科書　著者名　　ネットスクール株式会社
　　タイトル　全経簿記能力検定試験公式テキスト３級
　　出版社　　ネットスクール出版

参考書　著者名　　ネットスクール株式会社
　　タイトル　全経簿記能力検定試験公式問題集３級・全経簿記能力検定試験公式過去問題集３級
　　出版社　　ネットスクール出版

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	総合科目演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日中ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	横田　真央		
実務経験 教員紹介	生命保険会社における法人営業、個人営業。FP として顧客相談業務経験あり。		

講義概要
本講義は、人生の中で、必ず必要となるお金の知識を身につけることを目的としている。一生のうちに必要となる金額を、計画的かつ効率的に準備できるよう、ライフイベントごとの必要額を確認し、ライフプランニング表を作成していく。
達成目標
「お金」に対する苦手意識をなくし、バランスシートやライフプランニング表を用いて、長期的な視点で、自分の人生設計ができるようになること。
学修成果
暮らしの中で、無計画に使っている金銭に対する意識が変わる。日本経済や金融の仕組みを理解し、計画的な資金計画を立てられるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし
	授業計画	オリエンテーション、お金のはじまりについて
	事後学習	教科書の見直し
2	事前学習	先月の支出が分かるものを準備する
	授業計画	家計管理　１か月の収支の見直しをする
	事後学習	削減できる支出を考える
3	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	お金を貯める理由とは　将来のライフイベントについて
	事後学習	ライフイベント表の作成
4	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	ライフイベント①　結婚・出産費用について
	事後学習	配布プリントの確認
5	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	ライフイベント②　教育費について（小学校～大学）
	事後学習	配布プリントの確認
6	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	ライフイベント③　住宅費について賃貸と持ち家の違い
	事後学習	配布プリントの確認
7	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	ライフイベント④　介護費について平均寿命と健康寿命
	事後学習	配布プリントの確認
8	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	生涯の必要額について　ライフイベント表の見直し
	事後学習	ライフイベント表の修正
9	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	会社員のメリット、デメリット　フリーランスとの違い
	事後学習	配布プリントの確認
10	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	会社員が支払う税金の種類　年末調整について
	事後学習	配布プリントの確認
11	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	税金について 税負担を軽くする所得控除の種類
	事後学習	配布プリントの確認
12	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	金融とはなにか　銀行の種類と役割について
	事後学習	配布プリントの確認
13	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	日本の銀行の金利はなぜ低いのか 景気とは
	事後学習	配布プリントの確認
14	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	全講義内容の復習　期末試験のポイント確認
	事後学習	試験範囲の復習
15	事前学習	試験勉強
	授業計画	定期試験
	事後学習	試験の見直し

評価方法　　出席状況：40%　定期試験：60%

教科書　著者名　　頼藤太希・高山一恵
　　タイトル　はじめてのお金の基本
　　出版社　　成美堂出版

参考書　著者名　　滝沢ななみ
　　タイトル　みんなが欲しかった！ FP の教科書 3 級
　　出版社　　TAC 出版

年度	2023 年度	学期	前期
科目名	総合科目演習Ⅰ	単位	2 単位
学科コース	日越ビジネス通訳翻訳コース		
講師名	鈴木　麻里		
実務経験 教員紹介	国内大手航空会社勤務（17 年）　国際線チーフキャビンアテンダント　安全教育訓練・新入社員教育の企画・運営業務および講師を担当（５年）　接遇マナー・ビジネスマナー講師		

講義概要
前期に学んだ「印象の良いコミュニケーション」の要素を、実践演習やスピーチを通じて、自分らしく適切に表現できることを目指す。「業界・職種研究」や「仕事理解」を通して将来の進路に向けた意識を高め、計画的な設計ができるよう促す。
達成目標
前期に学んだ印象の要素を実践演習で活用し、表現できることを目指す。演習と振り返り、課題の把握を繰り返し、向上の手応えが感じられる。実生活でも実践できる。
学修成果
「印象の要素」の知識を実際の行動に落とし込み、課題を把握しながら向上に努めることができる。「働く意識」や「自分の将来の役割」についても徐々に認識を深めることができる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツの着用
	授業計画	集中講義ガイダンス 集中講義の進め方と目標設定
	事後学習	スーツの適切な手入れと管理
2	事前学習	指定課題の準備
	授業計画	業界・職種研究　2　グループディスカッションで職業視野を広げる
	事後学習	講義内容を踏まえた指定課題の実施
3	事前学習	指定課題の実施および報告
	授業計画	印象の良いコミュニケーション　6 言葉遣い ②
	事後学習	小テストに向けた講義内容の復習
4	事前学習	１分間スピーチの準備
	授業計画	自己表現　2　指定のテーマで１分間のスピーチを行う 小テスト
	事後学習	小テストの復習
5	事前学習	指定課題の実施
	授業計画	自己分析２　過去・現在・未来の切り口で自己理解を深める
	事後学習	指定課題の実施
6	事前学習	指定課題の実施
	授業計画	企業研究 興味のある企業を調べ、理解を深める
	事後学習	指定課題の実施および報告
7	事前学習	講義予習
	授業計画	聞き方の基本　聞き方のポイント 非言語コミュニケーションの役割
	事後学習	講義内容の実践および報告
8	事前学習	講義予習
	授業計画	電話対応の基本　2　携帯電話のマナー　伝言メモの残し方
	事後学習	指定課題の提出
9	事前学習	指定課題の実施
	授業計画	グループディスカッション演習　1 グループでの役割を知る
	事後学習	集中講義の復習
10	事前学習	指定課題の提出
	授業計画	職場で使う用語を知る　3 ビジネス文書の基本用語
	事後学習	指定課題の提出
11	事前学習	スーツに適した身だしなみの再確認
	授業計画	接遇シーンにおける対応力ワーク 基礎編
	事後学習	小テストに向けた講義内容の復習
12	事前学習	１分間スピーチの準備
	授業計画	自己表現　3　指定のテーマで１分間のスピーチを行う 小テスト
	事後学習	小テストの復習
13	事前学習	講義予習
	授業計画	グループディスカッション演習　2 「ディスカッション」と「ワーク」
	事後学習	指定課題の実施および報告
14	事前学習	演習に向けた自己分析ノートの整備
	授業計画	面接演習　3 面接でのさまざまな質問に備える
	事後学習	集中講義の復習
15	事前学習	１年間の講義内容総括および報告
	授業計画	１年間のまとめ　目標の達成状況を振り返り、来年度の抱負を考える
	事後学習	ノートの整備

評価方法　出席状況：30%　定期試験：40%　＜（　課題・小テスト　）＞：30%

教科書　著者名
タイトル　配布資料を使用
出版社

参考書　著者名
タイトル
出版社